

cm程を測る。平面形は、方形を呈する。主軸方位は、
N-88°-Wを指す。

カマドは確認されなかったが、土層より判断し西

壁にあったと判断した。

遺物は、土師器環・甕が出土した。



第71図 第331号住居跡出土遺物

第331号住居跡出土遺物観察表 (第71図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	12.7	3.0		A B J	普通	橙	60	床直	口縁部外面横ナデ
2	土師環	(12.6)	3.3		B J	普通	にぶい橙	40	床直	口縁部外面横ナデ
3	土師甕	(9.7)			A B F J	良好	にぶい橙	15	覆土	
4	土師甕	(18.8)			A B F J	普通	にぶい橙	20	床直	

(2) 掘立柱建物跡

調査当初で第1号掘立柱建物跡から第41号掘立柱建物跡まで番号を付したが、調査過程で第6・14・35号掘立柱建物跡の3棟が掘立柱建物跡でなかったため欠番となっている。また、第9号掘立柱建物跡は新旧の2棟があり、総数は39棟である。番号を付け直すことは混乱を生じるため、調査時の掘立柱建物跡の番号のまま報告する。

第1号掘立柱建物跡 (第72図)

Q-13・14グリッドに位置する。第17号住居跡と重複し、住居跡が新しい。

建物の南側は調査区域外になっているので桁行きの規模は不明で、1間だけ確認できた。梁行は2間で5.30～5.35mである。柱間は、桁行き2.42m～2.60mとややばらつきがあり、梁行2.62m～2.65mを測る。桁行方位は、N-6°-Eを指す。

柱穴は、楕円形及び方形で、楕円形は長軸104cm、

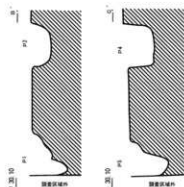
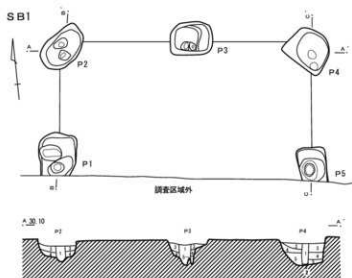
短軸66cm、深さ42cm、長方形は88～92cm×72～82cm、深さ76～82cmを測る。いずれの柱穴でも柱痕が確認できた。

第2号掘立柱建物跡 (第72図)

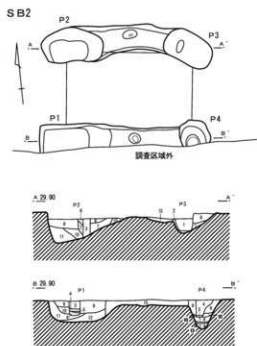
Q-13グリッドに位置する。第17号住居跡と重複し、住居跡が新しい。

建物の南側は調査区域外になっており、規模は、1間×1間だけ検出した。東西方向が布張りで、柱間は南北2.00m～2.10m、東西2.40m～2.70mを測る。南北軸方位は、N-6°-Eを指す。

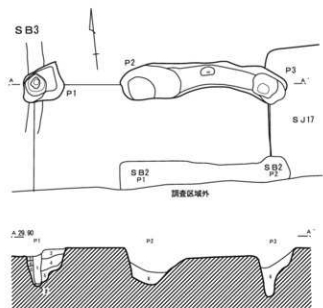
柱穴は円形・楕円形・長方形があり、円形は径66cm、深さ62cm、楕円形は長軸108～132cm、深さ44～60cm、長方形の柱穴は一部調査区域外になり40cm以上×154cm、深さ46cmを測る。P1・P2で柱痕が確認できた。



- SB1
- 1 灰褐色土 黄褐色土粒・炭化物少量
 - 2 灰褐色土 粘土主体層
 - 3 茶褐色土 粘土・しまり強
 - 4 灰褐色土 炭化物含む・粘土・しまり強
 - 5 暗灰褐色土 黄褐色土塊含む粘土



- SB2
- 1 茶褐色土 柱抜き取り後の堆積土
 - 2 暗褐色土 黄褐色土粒少量
 - 3 暗灰褐色土 柱残
 - 4 灰褐色土 鉄分沈着 粘性強
 - 5 橙色土 しまり強 柱底腐蝕
 - 6 明灰褐色土 鉄分沈着 黄褐色土粒含む
 - 7 明灰褐色土 炭化物微量 しまり強
 - 8 褐色土 黄褐色土粒少量 しまり強
 - 9 褐色土 炭化物・粘土粒・黄褐色土粒含む しまり強
 - 10 明褐色土 黄褐色土粒多量 しまり強
 - 11 明褐色土 黄褐色土粒主体 しまり強
 - 12 明褐色土 黄褐色土塊帯状に堆積
 - 13 黄褐色土 黄褐色土の単一層
 - 14 暗黄褐色土 しまり弱
 - 15 暗灰褐色土 炭化物少量 右側部堆積



- SB3
- 1 灰褐色土 鉄分塊状を含む 粘性 しまり強
 - 2 褐色土 しまり強 柱底腐蝕にのみ堆積
 - 3 暗褐色土 黄褐色土粒含む
 - 4 暗黄褐色土 黄褐色土粒含む
 - 5 暗灰褐色土 鉄分塊状を含む
 - 6 暗褐色土 柱抜き取り後の堆積



第72図 第1・2・3号掘立柱建物跡

第3号掘立柱建物跡 (第72図)

Q-13グリッドに位置する。第17号住居跡・第2号掘立柱建物跡と重複し、住居跡と第2号掘立柱建物跡が新しい。

建物の南側は調査区域外になっており、東西方向で2間のみ検出した。柱間は、2.38 m～2.50 mを測る。南北軸方位は、N-6°-Eを指す。

柱穴は方形・楕円形があり、方形は66×80 cm、深さ82 cm、楕円形は長軸73～129 cm、短軸50～73 cm、深さ80～102 cmを測る。3基の内P1で柱痕が確認できた。

第4号掘立柱建物跡 (第73・74図)

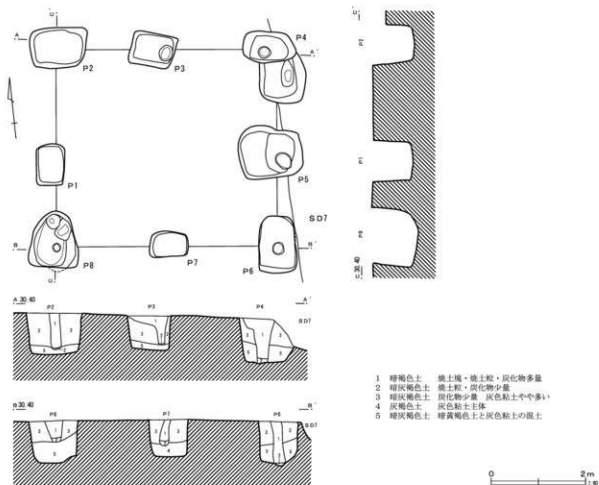
K・L-11、L-12グリッドに位置する。第7・9号溝と重複し、掘立柱建物跡より第7号溝は新し

く、第9号溝は古い。

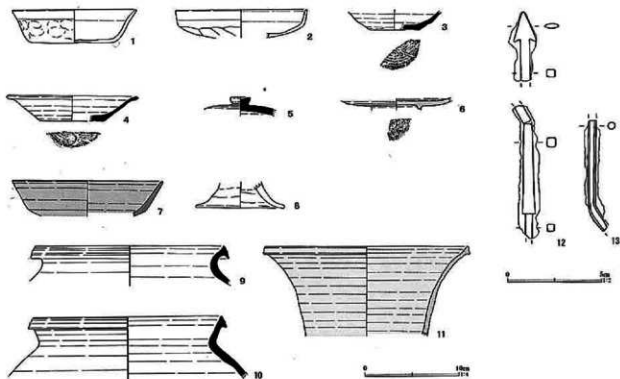
建物は桁行2間×梁行き2間で、規模は桁行4.08 m～4.20 m、梁行き4.40 m～4.95 mである。柱間は、桁行が1.72 m～2.50 m、梁行きが2.10 m～2.40 mを測り、柱間にややばらつきがある。桁方位は、N-84°-Wを指す。

柱穴は長方形で、56～116 cm×84～140 cm、深さ86～98 cmを測る。すべての柱穴から柱痕が確認できた。

遺物は、土師器坏・台付甕、須恵器坏・蓋・皿・壺、灰釉陶器高台付皿・瓶、緑釉陶器壺と鉄鏝・鉄製丸棒状品が出土した。



第73図 第4号掘立柱建物跡



第74図 第4号掘立柱建物跡出土遺物

第4号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第74図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師杯	13.2	3.5	8.9	AB	普通	橙	80	ビット2	やや歪みあり
2	土師杯	(14.0)			AB	普通	橙	20	ビット5	
3	須恵杯			(5.2)	AB	良好	灰	25	ビット6	
4	須恵皿	(14.0)	2.8	(6.6)	C F J K	良好	黄灰	25	ビット5	
5	須恵蓋				A	良好	灰	40	ビット5	
6	灰胎皿				AG	良好	灰白	20	ビット8	
7	緑胎埴	(16.0)			A	良好	褐灰	10	ビット5	つまみ径2.1cm 底部内面重ね焼痕 高台内へラケズリ 内外面ハケヌリ(一筆) 浜北産 被熱 全面施釉
8	土師台付壺			9.4	A B F J	普通	褐	80	ビット5	
9	須恵壺	(20.0)			A C J K	良好	灰	10	ビット2	
10	須恵壺	(20.0)			A J K	良好	灰	10	ビット3	
11	灰胎長頸壺	(21.6)			AG	良好	灰白	10	ビット8	
12	鉄鏝	推定長10.8cm	鏝身部長1.6cm	幅(下辺)1.2cm					ビット4	
13	棒状鉄製品	長15.8cm	径3.5cm						ビット8	

第5号掘立柱建物跡 (第75図)

D・E-12・13グリッドに位置する。第135号住居跡と重複し、掘立柱建物跡のほうが新しい。

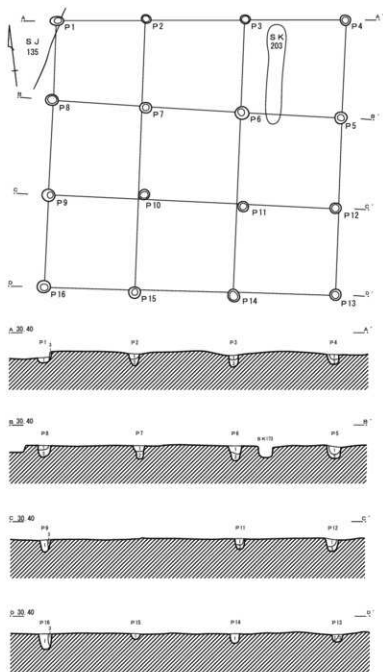
建物は桁行3間×梁行3間の総柱で、規模は桁行5.64m～5.84m、梁行6.1m～6.2mである。柱間は、桁行が1.70m～2.08m、梁行が1.90m～2.15mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-81°-Wを指す。

柱穴は円形で、径18cm～26cm、深さ18～26cmを測る。

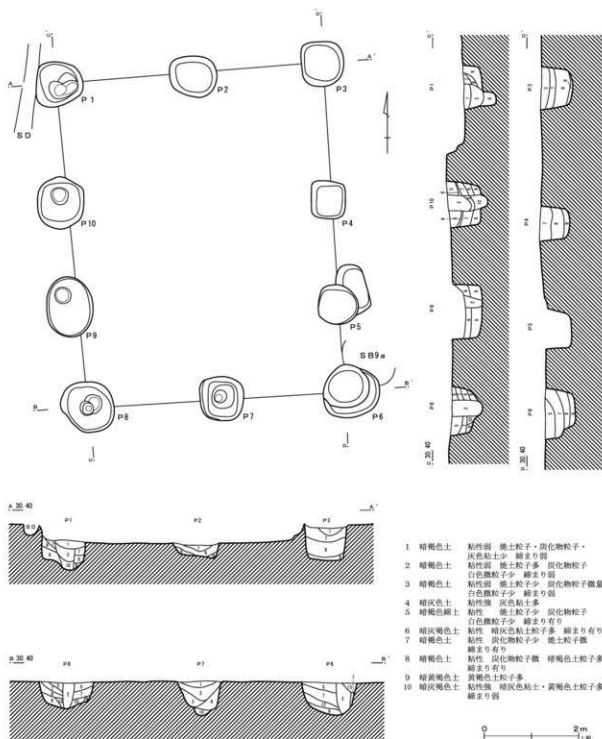
第7号掘立柱建物跡 (第76・77図)

H・I-13・14グリッドに位置する。第8・9a・9b号掘立柱建物跡と重複するが、先後関係は不明である。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.90m、梁行5.46m～5.60mである。柱間は、桁行が2.20



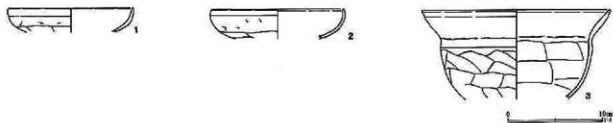
第75図 第5号掘立柱建物跡



第76図 第7号掘立柱建物跡

第7号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第77図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	(13.0)			AB	普通	橙	10	ビット7	
2	土師坏	(14.0)			ABJK	普通	橙	20		
3	土師钵	(20.0)			ABFJK	普通	明赤褐	10	ビット12	



第77図 第7号掘立柱建物跡出土遺物

m～2.90mと柱間にばらつきがある。梁行が2.75m～2.80mを測る。桁行方位は、N-3°-Wを指す。

柱穴は方形・楕円形で、方形は76cm～101cm、深さ62cm、楕円形は長軸100cm～128cm、短軸64cm～116cmを測る。10基のうち5基で柱痕が確認できた。

遺物は、土師器環・鉢が出土した。

第8号掘立柱建物跡 (第78・79図)

H-13・14グリッドに位置する。第7・9a・9b号掘立柱建物跡と重複し、第9a・9b号掘立柱建物跡より古い。

建物は桁行3間×梁行3間で、規模は桁行6.70m～6.96m、梁行6.30m～7.04mである。柱間は、桁行が1.80m～3.26m、梁行が2.00m～2.80mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-0°を指す。

柱穴は方形・長方形で、方形は40cm～50cm、深さ40～52cm、長方形は90cm～120cm×64cm～72cm、深さ52～66cmを測る。いずれの柱穴からも柱

痕は確認できなかった。

遺物は土師器環、須恵器蓋が出土した。

第9a号掘立柱建物跡 (第80・81・82図)

H・L-13・14グリッドに位置する。第9b号掘立柱建物跡と重複し、当掘立柱建物跡が新しい。

建物は桁行4間×梁行3間で、規模は桁行8.80m～8.94m、梁行7.23m～7.80mである。柱間は、桁行が1.90m～2.34m、梁行が2.20m～2.40mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-3°-Eを指す。

柱穴は方形で、一辺80cm～110cm、深さ40～70cmを測る。1基のみ柱痕が確認できた。

第9b号掘立柱建物跡 (第80・81・82図)

H-13・14、L-14グリッドに位置する。第9b号掘立柱建物跡と重複し、当掘立柱建物跡が古い。

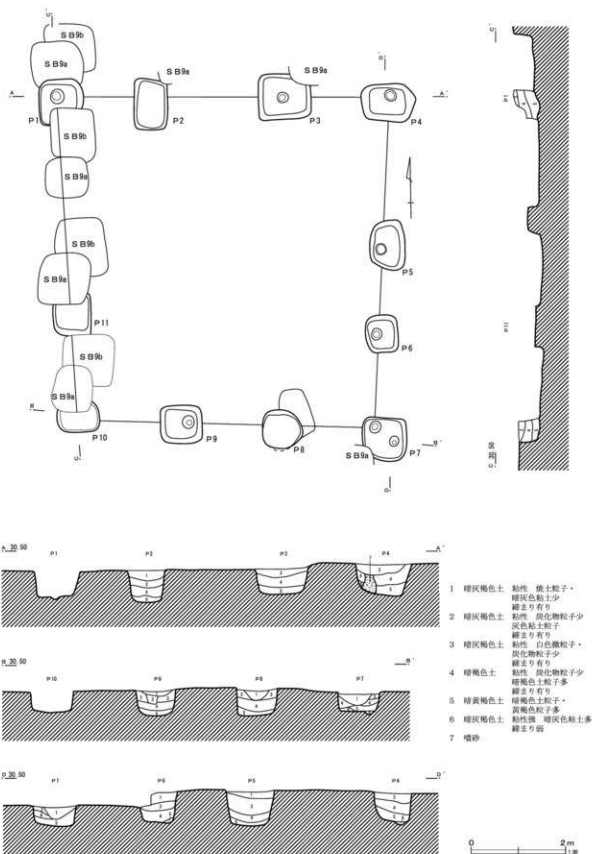
建物は桁行4間×梁行3間で、規模は桁行8.80m～8.92m、梁行7.80m～8.20mである。柱間は、桁行が1.90m～2.50m、梁行が2.36m～2.92mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-5°-Wを指す。



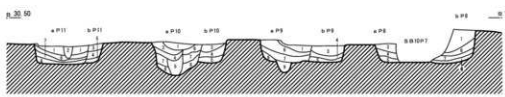
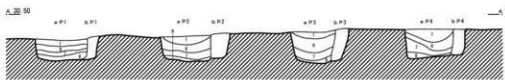
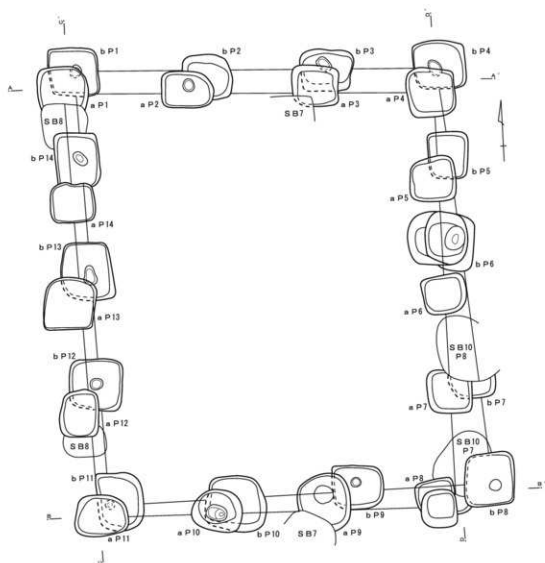
第78図 第8号掘立柱建物跡出土遺物

第8号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第78図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.0)			AB	普通	にぶい橙	10	ビット5	
2	須恵蓋	(8.0)			AHJK	良好	灰	15		
3	須恵蓋	(13.0)			AHJK	良好	灰	5	ビット5	

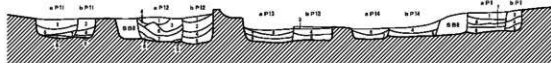


第79图 第8号掘立柱建物跡



第80图 第9 a·9 b号掘立柱建物跡(1)

c. 33. 50



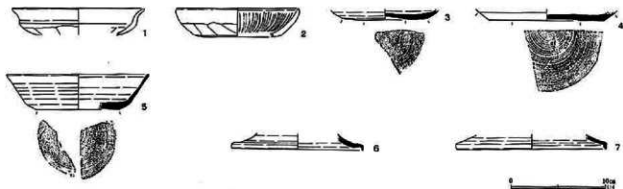
p. 33. 50



第9号竪立柱建物跡

- 1 褐色土 胎土層 白色微粒子 (顆) 焼土粒子 (少) 炭化物粒子 (少) しまり貝
 2 暗褐色土 胎土層 焼土粒子 (多) 炭化物粒子 (多) しまり貝 (他遺物混入)
 3 暗褐色土 胎土中 焼土粒子 (顆) 炭化物粒子 (顆) 灰色胎土粒子 (少) しまり貝
 4 暗褐色土 胎土中 焼土粒子 (顆) 炭化物粒子 (顆) 灰色胎土粒子 (少) しまり貝
 5 暗褐色土 胎土中 焼土粒子 (顆) 炭化物粒子 (顆) 灰色胎土粒子 (多)
 6 暗褐色土 胎土中 焼土粒子 (少) 炭化物粒子 (少) 灰色胎土粒子 (少) しまり貝
 7 暗褐色土 胎土中 焼土粒子 (顆) 炭化物粒子 (顆) 灰色胎土粒子 (顆)
 8 暗褐色土 胎土中 しまり貝
 9 暗褐色土 胎土中 しまり貝 (瓦片混入)
 10 暗褐色土 胎土中 しまり貝 (瓦片混入)

第81図 第9a・9b号竪立柱建物跡(2)



第82図 第9号竪立柱建物跡出土遺物

第9号竪立柱建物跡出土遺物観察表 (第82図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(14.0)			AB	普通	橙	20	ビット10	内面に放射状暗文
2	土師環	(13.0)	3.0	(9.2)	ABF	普通	橙	10	ビット13	
3	須恵環			(9.0)	A	良好	灰白	15	ビット13	
4	須恵環			(12.2)	AHJK	良好	灰	40	ビット9	南比企産
5	須恵環	(15.0)	3.7	(8.6)	A	良好	灰黄	50	ビット9-12	
6	須恵蓋	(14.0)			A	良好	暗灰	5	ビット10	南比企産
7	須恵蓋	(16.0)			AH	良好	褐灰	10	ビット10	

柱穴は方形で、一辺100 cm～126 cm、深さ44～64 cmを測る。

遺物は、第9号掘立柱建物跡で取り上げたためa・bの区別はできないが、土師器環・須恵器環・埴蓋が出土した。

第10号掘立柱建物跡 (第83・84図)

H・I-14・15グリッドに位置する。第13号掘立柱建物跡、第47・48・49・53号溝と重複し、第13号掘立柱建物跡とは不明であるが、溝が新しい。

建物は桁行2間×梁行2間で、規模は桁行4.40 m～5.55 m、梁行6.10 m～6.18 mである。柱間は、桁行が2.20 m～2.80 m、梁行が2.85 m～3.30 m

を測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-89°-Eを指す。

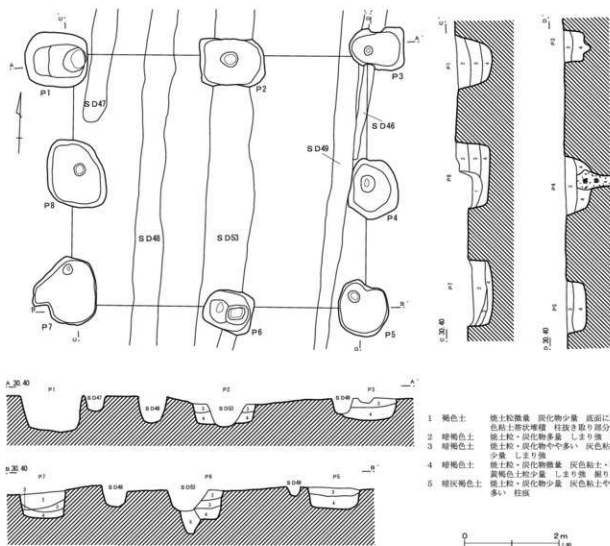
柱穴は方形または不正円形で、104 cm～116 cm×84～114 cm、深さ60 cm～92 cmを測る。1基のみ柱痕が確認できた。

遺物は、土師器環・埴蓋、須恵器環・蓋が出土した。

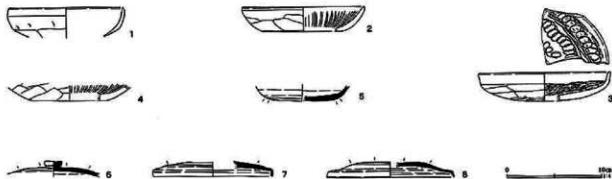
第11号掘立柱建物跡 (第85・86図)

I・J-13グリッドに位置する。P4と第137号住居跡、P1と第12号掘立柱建物跡P1と重複し、住居跡・第12号掘立柱建物跡の方が古い。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.40 m～6.70 m、梁行4.00 m～4.24 mである。柱間は、



第83図 第10号掘立柱建物跡



第84図 第10号掘立柱建物跡出土遺物

第10号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第84図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.0)			AB	普通	にぶい橙	20	ビット2	
2	土師環	(13.0)	2.6	(8.8)	BF	普通	にぶい橙	5	ビット3	内面に放射状暗文
3	土師環	(14.0)	3.0		ABF	良好	橙	20		内面に螺旋状暗文
4	土師碗			(8.0)	AB	良好	橙	5	ビット6	放射状暗文
5	須恵環			(7.0)	AH	良好	灰	15	ビット6	南比企産
6	須恵蓋				AHJK	良好	灰	20	ビット2	つまみ径1.9cm 南比企産
7	須恵蓋	(12.7)			AHJK	良好	黄灰	45	ビット3	S B Bビット5出土と接合 南比企産
8	須恵蓋	(13.6)			AHJK	良好	灰	25	ビット3	S B Bビット5出土と接合 南比企産

桁行が1.70m～2.75m、梁行が1.72m～2.45mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-11°-Eを指す。

柱穴は長方形・楕円形で、90～118cm×46～86cm、深さ43～58cmを測る。1基のみ柱痕が確認できた。

遺物は、須恵器環、土師器壺が出土した。

第12号掘立柱建物跡 (第87・88図)

J-12・13グリッドに位置する。P4と第11号掘立柱建物跡P4、P10と第235号土坑、P2と236号土坑、更に第25・26・30・31号溝と重複し、第11号掘立柱建物跡より新しく、土坑は古く、溝が新しい。

建物は桁行3間×梁行2間の総柱で、規模は桁行7.40m～7.60m、梁行4.46m～5.10mである。柱間は、桁行が2.38m～2.90m、梁行が2.07m～2.80mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-83°-Eを指す。

柱穴は長方形・不正円形で、長方形は59～83cm×66～114cm、深さ54～74cmを測る。不正円形は

径94～164cm、深さ50～60cmを測る。4基で柱痕が確認できた。

遺物は、土師器環、須恵器環・蓋、砥石が出土した。

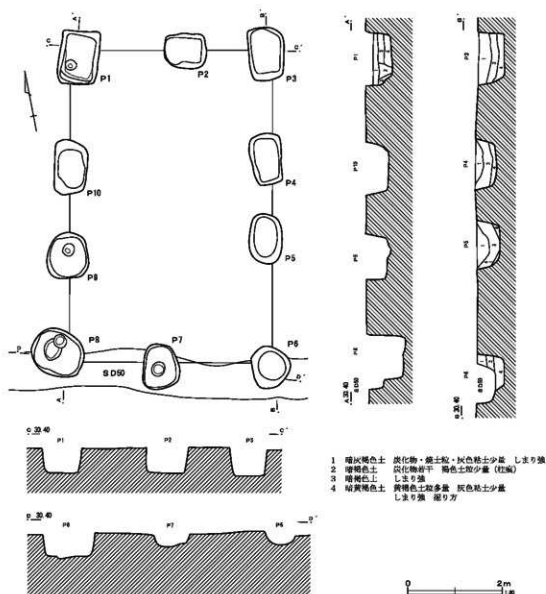
第13号掘立柱建物跡 (第89・90図)

H・I-15グリッドに位置する。第10号掘立柱建物跡・第47号溝と重複し、掘立柱建物跡との先後関係は不明であるが、溝が新しい。

建物は桁行2間×梁行2間の総柱で、規模は桁行4.86m～5.20m、梁行4.40m～4.80mである。柱間は、桁行が1.84m～2.95m、梁行が1.90m～2.52mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-88°-Wを指す。

柱穴は長方形・方形・円形で、長方形は116～134cm×74～86cm、深さ46～50cmを測り、方形は1辺80～110cm、深さ20cm程を測り、円形は径50cm、深さ28cmを測る。

遺物は、土師器環・壺、須恵器環・碗・蓋と鉄塊が出土した。



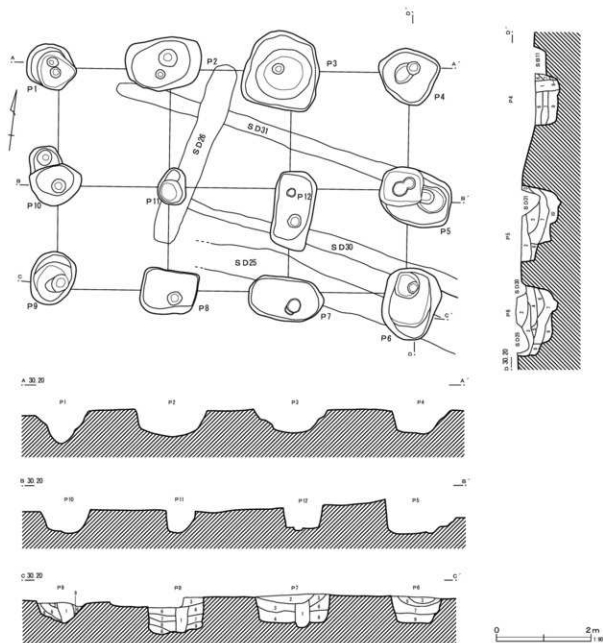
第85図 第11号掘立柱建物跡



第86図 第11号掘立柱建物跡出土遺物

第11号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第86図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵坯	(20.0)		(7.0)	A B C D	良好	灰白	30	ピット10	
2	土師壺	(20.0)			A B F J	普通	橙	10	ピット3	

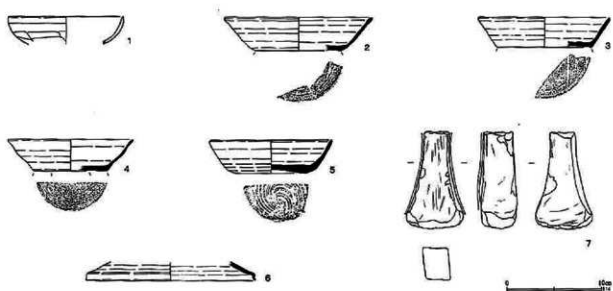


- | | | | |
|---------|---------------------------|----------|---------------------|
| 1 暗灰褐色土 | 炭化物少量 灰色粘土多量 狂痕 | 6 暗褐色土 | 明褐色土を底状に含む しまり強 |
| 2 褐色土 | 炭土粒中多量、炭化物少量 しまり強 | 7 暗褐色土 | 炭化物微量 明褐色土塊・暗灰色粘土少量 |
| 3 暗褐色土 | 炭土粒・炭化物微量 暗褐色土を底状に含む しまり強 | 8 暗黄褐色土 | 黄褐色土を底状に含む |
| 4 暗褐色土 | 炭土粒少量 炭化物微量 明褐色土塊多量 | 9 暗黄褐色土 | 暗灰色粘土・黄褐色土を底状に含む |
| 5 暗褐色土 | 炭化物微量 明褐色土粒少量 しまり強 | 10 暗灰褐色土 | 灰色粘土・黄褐色土粒多量 |

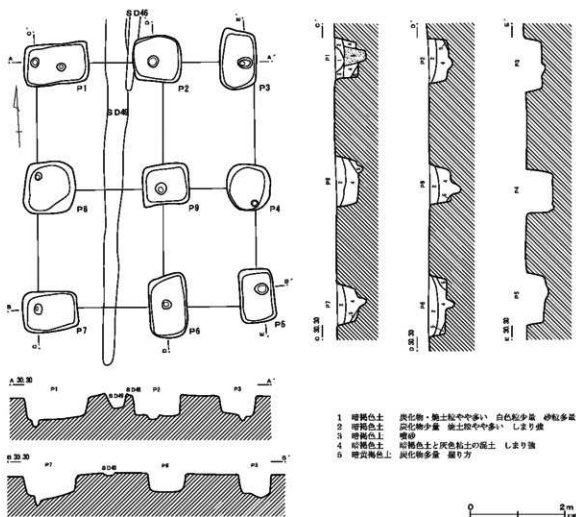
第87図 第12号掘立柱建物跡

第12号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第88図)

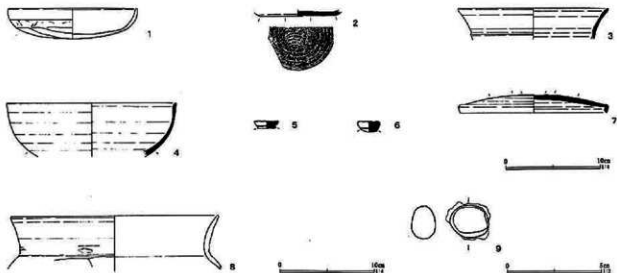
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.0)			A	普通	橙	15	ビット5	磨耗著しい 南比企産
2	須恵環	(15.6)	3.5	(9.0)	AHJK	良好	灰白	25	ビット1	南比企産
3	須恵環	(14.0)	3.2	(10.0)	AHJK	良好	灰白	15	ビット4	底部へラ描き 南比企産
4	須恵環	(13.2)	3.4	(7.6)	AHJK	良好	灰	35	ビット6	南比企産
5	須恵環	(13.0)	3.5	(7.6)	AHJK	良好	灰	25	ビット5	南比企産
6	須恵蓋	(18.0)			AH	良好	灰	10	ビット10	南比企産
7	砥石	長さ10.2cm	幅6.1cm	厚さ3.4cm			重量(282.1)g		ビット7	凝灰岩製 被熱している 上端欠損



第88図 第12号竪立柱建物跡出土遺物



第89図 第13号竪立柱建物跡



第90図 第13号掘立柱建物跡出土遺物

第13号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第90図)

番号	器名	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.6)	3.2		AB	普通	橙	50	ビット2	
2	須恵環			(8.0)	AHJK	良好	灰	55	ビット8	南比企産
3	須恵塊	(16.0)			AH	良好	灰	10	ビット8	佐波塚 南比企産
4	須恵塊	(18.0)			AHJK	良好	灰	20	ビット6	南比企産
5	須恵蓋				AH	良好	暗灰	100	ビット2	つまみ径2.6cm 南比企産
6	須恵蓋				AH	良好	灰	100	ビット8	つまみ径2.4cm 南比企産
7	須恵蓋	(15.6)			AHJK	良好	灰	10	ビット6	南比企産
8	土師甕	(22.0)			ABFJ	普通	橙	30	ビット5	
9	鉄塊	長さ2.0cm	幅1.7cm	厚さ1.3cm					ビット3	

第15号掘立柱建物跡 (第91・92図)

K・L-15・16グリッドに位置する。第196・197・214号住居跡、第267号土坑と重複し、いずれの住居跡、土坑も新しい。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.00m～6.10m、梁行5.10m～5.56mである。柱間は、桁行が1.60m～2.65m、梁行が2.38m～3.10mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-84°-Wを指す。

柱穴は長方形・方形で、長方形は110～146×84～102cm、深さ40～46cmを測り、方形は一辺94～104cm、深さ50～56cmを測る。

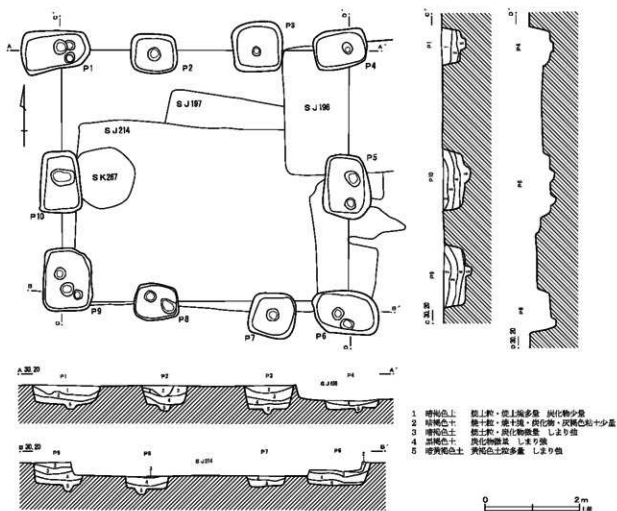
遺物は、土師器環・甕が出土した。

第16号掘立柱建物跡 (第93・94図)

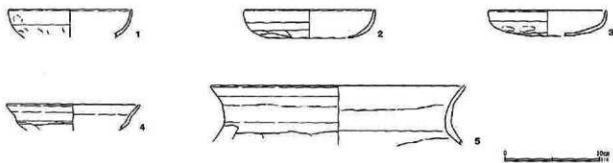
R-24グリッドに位置し、下層から検出した。建物の南側は調査区域外となっており、桁行2間×梁行2間が確認できた。規模は桁行4.62m～4.90m、梁行4.70m～4.90mである。柱間は、桁行が2.20m～2.80mとややばらつきがあり、梁行が2.40m～2.48mを測る。桁行方位は、N-87°-Wを指す。

柱穴は楕円形もしくは不整形円で、楕円形は長軸90～130cm×46～80cm、深さ10～58cmを測り、不整形形は径30～50cm、深さ26～40cmを測る。

遺物は、土師器甕・台付甕台部が出土した。



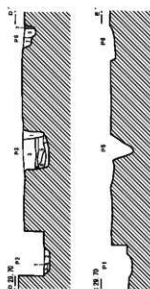
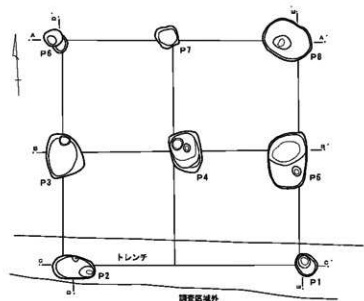
第91図 第15号獨立柱建物跡



第92図 第15号獨立柱建物跡出土遺物

第15号獨立柱建物跡出土遺物観察表 (第92図)

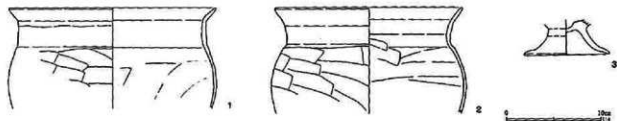
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色割	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)			AB	普通	橙	10	ビット1	
2	土師環	(12.4)	2.8		AB	普通	橙	15	ビット2	
3	土師環	(14.0)	3.0		A	普通	橙	15	ビット1	
4	土師環	(14.2)			ADF	普通	橙	5	ビット2	
5	土師壺	(27.0)			ABJ	普通	にぶい青	15	ビット1	



- 1 暗黄褐色土 灰褐色粘土塊内包 炭化物微量 赤褐色粒・黄褐色土粒少量
- 2 褐色土 赤褐色粒多量 黄褐色土粒少量
- 3 暗黄褐色土 黄土粒微量 赤褐色粒・灰褐色土粒少量
- 4 黄褐色土 赤褐色粒微量 灰褐色土粒少量
- 5 暗黄褐色土 黄褐色土粒少量
- 6 暗黄褐色土 粘土粒微量 赤褐色粒少量
- 7 明黄褐色土 暗褐色土粒少量



第93图 第16号独立柱建物跡



第94图 第16号独立柱建物跡出土遺物

第16号独立柱建物跡出土遺物観察表 (第94图)

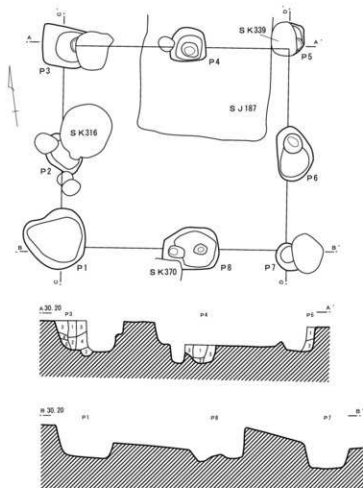
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師甕	(22.0)			ABFJ	普通	にぶい橙	10	ビット6	
2	土師甕	(20.0)			ABCFJ	普通	にぶい橙	15	ビット6	
3	土師台付甕		(9.0)		ABJ	良好	褐	60	ビット6	

第17号掘立柱建物跡 (第95図)

H・I-16グリッドに位置する。第187号住居跡・第316・339号土坑と重複し、住居跡のピットに柱穴が切られていることから、住居跡・土坑とも新しい。

建物は桁行2間×梁行2間で、規模は桁行4.70m～4.95m、梁行4.18～4.45mである。柱間は、桁行が2.36m～2.50m、梁行が1.83m～2.35mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-81°-Wを指す。

柱穴は長方形・楕円形・円形で、長方形は90cm×82cm、深さ60cmを測る。楕円形は長軸92～120cm、短軸95cm程で、深さ54～62cmを測る。円形は径64～120cm、深さ66～90cmを測る。2基の柱痕が確認できた。



第95図 第17号掘立柱建物跡

第18号掘立柱建物跡 (第96図)

Q-18・19グリッドに位置し、下層で検出した。南側は調査区域外となっている。

建物は確認できたのが桁行2間×梁行2間で、総柱とみられる。規模は桁行4.02m～4.10m、梁行3.98mである。柱間は、桁行が1.98m～2.18m、梁行が1.90m～2.12mを測る。桁行方位は、N-87°-Wを指す。

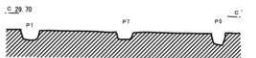
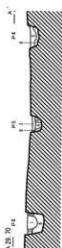
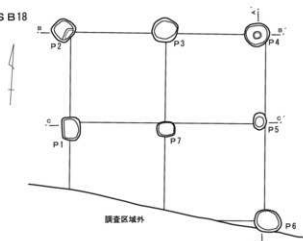
柱穴は円形及び方形で、円形は径50～56cm、深さ20～40cmを測る。方形は36～46cm×30～36cm、深さ16～24cmを測る。



- 1 暗褐色土 灰色粘土少量 白色粒多量
- 2 灰色土 灰色粘土主体
- 3 暗褐色土 黄褐色土塊・白色粒多量 焼土粒・炭化物微塵
- 4 暗褐色土 灰色粘土主体 暗褐色土粒・白色粒多量
- 5 暗褐色土 黄褐色土塊多量

0 2m

SB18

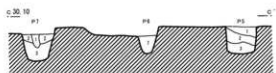
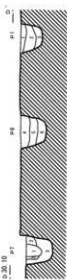
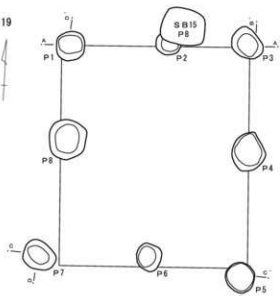


SB18

- 1 暗褐色土 粘土粒多量 炭化物微量 赤褐色粒、黄褐色土粒少量
- 2 暗褐色土 粘土粒多量
- 3 黄褐色土 赤褐色土主体 赤褐色粒少量 暗褐色土粒微量
- 4 暗黄褐色土 赤褐色粒微量 均质粘土
- 5 灰黄褐色土 黄褐色土、黄褐色土粒、赤褐色粒微量
- 6 暗黄褐色土 粘土粒微量 黄褐色土粒多量 赤褐色粒少量
- 7 暗黄褐色土 暗褐色土粒少量 赤褐色粒微量



SB19



SB19

- 1 暗褐色土 灰褐色粘土少量 粘土粒微量
- 2 暗褐色土 灰褐色粘土少量 黄褐色土粒微量
- 3 暗黄褐色土 黄褐色土粒少量
- 4 暗灰褐色土 粘土粒多量 炭化物、白色粒少量
- 5 暗褐色土 粘土粒少量 炭化物微量
- 6 暗黄褐色土 黄褐色土粒少量
- 7 暗灰褐色土 粘土粒、炭化物多量 白色粒微量



第96图 第18·19号掘立柱建物跡

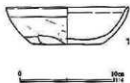
第19号掘立柱建物跡 (第96・97図)

L-15・16グリッドに位置する。第167号住居跡・第15号掘立柱建物跡・第381号土坑と重複し、掘立柱建物跡は新しいが他は不明である。

建物は桁行2間×梁行2間で、規模は桁行4.50m～4.92m、梁行3.78～4.32mである。柱間は、桁行が2.00m～2.68m、梁行が1.65m～2.30mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-2°-Wを指す。

柱穴は円形で、径52～80cm、深さ46～72cmを測る。

遺物は、土師器環が出土した。



第97図 第19号掘立柱建物跡出土遺物

第19号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第97図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)	4.0	7.2	ABF	良好	橙	30	ピット2	

第20号掘立柱建物跡 (第98図)

L-15・16グリッドに位置する。第214号住居跡・第381号土坑と重複し、住居跡は新しく、土坑は古い。

建物は桁行2間×梁行1間で、規模は桁行4.18m、梁行2.45m～2.50mである。柱間は、桁行が2.00m～2.18m、梁行が2.45m～2.50mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-63°-Eを指す。

柱穴は楕円形・円形で、楕円形は長軸60～88cm、短軸44～52cm、深さ46～56cmを測り、円形は径54～64cmを測る。3基で柱痕が確認できた。

第21号掘立柱建物跡 (第98・99図)

L-15・16グリッドに位置する。第214号住居跡と重複し、住居跡が新しい。

建物は桁行2間×梁行2間で、規模は桁行5.00m～5.08m、梁行5.28m～6.18mである。柱間は、桁行が2.25m～2.78m、梁行が2.60m～3.20mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-56°-Eを指す。

柱穴はほぼ円形で、径64～72cm、深さ46～72cmを測る。

遺物は、須恵器高台付塊が出土した。

第22号掘立柱建物跡 (第100・101図)

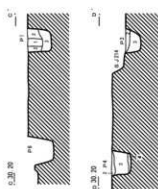
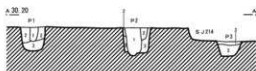
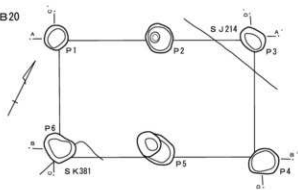
N-12・13グリッドに位置し、下層で検出した。第3号溝と重複し、溝が新しい。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.18m～6.40m、梁行4.10m～4.45mである。柱間は、桁行が1.80m～2.30m、梁行が1.80m～2.30mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-88°-Wを指す。

柱穴は方形・楕円形で、方形は一辺74～114cm、深さ40cm程を測り、楕円形は長軸104～180cm、短軸74～100cm、深さ15～20cmを測る。P6・7は建替え痕を検出し、P3～7では柱の当たりが確認できた。

遺物は、土師器環、須恵器高台付塊・蓋が出土した。

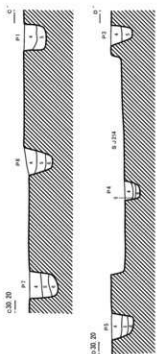
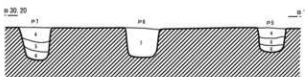
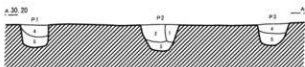
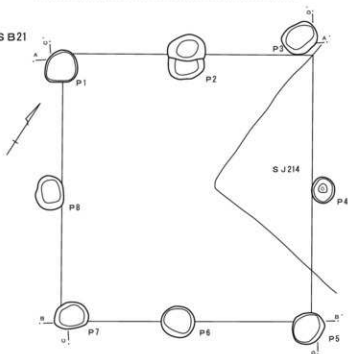
SB20



SB20

- 1 暗灰褐色土 粘土粒多量 炭化物・白色粒微量
- 2 暗灰褐色土 粘土粒少量 炭化物・白色粒微量
- 3 暗褐色土 粘土粒、炭化物微量 黄褐色土塊少量
- 4 暗褐色土 黄褐色土塊含む

SB21



SB21

- 1 黄褐色土 粘土粒微量 白色粒少量
- 2 暗褐色土 黄褐色土を塊状に含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒多量
- 4 暗褐色土 粘土粒少量
- 5 黄褐色土 暗黄褐色土塊含む
- 6 暗褐色土 粒子細かく粘質 黄褐色土粒中々多い
- 7 暗褐色土 粘土粒多量 炭化物少量

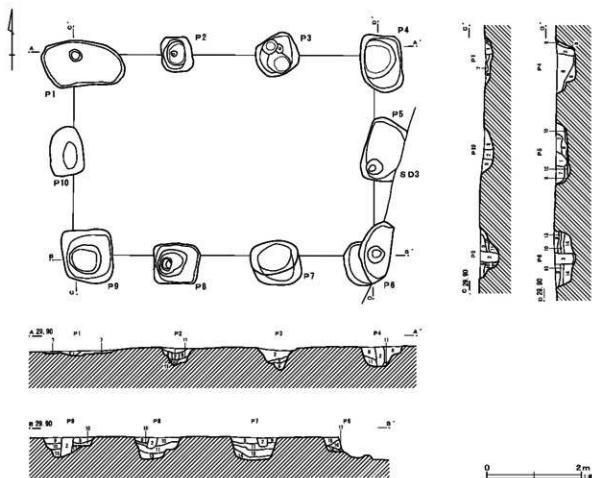
第98图 第20・21号掘立柱建物跡



第99図 第21号獨立柱建物跡出土遺物

第21号獨立柱建物跡出土遺物觀察表 (第99図)

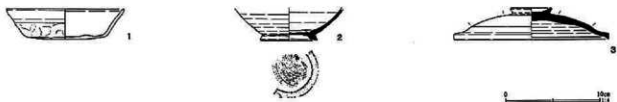
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵高台碗	(12.6)	5.4	(6.2)	A B C J K	良好	灰白	40	ピット5	
2	須恵高台碗	(14.4)	5.8	(7.0)	A J K	良好	灰	25	ピット5	



- 1 灰質褐色土 赤褐色粒多量 炭化粒少量
- 2 褐色土 黄褐色土粒・黄褐色土塊多量 粘土粒少量
- 3 赤褐色土 黄褐色土粒多量 炭化物・褐色土粒少量
- 4 褐色土 粘土質 粒の当たり
- 5 暗灰褐色土 黄褐色土と褐色土の混上
- 6 褐色土 黄褐色土粒多量 褐色土粒・褐色土塊少量
- 7 暗褐色土 赤褐色土粒多量
- 8 褐色土 赤褐色粒少量 黄褐色土粒多量 炭化物粒微量
- 9 赤褐色土 黄褐色土粒・砂質硬・褐色土塊少量

- 10 赤褐色土 黄褐色土粒多量 褐色土粒少量
- 11 暗黄褐色土 黄褐色土塊多量
- 12 暗褐色土 赤褐色粒・褐色土粒多量
- 13 暗灰黄色土 黄褐色土主体
- 14 暗灰褐色土 白色質・黄褐色土粒少量 炭土粒微量
- 15 暗褐色土 黄褐色土粒・黄褐色土塊少量
- 16 暗褐色土 黄褐色土粒少量 白色粘壤土
- 17 暗褐色土 黄褐色土塊・黄褐色土粒多量
- 18 褐色土 黄褐色土粒多量

第100図 第22号獨立柱建物跡



第101図 第22号掘立柱建物跡出土遺物

第22号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第101図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師杯 (12.4)	3.2	(8.2)	AB	普通	橙	20	ビット4		
2	須恵高台陶		(6.0)	AF	良好	灰黄褐	60	ビット5		
3	須恵蓋 (16.4)	3.4		AGJK	良好	灰	30	ビット10	深伏つまみ径4.4cm	

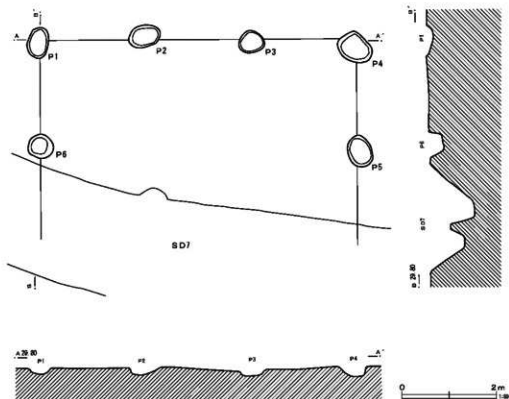
第23号掘立柱建物跡 (第102図)

L・M-12・13グリッドに位置し、下層で検出した。第7号溝と重複し、溝が新しい。

建物は桁行3間×梁行2間とみられ、規模は桁行6.70m～6.80m、梁行は確認できた1間である。柱間は、桁行が2.20m～2.75m、梁行が2.20m～

2.35mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-83°-Eを指す。

柱穴はほぼ楕円形で、長軸52～76cm、短軸48～58cm、深さ15～30cmを測る。



第102図 第23号掘立柱建物跡

第24号掘立柱建物跡 (第103・104図)

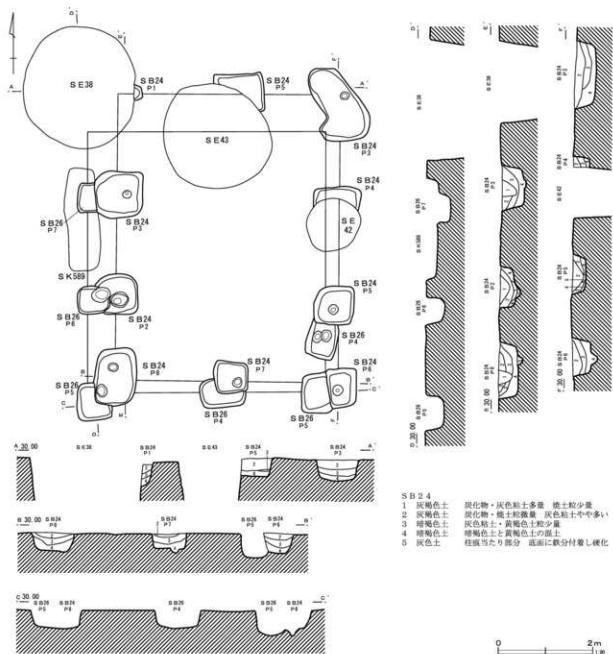
K-18・19グリッドに位置する。第310号住居跡・第26号掘立柱建物跡・第38・42・43号井戸跡と重複し、井戸が新しく、住居跡・第26号掘立柱建物跡が古い。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行5.80m～6.20m、梁行4.50m～4.80mである。柱間は、桁行が1.40m～2.30m、梁行が2.15m～2.70mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方向は、

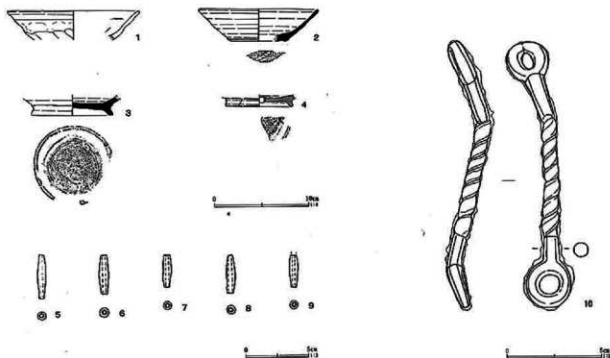
N-0°を指す。

柱穴は方形・長方形で、方形は一辺64～104cm、深さ22cm程を測る。長方形は116cm×90cm、深さ40cm程を測る。

遺物は、土師器環、須恵器環・高台付皿・灰軸陶器高台付皿、土鏝と鉄製馬具の轡引手か出土した。



第103図 第24・26号掘立柱建物跡



第104図 第24号掘立柱建物跡出土遺物

第24号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第104図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	上節環	(14.0)			A B F	普通	橙	10	ビット5	内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ 施釉内外面ハケヌリ 浜北産
2	須恵環	(12.4)	3.4	(5.6)	A K	良好	灰	20	ビット4	
3	須恵高台埴			8.6	A J K	良好	灰黄	70		
4	灰胎高台皿			(7.1)	A G	良好	灰白	10		
5	土罐	長さ3.5	直径0.65	孔径0.25	重量1.3		黒褐	100	ビット5	
6	土罐	長さ3.10	直径0.75	孔径0.25	重量1.4		黒褐	100	ビット5	
7	土罐	長さ2.66	直径0.65	孔径0.25	重量1.0		黒褐	100	ビット5	
8	土罐	長さ3.05	直径0.70	孔径0.35	重量1.4		黒褐	100	ビット5	
9	土罐	長さ(2.60)	直径0.70	孔径0.20	重量(1.1)		黒褐	90		
10	鉄製馬具	轡引手長14.2cm	引手幅径2.3cm	鏡板逆結部径2.2cm					ビット3	轡引手

第26号掘立柱建物跡 (第103図)

K-18・19グリッドに位置する。第310号住居跡・第24号掘立柱建物跡・第38・42・43号井戸跡と重複し、井戸跡・第24号掘立柱建物跡が新しく、第310号住居跡が古い。

建物は北辺の柱穴が井戸跡により確認されていないが桁行3間×梁行2間とみられ、規模は桁行5.7m前後、梁行4.80mである。柱間は、桁行が1.10m～2.20m、梁行が1.98m～2.80mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-0°を指す。

柱穴は方形・長方形で、方形は一辺60～88cm、

深さ17～27cmを測り、長方形は80～96cm×64～68cm、深さ20cm程を測る。

第27号掘立柱建物跡 (第105図)

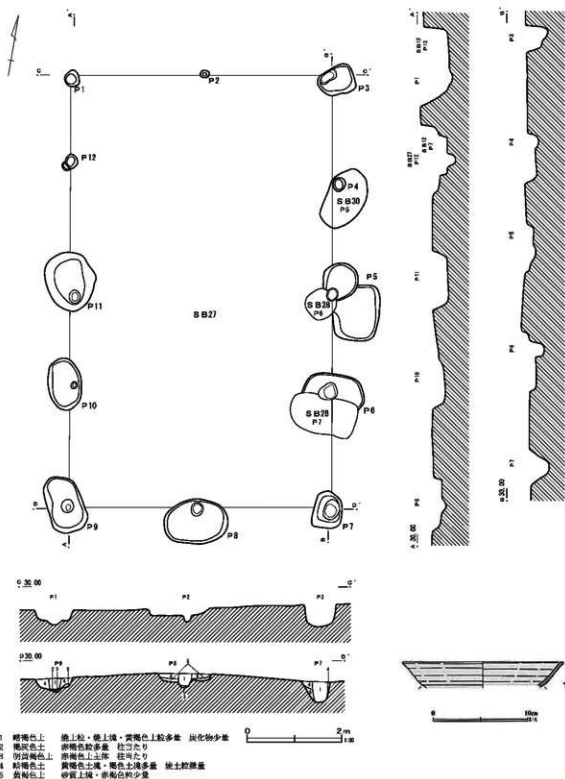
J・K-13グリッドに位置し、下層で検出された。第12・28・30号掘立柱建物跡と重複し、第12号掘立柱建物跡が最も新しく、次に当掘立柱建物跡が古い。

建物は桁行4間×梁行2間で、規模は桁行9.00m～9.15m、梁行5.45～5.72mである。柱間は、桁行が1.75m～2.60m、梁行が2.60m～2.82mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-9°-Wを指す。

柱穴は楕円形で、長軸 76 ～ 136 cm、短軸 60 ～ 98 cm、深さ 20 ～ 40 cm を測り、他遺構に上部が切られているため柱痕ピットのみを検出のものもある。3

基で柱痕が確認できた。

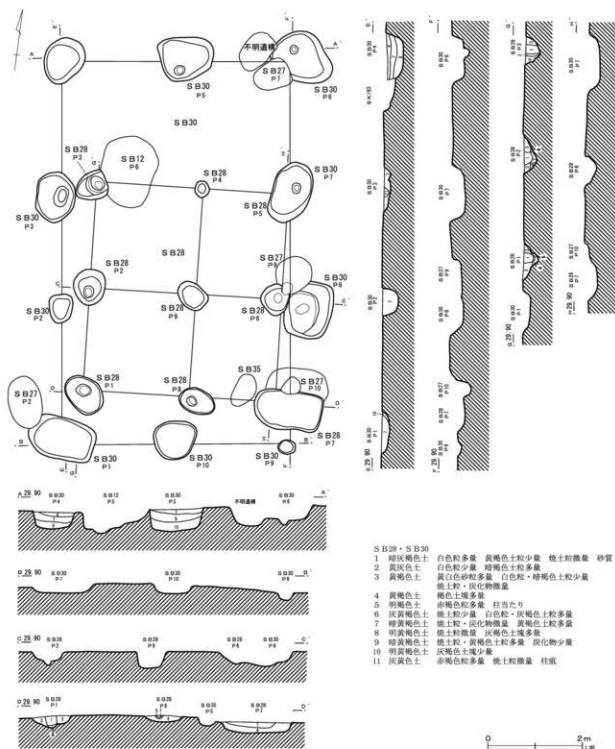
遺物は、灰釉陶器坑が出土した。



第 105 図 第 27 号独立柱建物跡・出土遺物

第27号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第105図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	灰釉甗	(17.0)			AGK	良好	灰白	10	ビット8	



第106図 第28・30号掘立柱建物跡

第28号掘立柱建物跡 (第106図)

J・K-13グリッドに位置し、下層で検出された。第12・27・30号掘立柱建物跡と重複し、第12・27号掘立柱建物跡は新しい。

建物は桁行2間×梁行2間の総柱で、規模は桁行4.32m～4.70m、梁行4.02m～4.40mである。柱間は、桁行が2.10m～2.40m、梁行が1.80m～2.32mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方向は、N-5°-Wを指す。

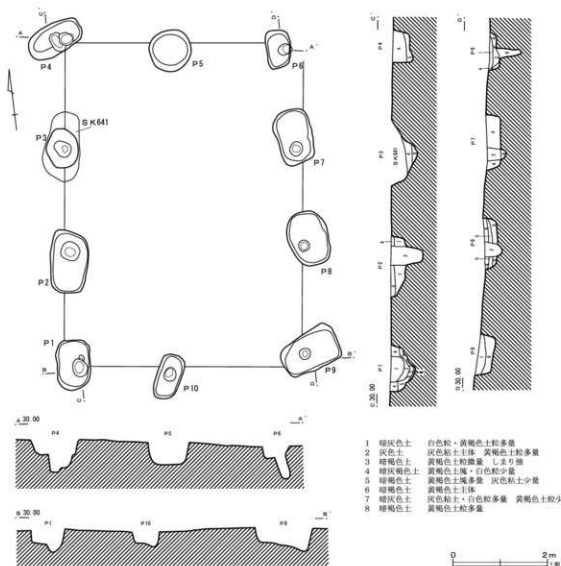
柱穴は楕円形で、長軸66～90cm、短軸52～64cm、深さ16～36cmを測る。5基で柱痕が確認できた。

第30号掘立柱建物跡 (第106図)

J・K-13グリッドに位置し、下層で検出された。第27・28号掘立柱建物跡と重複し、最も古い。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行7.80m～8.40m、梁行4.72m～5.10mである。柱間は、桁行が2.40m～2.95m、梁行が2.38m～2.50mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方向は、N-8°-Wを指す。

柱穴は楕円形で、長軸60～142cm、短軸50～92cm、深さ14～28cmを測る。また、柱痕ビットのみしか確認でなかったものもある。



第107図 第29号掘立柱建物跡

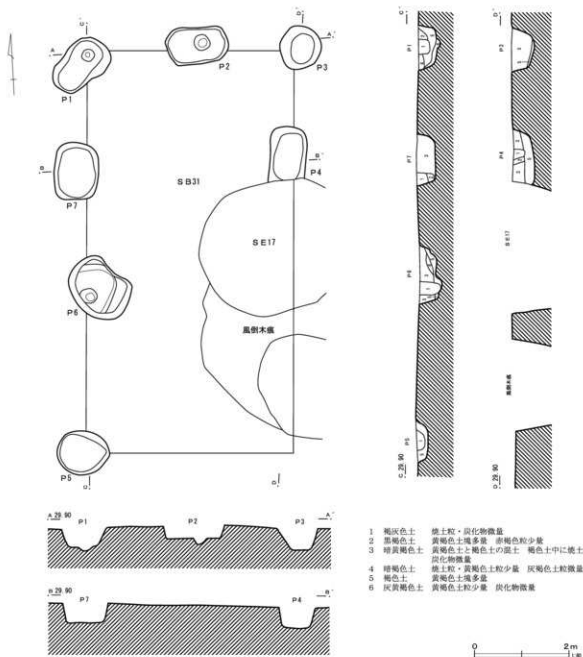
第29号掘立柱建物跡 (第107図)

I・J-18・19グリッドに位置する。第32号掘立柱建物跡と重複し、当掘立柱建物跡が新しく建て替えともみられる。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.45m～6.90m、梁行4.80m～4.98mである。柱間は、桁行が2.10m～2.40m、梁行が1.92m～2.90mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、

N-8°-Eを指す。

柱穴は長方形が主体で、楕円形・円形がある。長方形は82～92cm×52～80cm、深さ48～72cmを測り、楕円形は長軸116～120cm、短軸64～88cm、深さ40～72cmを測り、円形は径90～94cm、深さ46cmを測る。4基で柱痕が確認できた。



第108図 第31号掘立柱建物跡

第31号掘立柱建物跡 (第108・109図)

J-14グリッドに位置し、下層で検出された。第17号溝と重複し、南東部は風倒木痕に壊されている。

建物は南の梁行きが確認できなかったが、桁行3間×梁行2間で、規模は桁行8.45m、梁行4.60mである。柱間は、桁行が2.30m～3.32m、梁行が2.15m～2.45mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-4°-Eを指す。

柱穴は長方形が主体で円形などがある。長方形は120～130cm×76～96cm、深さ40～46cmを測り、

円形は径90～112cm、深さ26～46cmを測る。5基で柱痕が確認できた。

遺物は、須恵器坏が出土した。



第109図 第31号掘立柱建物跡出土遺物

第31号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第109図)

番号	器種	口径	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵坏			(7.0)		AH	良好		15	ビット5	南比企産
2	須恵坏			(7.0)		AH	良好	灰	10	ビット6	南比企産

第32号掘立柱建物跡 (第110図)

I・J-18・19グリッドに位置する。第29号掘立柱建物跡と重複し、第29号掘立柱建物跡が新しい。

建物は桁行3間×梁行2間で、規模は桁行6.20m～6.54m、梁行4.55m～5.40mである。柱間は、桁行が1.80m～2.45m、梁行が2.22m～3.28mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-7°-Eを指す。

柱穴は方形および円形で、方形は110～132cm×70～88cm、深さ40～60cmを測り、円形は径46～54cm、深さ34～46cmを測る。

第33号掘立柱建物跡 (第111図)

H・I-12・13グリッドに位置し、下層で検出された。第34号掘立柱建物跡・第7号溝と重複し、溝よりは古く、掘立柱建物跡より新しい。

建物は西側が第7号溝に切られており、桁行1間のみの確認と梁行2間で、規模は、梁行4.60mである。柱間は、桁行が1.85m、梁行が2.05m～2.54mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-89°-Wを指す。

柱穴は楕円形で、長軸60～90cm、短軸60～70cm、深さ26～32cmを測る。1基で柱痕が確認できた。

第34号掘立柱建物跡 (第111・112図)

H・I-12・13グリッドに位置し、下層で検出された。第33号掘立柱建物跡・第7号溝と重複し、溝・掘立柱建物跡より古い。

建物は西側が第7号溝に切られており、桁行1間のみの確認と梁行2間で、規模は梁行4.54m～4.90mである。柱間は、桁行が2.30m～2.60m、梁行が2.25m～2.54mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-83°-Wを指す。

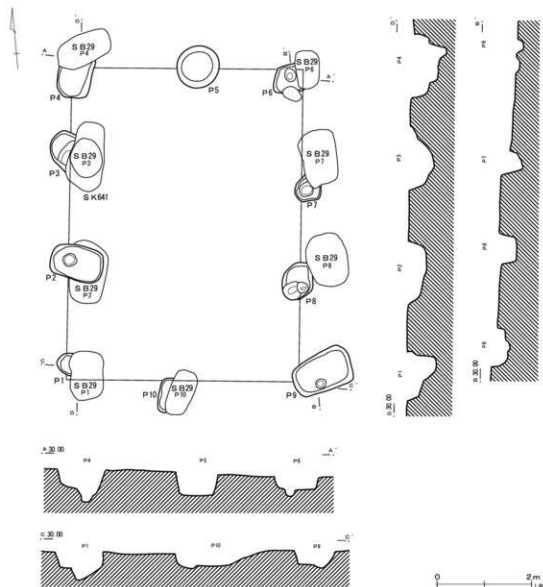
柱穴は楕円形・長方形が主体で、楕円形は長軸126～194cm、短軸76～90cm、深さ34～38cmを測る。確認できた6基で柱痕が確認できた。

遺物は、須恵器蓋が出土した。

第36号掘立柱建物跡 (第111図)

I・J-12・13グリッドに位置し、下層で検出された。第11号掘立柱建物跡と重複し、当掘立柱建物跡が古い。

建物は下層調査段階で西側が調査不能となり、桁行2間のみ確認でき、梁行2間で、規模は桁行5.04m以上、梁行6.38m～6.50mである。柱間は、桁行が2.42m～2.60m、梁行が3.10m～3.30mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、



第110図 第32号掘立柱建物跡

N-73°-Eを指す。

柱穴は円形で、径48～62cm、深さ12～20cmを測る。2基で柱痕が確認できた。

第37号掘立柱建物跡 (第113図)

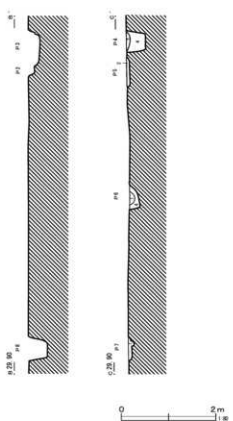
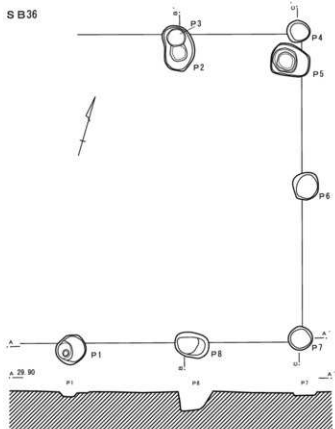
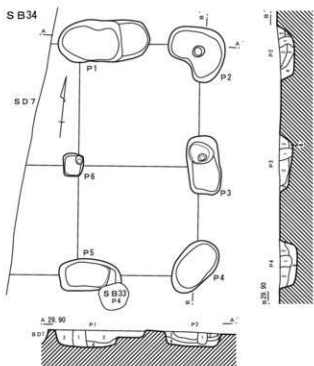
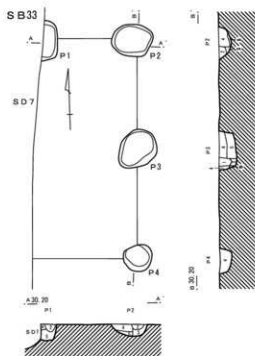
H・I-14グリッドに位置し、下層で検出された。

建物は桁行2間×梁行2間の総柱で、規模は桁行5.42m～5.80m、梁行5.38m～5.90mである。柱間は、桁行が2.40m～3.35m、梁行が2.58m～3.30mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-78°-Eを指す。

柱穴は長方形・円形・不整形で、長方形は106～122cm×80～104cm、深さ12～54cmを測り、円形は径80～88cm、深さ34～42cmを測る。1基で柱痕が確認できた。

第38号掘立柱建物跡 (第114・115図)

K・L-19グリッドに位置する。第302・310・311号住居跡、第24号掘立柱建物跡、第734号土坑、第44号井戸、第59号溝と重複し、土坑・井戸・溝・第24号掘立柱建物跡は新しく、第302・310号住居跡は古い。



- SB33
- 1 赤褐色土 白色粒微量 きめ細かいがしきりない
 - 2 暗灰黄色土 灰褐色土粒多量 赤褐色粒少量
 - 3 灰黄褐色土 黄褐色土粒少量 きめ細かいたしきり有り
 - 4 暗黄褐色土 灰褐色土粒・炭化物少量 白色粒多量
 - 5 暗褐色土 白色粒・炭化物微量 黄褐色土粒少量

- SB36
- 1 暗黄褐色土 黄褐色土粒多量 横土粒微量 炭化物含む 柱礎
 - 2 褐色土 黄褐色土粒主体 柱礎
 - 3 明褐色土 黄褐色土粒主体
 - 4 暗褐色土 黄褐色土粒主体 埋土

- SB34
- 1 暗黄褐色土 白色粒・黄褐色土粒主体 炭化物少量 柱礎
 - 2 暗黄色土 白色粒主体 炭化物、黄褐色土粒少量 赤褐色粒含む
 - 3 黄褐色土 黄褐色土粒多量 黄褐色土粒少量
 - 4 明黄褐色土 暗褐色土塊、赤褐色粒少量
 - 5 灰黄褐色土 横土粒微量 炭化物少量 赤褐色粒含む

第111图 第33・34・36号掘立柱建物跡



第112図 第34号掘立柱建物跡出土遺物

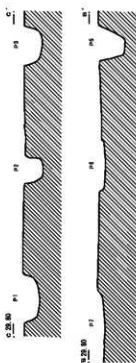
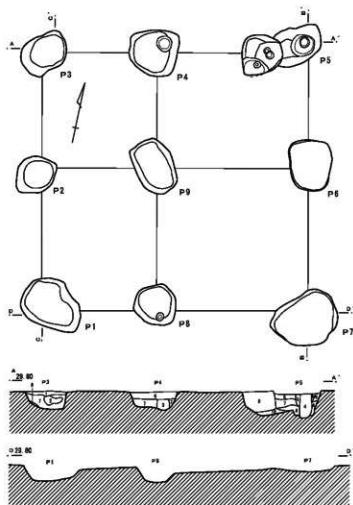
第34号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第112図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵蓋	(18.0)			AH	良好	灰	10	ビット2	南比企産
2	須恵蓋	(14.0)			AJK	良好	灰白	10	ビット6	

建物は桁行3間×梁行4間で、規模は桁行7.12m～7.62m、梁行6.45m～6.55mである。柱間は、桁行が1.62m～2.30m、梁行が1.58m～2.52mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-89°-Wを指す。

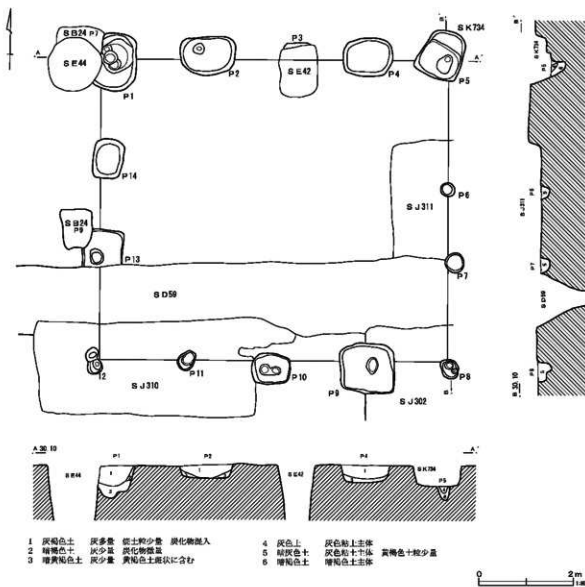
柱穴は長方形で、82～134cm×66～106cm、深さ32～70cmを測る。

遺物は、須恵器環・皿、土師器甕が出土した。



- 1 灰黄褐色土 白色砂多量 炭化物微量
- 2 褐色土 白色砂多量 炭化物がマンガン沈着により褐色に变化 きれいな土 柱穴
- 3 暗黄褐色土 暗褐色土上の土 赤褐色粒多量 柱穴
- 4 黄褐色土 粘土質・炭化物多量 黄褐色土粒少量
- 5 暗黄褐色土 粘土質・炭化物微量 白色粒多量
- 6 褐色土 褐色土塊と黄褐色土の塊 赤褐色粒多量
- 7 黄褐色土 褐色土粒少量 白色粒・黄褐色土粒多量
- 8 黄褐色土 灰褐色土粒少量
- 9 暗褐色土 赤褐色土塊多量 灰褐色土粒少量
- 10 褐色土 暗褐色土塊含む 黄褐色土粒多量

第113図 第37号掘立柱建物跡



第114図 第38号掘立柱建物跡



第115図 第38号掘立柱建物跡出土遺物

第38号掘立柱建物跡出土遺物観察表 (第115図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵鉢	(12.6)			A	普通	灰質	20	ビット4	
2	須恵皿	(13.0)			A J K	良好	灰褐色	10	ビット12	
3	土師壺	(11.4)			A B F	良好	にぶい灰褐色	15	ビット4	

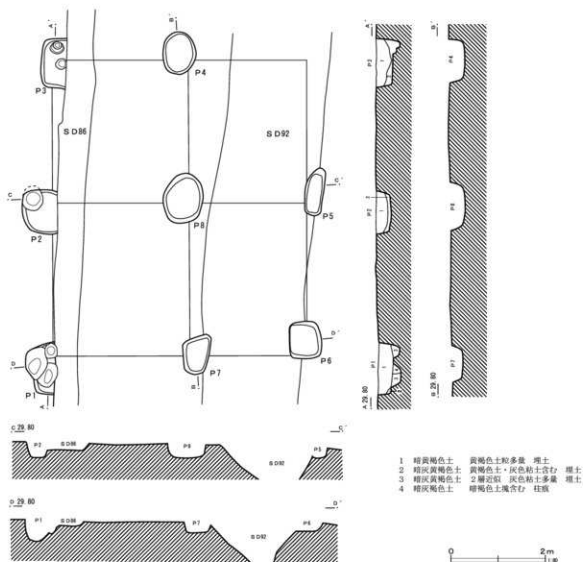
第 39 号掘立柱建物跡 (第 116 図)

L・M-21・22 グリッドに位置し、下層で検出された。第 86・92 号溝と重複し、溝が新しい。

建物は北東隅の柱穴は検出できなかったが、桁行 2 間×梁行 2 間の総柱で、規模は桁行 5.88 m～5.98 m、梁行 6.40 m～6.80 m である。柱間は、桁

行が 2.28 m～3.50 m、梁行が 3.10 m～3.55 m を測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-87°-W を指す。

柱穴は方形・楕円形で、方形は 40～55 cm、深さ 30～50 cm を測り、楕円形は長軸 94～108 cm、短軸 66～88 cm を測る。



第 116 図 第 39 号掘立柱建物跡

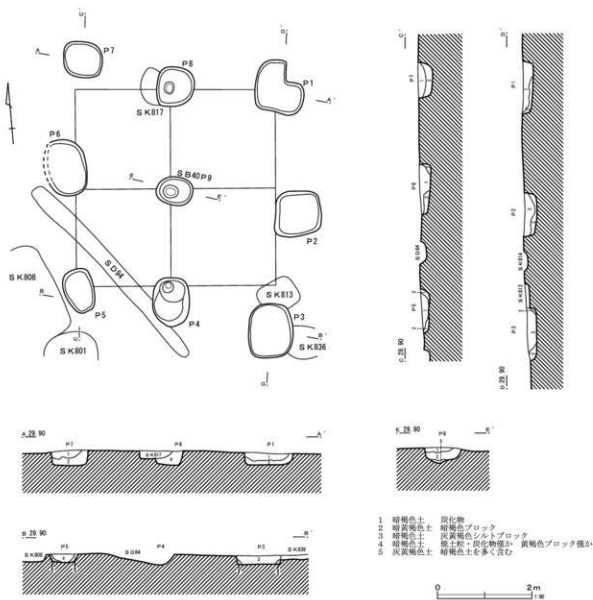
第40号掘立柱建物跡 (第117図)

L-15・16グリッドに位置し、下層で検出された。第813・817号土坑、第94号溝と重複し第817号土坑が最も新しく、第813号土坑・溝が最も古い。

建物は桁行2間×梁行2間の総柱であるが、柱穴がややずれている。規模は桁行4.20m、梁行4.10

mである。柱間は、桁行が1.92m～2.22m、梁行が2.00m～2.20mを測り、柱間にややばらつきがある。桁行方位は、N-84°-Eを指す。

柱穴は楕円形・方形で、楕円形は長軸80～122cm、短軸62～80cm、深さ20～34cmを測り、方形は96～114cm×47cm、深さ24cm測る。



第117図 第40号掘立柱建物跡

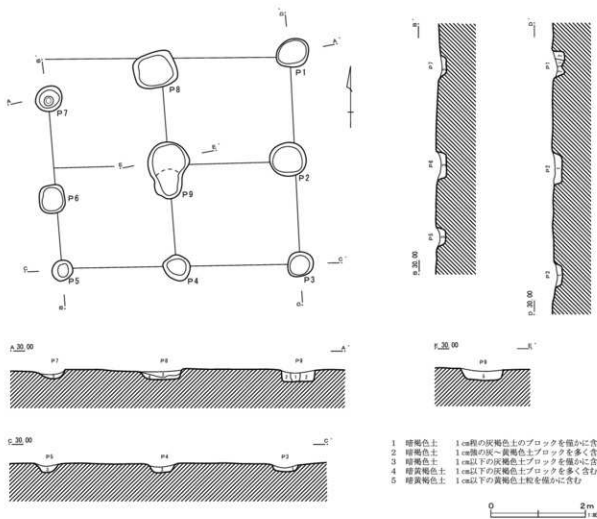
第41号掘立柱建物跡 (第118図)

L-21 グリッドに位置し、下層で検出された。

建物は北西隅の柱穴がずれているが、桁行2間×梁行2間の総柱で、規模は桁行5.02 m～5.14 m、梁行4.36 m～4.44 mである。柱間は、桁行が2.44 m～2.60 m、梁行が2.14 m～2.22 mを測り、柱間

にややばらつきがある。桁行方位は、N-86°-Eを指す。

柱穴は円形・方形で、円形は径44～76 cm、深さ16～24 cmを測り、方形は78×88 cm、深さ20 cm程を測る。



第118図 第41号掘立柱建物跡

(3) 土坑

調査当初第1号土坑から第1097号土坑まで番号を付したが、縄文時代の土坑、調査結果弥生時代の再葬墓であったもの及び土坑として調査の結果、土坑でなかったものなどがある。縄文・弥生時代の土坑・再葬墓に変更したものは12基（埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第306集「飯塚北遺跡1」）と本報告書で木棺墓1基、土坑墓5基に変更した結果、土坑総数は978基である。番号を付け直すことは混乱を生じるため、調査時の土坑番号のまま報告する。

また、遺物出土土坑を主にし、その他は一覧表として掲載する。

第10号土坑（第119・120図）

N・O-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、160cm×118cm、深さ14cmを測る。主軸方位は、N-20°-Eを指す。

遺物は、土師器環が出土した。

第11号土坑（第119・120図）

N-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、220cm×120cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

遺物は、須恵器高台付碗、灰軸陶器稜塊、土師器甕が出土した。

第25号土坑（第119・120図）

P・Q-17グリッドに位置する。平面形は、長楕円形を呈する。規模は、348cm×110cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-10°-Eを指す。

遺物は、青磁が出土した。

第28号土坑（第119・120図）

Q-18グリッドに位置する。平面形は、方形を呈する。規模は、164cm×162cm、深さ14cmを測る。主軸方位は、N-84°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付碗、土師器甕が出土した。

第47号土坑（第119・120図）

P-11グリッドに位置する。平面形は、方形を呈する。規模は、136cm×120cm、深さ60cmを測る。

主軸方位は、N-19°-Wを指す。

遺物は、須恵器環が出土した。

第48号土坑（第119・120図）

N-10グリッドに位置する。第11号住居跡と重複し、住居跡が新しい。平面形は、やや歪んだ方形を呈する。規模は、175cm×170cm、深さ42cmを測る。主軸方位は、N-29°-Eを指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器甕が出土した。

第49号土坑（第119・121図）

N-11グリッドに位置する。第37号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、208cm×120cm、深さ46cmを測る。主軸方位は、N-2°-Eを指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器環、灰軸陶器高台付皿と鉄製の釘・門金具・刀子が出土した。その他に、炭化材・鉄滓も出土している。

第50号土坑（第119・122図）

O-10グリッドに位置する。西側は調査区域外で南側は風倒木痕により壊されている。平面形は、不明で、確認できた規模は、南北110cm、東西74cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-20°-Eを指す。

遺物は、土師器甕が出土した。

第51号土坑（第119・122図）

Q-21グリッドに位置する。平面形は、凸字形を呈する。規模は、長方形部分は140cm×116cm、深さ10cmを測り、突出部は一段高くなり50cm×37cm、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

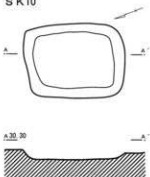
遺物は、須恵器高台付杯、土師器甕・台付甕が出土した。

第52号土坑（第119・122図）

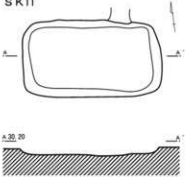
N-11グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、74cm×50cm、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-89°-Wを指す。

遺物は、土師器環が出土した。

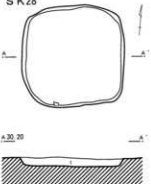
S K 10



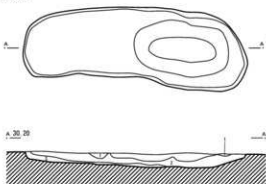
S K 11



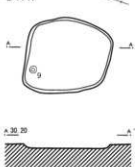
S K 28



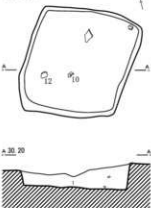
S K 25



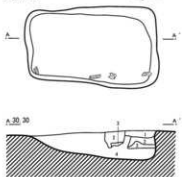
S K 47



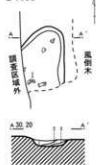
S K 48



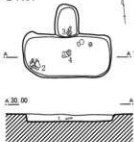
S K 49



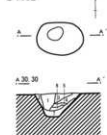
S K 50



S K 51



S K 52



第25号土坑

- 1 暗褐色土 砂質土 焼土塊若干
- 2 黒褐色土 砂質土 焼土塊・炭化物粒多
- 3 暗灰褐色土 砂質土

第28号土坑

- 1 暗褐色土 シルト質 焼土ブロック少量
炭化物微量

第48号土坑

- 1 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物を含む

第49号土坑

- 1 黒褐色土 焼土粒・炭化物少量
- 2 暗褐色土 焼土粒・炭化物微量
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロックを含む
- 4 黒褐色土 焼土粒・炭化物多量

第50号土坑

- 1 暗黄褐色土 シルト質
- 2 黒褐色土 灰・焼土粒含む
- 3 暗黄褐色土 シルト質

第51号土坑

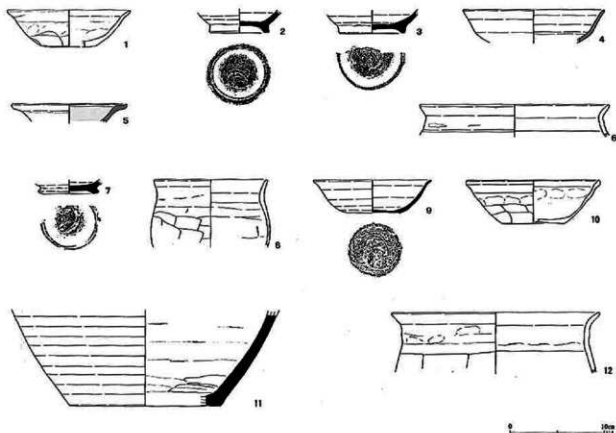
- 1 暗褐色土 砂質 焼土粒・黒色土ブロックを含む

第52号土坑

- 1 黒褐色土 焼土ブロック・炭化物含む
- 2 暗灰褐色土 焼土ブロック・炭化物含む
- 3 暗灰褐色土 焼土ブロック・炭化物含む
- 4 黒褐色土 焼土ブロック・炭化物含む
- 5 暗黄褐色土 焼土塊
- 6 赤褐色土 焼土塊
- 7 黒褐色土 焼土粒含む

0 2m

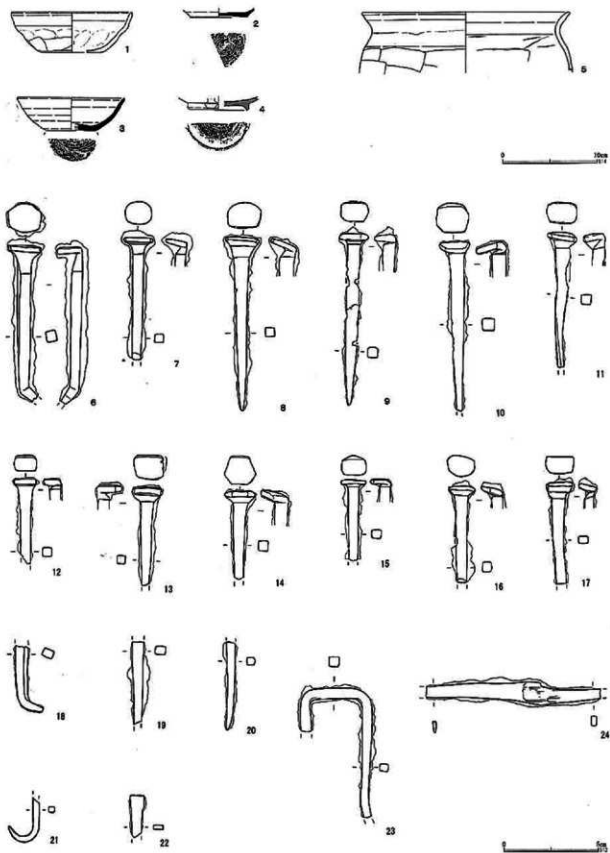
第119図 土坑(1)



第120図 土坑出土遺物(1)

土坑出土遺物観察表(第120図)

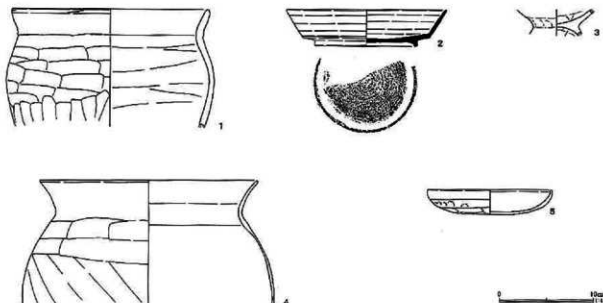
番号	器種	口径	器高	口径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)	3.9	(6.0)	BFK	普通	橙	20	S K10	施彩みられず
2	須恵高台埴			6.3	AG	良好	灰白	60	S K11	
3	須恵高台埴			7.0	AK	良好	灰白	50	S K11	
4	灰釉埴埴	(15.0)			A	良好	にぶい黄	5	S K11	
5	青磁	(12.0)				良好	緑灰	5	S K25	
6	土師壺	(20.0)			ABF	普通	橙	10	S K11	
7	須恵高台埴			(6.4)	AK	良好	灰	50	S K28	
8	土師壺	(12.0)			ABFJ	普通	橙	15	S K28	
9	須恵埴	12.3	3.5	5.6	ACFJK	良好	灰黄褐	95	S K47	
10	土師環	(14.0)	4.6	(6.6)	ABF	普通	灰黄褐	20	S K48	
11	須恵壺			(16.0)	AHK	良好	灰	20	S K48	
12	土師壺	(22.0)			ABF	普通	橙	10	S K48	



第121图 第49号土坑出土遗物

第49号土坑出土遺物観察表 (第121図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.6)	4.3	(7.2)	A B F	普通	にぶい橙	40	覆土	高台内へう割り 重ね焼き痕 施釉
2	須恵環			(6.0)	A K	良好	暗灰	20	覆土	
3	須恵環	(11.2)	3.5	(5.2)	A B	普通	灰白	10	覆土	
4	灰釉高台皿			(6.0)	A G	良好	灰白	40	覆土	
5	土師壺	(22.0)			A B F J	普通	橙	15	覆土	
6	鉄釘	長さ18.2cm		頭幅1.5×1.8cm		脚幅0.6×0.6cm			覆土	門金具か?
7	鉄釘	長さ16.5cm		頭幅1.2×1.4cm		脚幅0.4×0.4cm			覆土	
8	鉄釘	長さ9.1cm		頭幅1.5×1.8cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
9	鉄釘	長さ19.0cm		頭幅1.0×1.5cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
10	鉄釘	長さ18.9cm		頭幅1.5×1.7cm		脚幅0.6×0.6cm			覆土	
11	鉄釘	長さ17.1cm		頭幅1.1×1.6cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
12	鉄釘	長さ14.5cm		頭幅0.8×1.2cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
13	鉄釘	長さ15.2cm		頭幅1.3×(1.7)cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
14	鉄釘	長さ14.6cm		頭幅1.5×1.6cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
15	鉄釘	長さ14.3cm		頭幅1.0×1.3cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
16	鉄釘	長さ15.1cm		頭幅1.1×1.5cm		脚幅0.5×0.5cm			覆土	
17	鉄釘	長さ15.4cm		頭幅0.9×1.5cm		脚幅0.4×0.5cm			覆土	
18	鉄釘	長さ13.3cm		幅0.4×0.6cm					覆土	
19	鉄釘	長さ14.3cm		脚幅0.4×0.5cm					覆土	
20	鉄釘	長さ14.6cm		脚幅0.4×0.4cm					覆土	
21	鉄釘	長さ12.4cm		脚幅0.3×0.3cm					覆土	
22	鉄製品	長さ12.2cm		幅0.2×0.5cm					覆土	
23	鉄製品	長さ16.8cm		幅3.8cm					覆土	
24	鉄製刀子	長さ19.3cm		刃長16.1cm 刃幅1.2cm 背幅0.2~0.3cm					覆土	



第122図 土坑出土遺物(2)

土坑出土遺物観察表 (第122図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師壺	(21.0)			A B F J	普通	にぶい橙	15	S K50	
2	須恵高台杯	(17.0)	3.9	10.8	A C G	良好	炭灰	40	S K51	
3	土師台付壺				A B F J	普通	にぶい赤褐	80	S K51	
4	土師壺	(22.8)			A B C J	普通	灰黄褐	15	S K51	
5	土師環	(13.0)	2.6		A B	普通	橙	25	S K52	

第63号土坑 (第123・124図)

P-21グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径90～96cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-0°を指す。

遺物は、鉄製の長頸鎌が出土した。

第66号土坑 (第123・124図)

Q-22グリッドに位置する。第64号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径80～94cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-31°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付埴、土師器壺が出土した。

第68号土坑 (第123・124図)

Q-22グリッドに位置する。第71号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、82cm×56cm、深さ14cmを測る。主軸方位は、N-60°-Wを指す。

遺物は、土師器高台付埴・壺が出土した。

第69号土坑 (第123・124図)

Q-23グリッドに位置する。第90号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径100～114cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

遺物は、土師器環で、暗文土器も出土した。

第70号土坑 (第123・124図)

Q-23グリッドに位置する。第90号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、楕円形を呈する。規模は、142cm×104cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-75°-Wを指す。

遺物は、土師器環・壺が出土した。

第73号土坑 (第123・124図)

L-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、108cm×72cm、深さ40cmを測る。主軸方位は、N-20°-Wを指す。

遺物は、須恵器高台部が出土した。

第75号土坑 (第126・127図)

M-11グリッドに位置する。第1号火葬土坑と重複し、火葬土坑が新しい。平面形は、方形を呈する。規模は、78cm×64cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

遺物は、須恵環・高台付埴、灰釉陶器埴・高台付埴・高台付皿、緑釉陶器高台付稜皿・埴・皿・高台付輪花埴・高台付輪花皿と緑釉陶器片が出土した。

第76号土坑 (第123・124図)

O・P-12グリッドに位置する。第3・72号溝と重複し、溝が新しい。平面形は、長楕円形を呈する。規模は、991cm×190cm、深さ38cmを測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

遺物は、土師器環、暗文土器、須恵器環・高台付埴、緑釉高台付埴が出土した。

第78号土坑 (第123・125図)

N-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、210cm×96cm、深さ26cmを測る。主軸方位は、N-16°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付埴が出土した。

第79号土坑 (第123・125図)

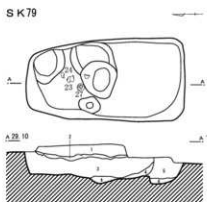
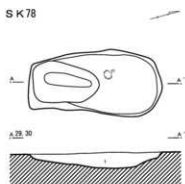
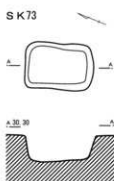
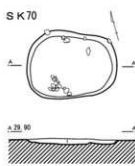
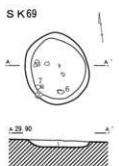
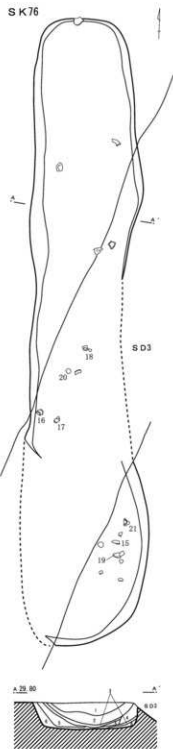
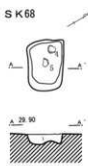
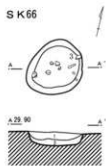
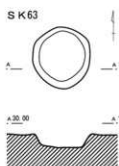
N-12グリッドに位置する。第81号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、250cm×127cm、深さ62cmを測る。主軸方位は、N-0°を指す。

遺物は、土師器環、須恵器環・高台付埴・皿、灰釉陶器高台付皿、土錘、鉄製棒状品が出土した。

第80号土坑 (第123・125図)

M-11グリッドに位置する。第94号住居跡と重複し、住居跡が新しい。平面形は、楕円形を呈する。規模は、118cm×72cm、深さ30cmを測る。主軸方位は、N-27°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器高台付埴が出土した。

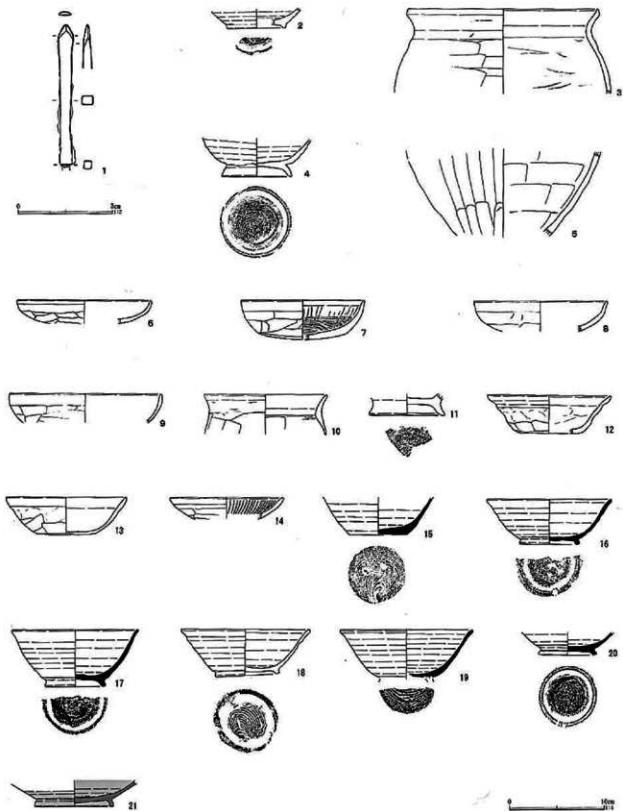


- 第68号土坑
1 灰褐色土 粘土質 粘土粒・炭化物含む
- 第69号土坑
1 暗灰褐色土 粘土質 粘土粒・炭化物含む
- 第70号土坑
1 暗灰褐色土 粘土質 粘土粒・炭化物含む
- 第78号土坑
1 灰褐色土 粘土粒・炭化物少量
- 第79号土坑
1 暗褐色土 粘土粒・炭化物少量
2 暗褐色土 炭化物多量
3 灰褐色土 炭化物少量
4 灰褐色土 黄褐色土ブロック少量
5 灰褐色土 炭土粒・炭化物少量
6 灰褐色土 黄褐色土ブロック少量
- 第80号土坑
1 灰褐色土 黄褐色土ブロック含む

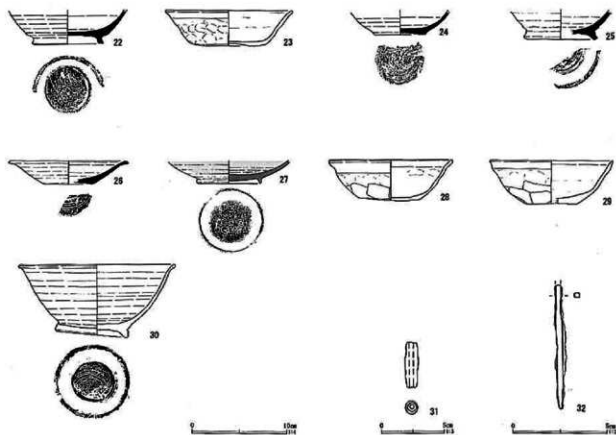
- 第76号土坑
1 暗灰黄色土 黄褐色土・灰褐色土少量 砂多量
2 黄褐色土 黄褐色土・灰褐色土少量 砂多量
3 灰色土 黄褐色土・炭化物多量 砂少量
4 明黄褐色土 灰褐色土・砂多量
5 黄灰色土 暗褐色土ブロック・灰色砂質シルト多量
6 明黄褐色土 暗褐色土・暗褐色土ブロック少量

0 2m

第123図 土坑(2)



第 124 图 土坑出土遗物 (3)



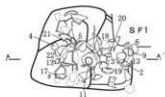
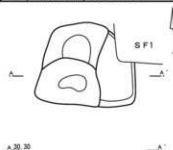
第125図 土坑出土遺物(4)

土坑出土遺物観察表 (第124・125図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	鉄鍔長頸鍔	長さ7.5cm			鉄身部長0.7cm 幅0.8cm				S K63	
2	須恵高台碗			(6.0)	A E F	普通	にぶい黄橙	20	S K66	酸化焰焼成
3	土師羹	(20.0)			A B F J	普通	橙	10	S K66	
4	土師高台碗			7.4	A B C F	普通	橙	80	S K68	ロクロ土師器
5	土師羹				A B C F	普通	褐	20	S K68	
6	土師环	(14.0)			A B	普通	橙	20	S K69	
7	土師环	(13.0)	4.2	(9.4)	A B	良好	橙	20	S K69	内面上位放射状文、以下磨き
8	土師环	(14.0)			A B F	普通	橙	15	S K70	
9	土師环	(16.0)			A B F	普通	橙	10	S K70	
10	土師羹	(13.0)			A B C F	普通	にぶい赤褐	25	S K70	
11	須恵高台碗			(8.0)	A B F	普通	浅黄橙	30	S K73	酸化焰焼成
12	土師环	(13.0)	4.0	(7.4)	A C F	普通	橙	40	S K76	
13	土師环	(12.8)	4.0	6.3	A B F	普通	にぶい橙	40	S K76	
14	土師环	(12.0)			A F	普通	橙	10	S K76	暗文土器
15	須恵环			6.1	A C K	普通	灰	40	S K76	
16	須恵高台碗	(13.2)	4.8	6.4	A K	良好	灰	30	S K76	
17	須恵高台碗	(13.4)	6.1	6.5	A F	普通	浅黄	30	S K76	
18	土師高台碗	13.6	5.1	6.8	A C F K	普通	淡黄	50	S K76	ロクロ土師器
19	須恵高台碗	(14.0)			A C K	普通	灰オリーブ	30	S K76	高台欠損
20	須恵高台碗			6.2	A K	良好	暗青灰	60	S K76	
21	緑釉碗			(8.4)	A	良好	オリーブ灰	40	S K76	
22	須恵高台碗			7.5	A B	良好	灰オリーブ	70	S K78	
23	土師环	(13.4)	3.8	7.8	A B F	普通	褐	55	S K79	
24	須恵环			5.4	A F	良好	灰	70	S K79	

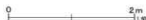
土坑出土遺物観察表 (第125図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
25	須惠高台埴			(7.8)	A K	良好	褐灰	40	S K 79	
26	須惠高台皿	(12.6)	2.5	(5.0)	A B K	良好	灰白	35	S K 79	
27	灰軸高台皿			6.7	A G K	良好	灰白	60	S K 79	高台内ヘラケズリ 施軸内外面ハケヌリ 浜北産
28	土師環	13.0	4.4	6.5	F	普通	にぶい黄橙	100	S K 80	
29	土師環	(13.0)	4.6	(5.4)	A B F	普通	橙	15	S K 80	
30	須惠高台埴	16.6	7.8	7.7	A C K	良好	灰	95	S K 80	
31	土錘	長さ3.6	径1.0	孔径0.35	重さ3.8	普通	灰黄	100	S K 79	
32	鉄製棒状品	長さ16.6	cm						S K 79	



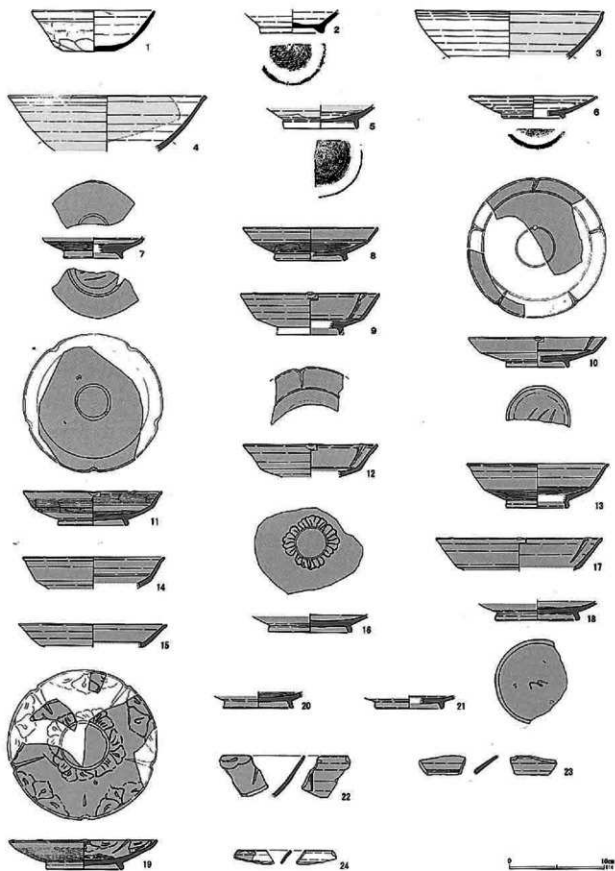
1 暗灰褐色土 胎土・灰化物粒少量

第126図 第75号土坑



第75号土坑出土遺物観察表 (第127図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須惠環	12.8	4.3	5.4	A B J	不良	灰	50		底部一方内平行ヘラケズリ 体部下端外面持ちヘラケズリ
2	須惠高台埴			(6.8)	C G K	良好	灰黄	45		
3	灰軸埴	(20.0)			A G	良好	灰	10		施軸内外面ハケヌリ
4	灰軸高台埴	(20.9)			A G K	良好	灰白	20		体部外面下端ヘラケズリ 施軸内外面ハケヌリ 二川産
5	灰軸高台埴			(7.7)	A G K	良好	灰白	25		高台内ヘラケズリ 施軸内外面ハケヌリ 浜北産
6	灰軸高台皿	(13.6)	2.4	(6.7)	A G K	良好	灰白	40		高台内ヘラケズリ 施軸ツケガケ 東濃産
7	緑軸高台椀			(6.3)	A G K	良好	オリーブ灰	35		高台内二条へラキ 猿投産
8	緑軸椀	(14.4)	3.5	(7.8)	A G	良好	オリーブ灰	35		全面施軸 内面ミガキ 猿投産
9	緑軸埴	(14.6)	4.4	(7.0)	A	良好	灰	20		輪花埴 全面施軸 猿投産
10	緑軸埴	(14.6)	3.2	6.8	G	良好	オリーブ灰	30		輪花埴 底部3本線へラキ 全面施軸 二次被熱 猿投産
11	緑軸皿	(14.6)	3.6	7.3	G	普通	オリーブ黄	50		輪花皿 内外面ミガキ・トチン跡あり 全面施軸 口縁部被熱 猿投産
12	緑軸埴	(14.2)			A G	良好	オリーブ灰	30		輪花埴 全面施軸 猿投産
13	緑軸椀	(15.0)	4.7	(6.6)	A G	良好	オリーブ灰	35		内外面ミガキ 全面施軸 口縁部被熱 猿投産
14	緑軸椀	(15.0)			G	良好	灰オリーブ	10		全面施軸 猿投産
15	緑軸椀	(16.5)			G	良好	オリーブ黄	10		全面施軸 猿投産
16	緑軸椀			8.8	A	良好	オリーブ黒	60		全面施軸 陰刻花文 全体被熱 猿投産
17	緑軸埴	(17.6)			A G	良好	オリーブ灰	15		輪花皿 全面施軸 口縁部被熱 猿投産
18	緑軸椀			(9.0)	A G	良好	オリーブ灰	40		内外面ミガキ・トチン跡あり 全面施軸 底部にへラキ 猿投産
19	緑軸皿	15.7	3.1	8.2	A G	良好	灰オリーブ	70		輪花皿 内外面ミガキ・トチン跡あり 全面施軸
20	緑軸皿			7.4	A G	良好	オリーブ灰	50		内面ミガキ 内外面トチン 全面施軸 猿投産
21	緑軸埴			(7.0)	A	良好	灰オリーブ	30		全面施軸 全体被熱 猿投産 口縁内面一部被熱 陰刻花文 猿投産
22	緑軸埴				G	良好	オリーブ黄	破片		輪花埴 全面施軸 ミガキ 猿投産
23	緑軸椀				A	良好	灰褐	破片		全面施軸 内外面被熱 猿投産
24	緑軸椀				A G	良好	灰白	破片		猿投産



第127图 第75号土坑出土遗物

第81号土坑 (第128・129図)

L-10・11グリッドに位置する。第86号土坑と重複し、第86号土坑が古い。平面形は、方形を呈する。規模は、183cm×170cm、深さ64cmを測る。主軸方位は、N-0°を指す。

遺物は、土師器環・甕・台付甕、須恵器環・高台付塊・皿・甕、緑釉陶器稜皿が出土した。

第86号土坑 (第128・129図)

L-10グリッドに位置する。第81号土坑と重複し、第81号土坑が新しい。平面形は不明で、確認できた規模は、南北98cm、東西42cm、深さ48cmを測る。主軸方位は、N-6°-Eを指す。

遺物は、緑釉陶器塊が出土した。

第82号土坑 (第128図)

N-21グリッドに位置する。平面形は方形を呈する。規模は、64cm×55cm、深さ46cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第83号土坑 (第128・130図)

L-10グリッドに位置する。平面形は、長楕円形を呈する。規模は、255cm×56cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-13°-Eを指す。

遺物は、須恵器環・高台皿・高台付塊、緑釉陶器片が出土した。

第88号土坑 (第128・130図)

L-11グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、152cm×117cm、深さ32cmを測る。主軸方位は、N-71°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付塊が出土した。

第90号土坑 (第128・130図)

K-11グリッドに位置する。第97号土坑と重複し、第97号土坑が古い。平面形は、長方形を呈する。

規模は、230cm×94cm、深さ30cmを測る。主軸方位は、N-80°-Wを指す。

遺物は、須恵器環・高台付塊・蓋・壺、灰釉陶器高台付皿、緑釉陶器稜塊・破片、土鍾が出土した。

第91号土坑 (第128・130図)

M-11グリッドに位置する。第6号溝と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は、楕円形を呈する。規模は、112cm×52cm、深さ140cmを測る。主軸方位は、N-77°-Wを指す。

遺物は、須恵器環・高台付塊・瓶、緑釉陶器片が出土した。

第92号土坑 (第128・130・131図)

K-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、137cm×108cm、深さ32cmを測る。主軸方位は、N-83°-Wを指す。

遺物は、土師器皿、須恵器環・高台付塊、灰釉陶器高台付塊と紡錘車の軸とみられる鉄製棒状品が出土した。

第93号土坑 (第128・131図)

K-11グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径76～90cm、深さ25cmを測る。主軸方位は、N-76°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付塊、鉄釘が出土した。

第94号土坑 (第128・131図)

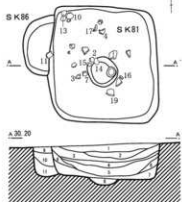
K-11グリッドに位置する。第141号土坑と重複し、第141号土坑が古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径90～94cm、深さ32cmを測る。主軸方位は、N-74°-Eを指す。

遺物は、羽口が出土した。

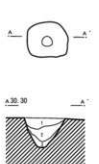
土坑出土遺物観察表 (第129図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)	4.2	(6.0)	A B C F	普通	橙	15	S K 81	
2	土師環	(13.0)	4.4	(7.0)	A B F	普通	灰黄褐	25	S K 81	
3	土師環	(12.6)	4.5	(6.4)	A B	普通	にぶい褐	20	S K 81	
4	土師環	13.4	4.2	6.2	A B C F	普通	橙	90	S K 81	
5	土師環	(13.5)	4.4	6.3	A B C F	普通	橙	25	S K 81	
6	土師環	(13.2)	3.9	(6.2)	A B F	普通	にぶい橙	30	S K 81	

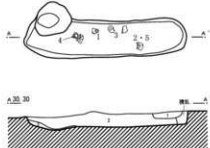
S K 81・86



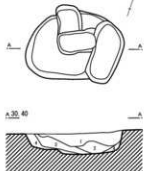
S K 82



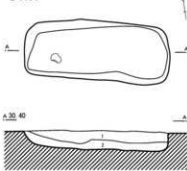
S K 83



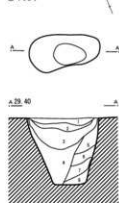
S K 88



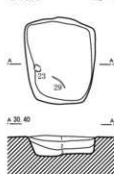
S K 90



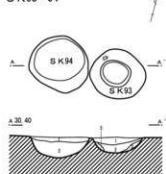
S K 91



S K 92



S K 93・94



第81・86号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒及び炭化物粒を含む
- 2 黒褐色土 暗黄褐色土ブロックを60~60%含む
- 3 黒褐色土 焼土粒及び炭化物粒 灰を多く含む
- 4 黒褐色土 暗黄褐色土ブロックを50~60%含む
- 5 黒褐色土 焼土粒及び炭化物粒 灰を多く含む
- 6 暗黄褐色土 炭化物を少量
- 7 黒褐色土 炭化物・灰を少量
- 8 灰白色土 シルト主体
- 9 暗褐色土 焼土粒微量
- 10 暗褐色土 灰色シルト層状を含む
- 11 暗褐色土 炭化物微量 灰色シルト少量

第82号土坑

- 1 暗褐色土 焼土ブロック含む
- 2 暗褐色土 焼土ブロック少量
- 3 暗褐色土 炭化物少量

第83号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒微量
- 2 黒褐色土 焼土粒多量 炭化物・炭微量
- 3 黒灰色土 炭化物微量

第91号土坑

- 1 暗褐色土 黄褐色土ブロック多量
- 2 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む
- 3 暗褐色土 焼土粒少量
- 4 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む
- 5 暗黄褐色土 粘土質 灰褐色土含む
- 6 暗褐色土 灰色粘土主体
- 7 暗黄褐色土 粘土質 灰褐色土含む
- 8 暗褐色土 灰色粘土主体

第92号土坑

- 1 暗褐色土 焼土ブロック含む 焼土粒微量
- 2 黒褐色土 焼土粒微量 炭化物含む
- 3 暗褐色土 焼土粒微量

第88号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒少量 炭化物微量
- 2 黒褐色土 焼土粒微量 炭化物少量 灰多量
- 3 暗褐色土 焼土粒・炭化物微量 灰多量
- 4 暗黄褐色土 炭化物微量

第90号土坑

- 1 黒褐色土 焼土粒少量 炭化物・灰多量
- 2 黒色土 焼土粒少量 炭化物・灰多量 暗褐色土ブロック少量 埋め戻し

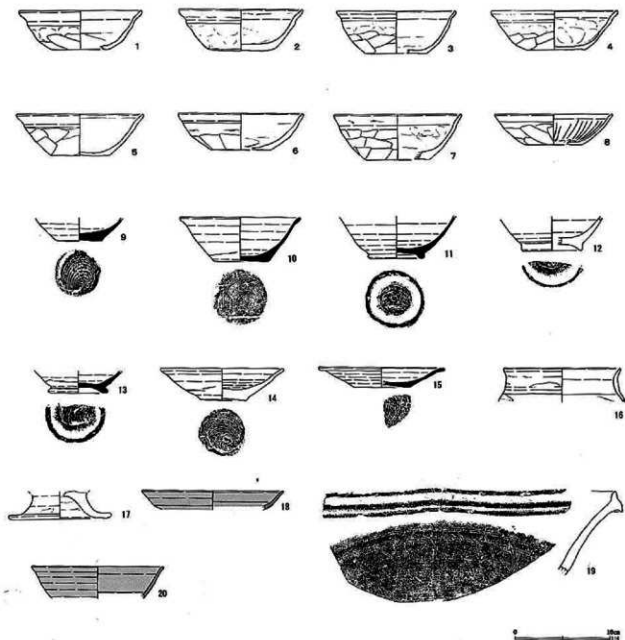
第93号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物・灰少量
- 2 暗褐色土 炭化物・灰・黄褐色土粒含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土ブロック少量

第94号土坑

- 1 暗褐色土 灰多量 柱状結核
- 2 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量

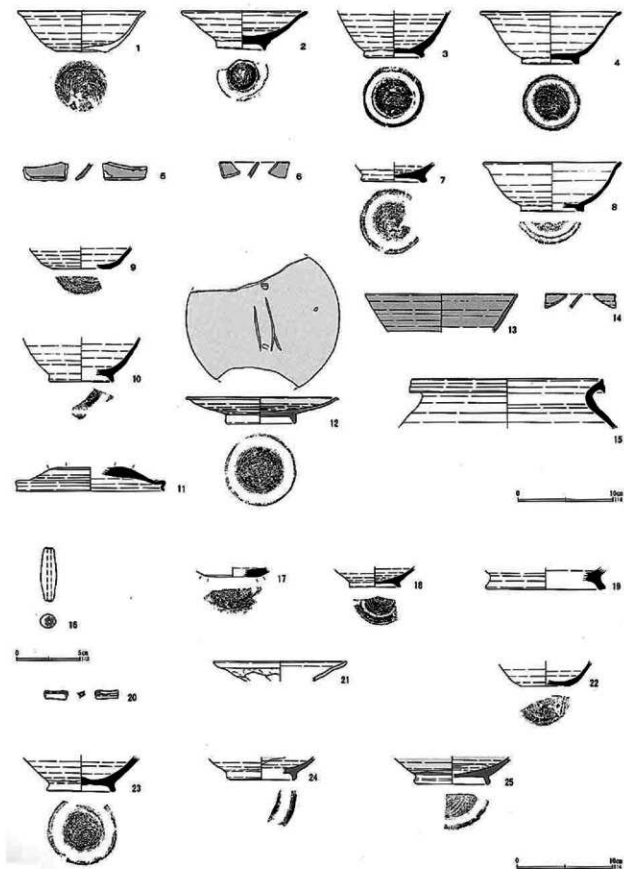
第128図 土坑(3)



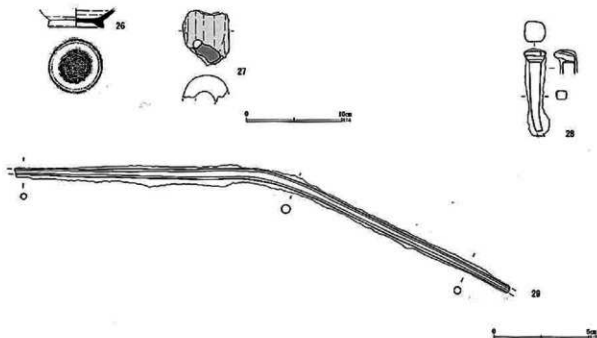
第129図 土坑出土遺物(5)

土坑出土遺物観察表(第129図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色刺	残存	出土位置	備考
7	土師環	(13.6)	4.8	(6.4)	ABC F	普通	灰黄褐	20	S K 81	内面に放射状・螺旋状胎文
8	土師環	(12.4)	3.2	(6.4)	ABC	普通	にぶい褐	10	S K 81	
9	須恵環			(5.0)	AC	不良	灰	80	S K 81	
10	須恵環	(12.8)	4.7	5.9	AG	普通	灰白	65	S K 81	酸化焼成
11	須恵高台埴			6.0	AB J	良好	褐灰	60	S K 81	
12	須恵高台埴			(6.0)	AB	普通	にぶい橙	40	S K 81	
13	須恵高台埴			(6.3)	ACK	普通	灰黄	60	S K 81	酸化焼成
14	須恵皿	(13.0)	3.4	5.0	ACK	良好	灰褐	35	S K 81	
15	須恵皿	(13.4)	2.1	(6.0)	AK	良好	灰	20	S K 81	
16	土師壺	(12.4)			AB F	普通	にぶい褐	20	S K 81	全面施釉 猿投産
17	土師台付器			(10.4)	AB F	普通	にぶい赤褐	30	S K 81	
18	緑釉椀皿	(15.0)			A	良好	灰オリーブ	10	S K 81	
19	須恵壺				A J	良好	灰	口縁	S K 81	全面施釉 二次被熱 猿投産
20	緑釉椀埴	14.0			A	良好	灰オリーブ	10	S K 86	



第130图 土坑出土遺物(6)



第131図 土坑出土遺物(7)

土坑出土遺物観察表(第130・131図)

番号	器種	口径	口径	口径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵環	(13.4)	4.3	5.7	ACF	普通	にぶい橙	40	S K 83	酸化焙焼成
2	須恵高台皿	(13.8)	4.2	5.0	A	普通	灰白	55	S K 83	
3	須恵高台埴			6.4	ABCK	普通	にぶい黄橙	60	S K 83	
4	須恵高台埴	14.9	5.6	6.1	AI	良好	灰	40	S K 83	
5	緑釉轆埴				A	良好	オリーブ灰	破片	S K 83	
6	緑釉埴				A	良好	オリーブ灰	破片	S K 83	
7	須恵高台埴			6.9	AG	良好	灰	75	S K 88	
8	須恵高台埴	(14.4)	5.2	(6.6)	ACFK	良好	にぶい赤褐	20	S K 88	
9	須恵環			(6.2)	AC	良好	灰	25	S K 90	
10	須恵高台埴			(6.8)	ACGK	良好	灰	10	S K 90	
11	須恵蓋	(15.4)			ACG	良好	灰	20	S K 90	
12	灰釉高台皿	16.2	2.9	7.2	AG	良好	灰白	70	S K 90	
13	緑釉轆埴	(16.0)			A	良好	灰オリーブ	20	S K 90	二次被熱 胎刻花文 内外面全面施釉 轆投産
14	緑釉埴				A	良好	灰オリーブ	破片	S K 90	
15	須恵短頸壺	(20.0)			ACK	良好	褐灰	15	S K 90	
16	土鍋	長さ4.2	直径1.2	孔径0.3	重量5.7	普通	黒褐	95	S K 90	
17	須恵環			(6.2)	AGK	良好	灰	30	S K 91	轆投産
18	須恵高台埴			(5.4)	ACK	良好	灰	25	S K 91	
19	須恵取			(12.6)	ABCFK	普通	灰白	25	S K 91	
20	緑釉埴				A	良好	灰オリーブ	破片	S K 91	
21	土師皿	(14.0)			ABF	普通	にぶい橙	20	S K 92	
22	須恵環			(5.0)	AJ	良好	暗青灰	20	S K 92	
23	須恵高台埴			7.2	ACK	良好	灰	70	S K 92	
24	灰釉高台埴			(7.4)	AG	良好	灰白	20	S K 92	
25	灰釉高台埴			(8.0)	AG	良好	灰白	25	S K 92	
26	須恵高台埴			5.9	AK	良好	灰	70	S K 93	
27	羽口				AFH	普通	灰黄褐		S K 94	
28	鉄釘	長さ[4.3]cm	頭径1.1×1.1cm	脚幅0.5×0.5cm					S K 93	
29	鉄製棒状物	長さ[27.0]cm	径最大0.6cm						S K 92	紡錘車の軸か?

第96号土坑 (第132・133・134図)

L-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、174cm×114cm、深さ15cmを測る。主軸方位は、N-35°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器甕、緑釉陶器塊・破片と鉄釘が出土した。

第97号土坑 (第132・135図)

L-11グリッドに位置する。第90号土坑と重複し、第90号土坑が新しい。平面形は不明であるが確認できた規模は、522cm×10cm、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-8°-Eを指す。

遺物は、土師器環・甕・台付甕、須恵器高台付塊・皿、緑釉陶器塊が出土した。

第98号土坑 (第132・133図)

K-11グリッドに位置する。第6号溝と重複し、溝が新しい。平面形は、楕円形を呈する。確認できた規模は、182cm×132cm、深さ70cmを測る。主軸方位は、N-80°-Eを指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器高台付塊が出土した。

第100号土坑 (第132・133・134図)

I-12グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、234cm×86cm、深さ23cmを測る。主軸方位は、N-4°-Eを指す。

遺物は、灰釉陶器高台付塊と延べ板状鉄製品が出土した。

第101号土坑 (第132・133図)

K-11グリッドに位置する。第104号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、148cm×57cm、深さ30cmを測る。主軸方位は、N-11°-Eを指す。

遺物は、土師器甕が出土した。

第103号土坑 (第132・133図)

I・J-12グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、250cm×128cm、深さ56cmを測る。主軸方位は、N-17°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器環・高台付塊、灰釉高台付塊が出土した。

第104号土坑 (第132・133・134図)

K・J-11グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、288cm×84cm、深さ74cmを測る。主軸方位は、N-82°-Wを指す。

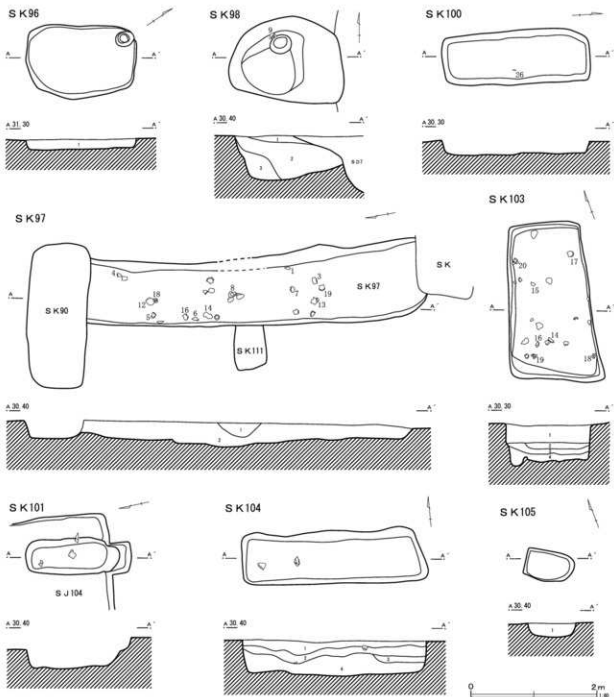
遺物は、土師器環、須恵器環・高台付塊、緑釉陶器稜塊片と鉄釘と鉄製棒状品が出土した。

第105号土坑 (第132図)

J-10グリッドに位置する。平面形は、やや歪んだ方形を呈する。規模は、78cm×48cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-56°-Wを指す。

土坑出土遺物観察表 (第133図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考	
1	土師環	(12.4)	4.0	(6.2)	ABF	普通	橙	15	S K96	輪花稜塊 全面施釉 猿投産 全面施釉 猿投産 全面施釉 東濃産 高台内ハラケズリ 施釉内外面ハケヌリ(一部) 内面重ね焼き痕あり 浜北産 外面黒書「木」?	
2	須恵甕			(16.0)	ABK	良好	灰白	5	S K96		
3	緑釉稜塊				AG	良好	オリーブ灰	破片	S K96		
4	緑釉稜塊				A	良好	灰オリーブ	破片	S K96		
5	緑釉塊				A	良好	オリーブ黄	破片	S K96		
6	土師環	(13.2)	4.1	7.2	ABF	普通	橙	70	S K98		
7	土師環		13.7	4.3	5.8	ABC F	普通	橙	90		S K98
8	須恵高台塊			5.3	ACB	不良	灰	20	S K98		
9	須恵高台塊	(14.2)	5.6	5.7	A	良好	灰白	40	S K98		
10	土師甕	(13.0)			ABF J	普通	橙	25	S K98		
11	灰釉高台塊			(7.5)	AG	良好	灰白	10	S K100		
12	土師甕	(21.0)			ABF	普通	灰黄褐	10	S K101		
13	土師環	(12.0)			BF	普通	橙	15	S K103		
14	須恵環			7.5	AH	良好	灰白	40	S K103		
15	須恵高台塊			6.1	A F K	良好	灰	25	S K103		
16	須恵高台塊			6.2	A B F K	普通	灰黄褐	60	S K103		



第96号土坑

1 暗褐色土 焼土粒少量 炭化物微量 灰少量

第97号土坑

1 暗褐色土 焼土粒少量 炭化物微量
2 黒色土 焼土粒・炭化物・灰多量

第98号土坑

1 暗褐色土 焼土粒少量 炭化物やや多
2 黒色土 焼土粒・炭化物・灰多量
3 黒褐色土 暗褐色土と3層の混土层 焼土粒微量

第103号土坑

1 暗褐色土 砂質土 焼土粒・炭化物含む
2 灰黄色土 焼土粒微量
3 灰白色土 白色土
4 灰褐色土 黄褐色土ブロック含む

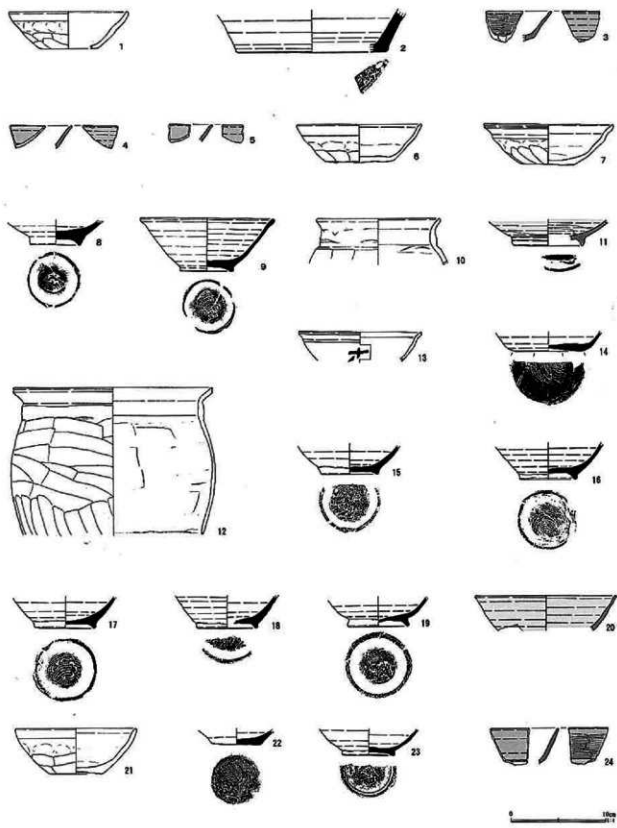
第104号土坑

1 暗褐色土 焼土粒・焼土ブロック・炭化物少量
2 暗褐色土 焼土粒・焼土ブロック多量 炭化物少量
3 暗褐色土 焼土粒・焼土ブロック少量 炭化物やや多量
4 暗褐色土 焼土粒少量 炭化物やや多量 灰色シルトと暗褐色土の互層

第105号土坑

1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量

第132図 土坑(4)



第 133 图 土坑出土遺物 (8)



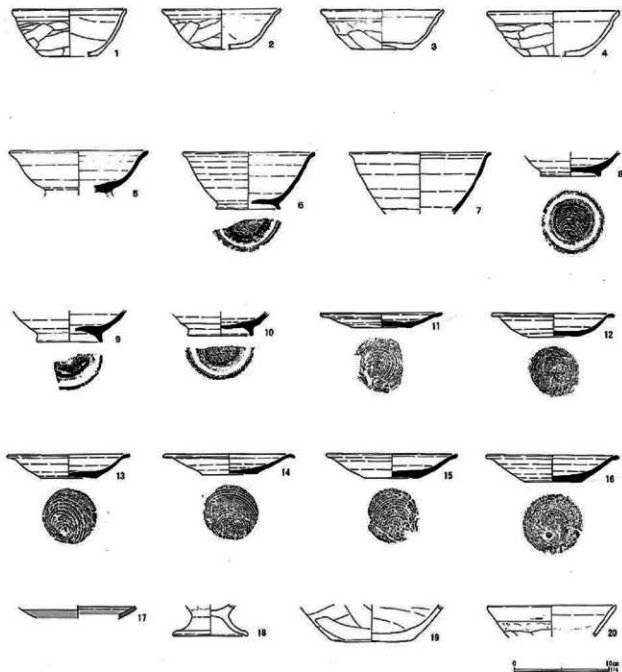
第134図 土坑出土遺物(9)

土坑出土遺物観察表 (第133・134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
17	須恵高台埴			6.5	AB	普通	灰白	80	S K 103	
18	須恵高台埴			6.6	ACK	良好	灰黄褐	25	S K 103	
19	須恵高台埴			6.6	AFK	良好	にぶい橙	60	S K 103	
20	灰釉高台埴	(15.0)			AG	良好	灰白	10	S K 103	施釉内外面ハケヌリ 東濃産
21	土師環	(12.8)	4.8	5.4	ABFJ	普通	浅黄橙	40	S K 104	
22	須恵埴			5.3	ABC	普通	灰黄	90	S K 104	
23	須恵高台埴			5.6	AG	良好	暗灰	40	S K 104	
24	緑釉種焼				AG	良好	灰オリーブ	破片	S K 104	全面施釉 讃投産
25	鉄釘	長さ[6.8]cm	脚幅0.4×0.4cm						S K 96	
26	鉄製品	長さ[1.4]cm	幅0.2×0.7cm						S K 100	延べ板状品
27	鉄釘	長さ[1.9]cm	頭幅1.5×1.5cm 脚幅0.4×0.4cm						S K 104	
28	鉄製品	長さ[6.9]cm	幅0.3cm						S K 104	棒状品

第97・110号土坑出土遺物観察表 (第135図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.0)	5.0	(6.0)	ACF	普通	橙	25	S K 97	
2	土師環	(12.6)	4.2	(6.0)	ACF	普通	にぶい褐	20	S K 97	
3	土師環	(13.0)	4.2	6.4	ABF	普通	橙	25	S K 97	
4	土師環	14.0	4.8	6.4	ABF	普通	にぶい赤褐	70	S K 97	
5	須恵高台埴	(14.6)			ABC	普通	灰	45	S K 97	
6	須恵高台埴	(14.0)	6.0	(6.8)	AIK	良好	灰	25	S K 97	
7	須恵埴	(15.0)			AGK	良好	灰	25	S K 97	
8	須恵高台埴			6.5	ABCI	普通	灰	90	S K 97	
9	須恵高台埴			(7.0)	AB	普通	暗灰	20	S K 97	
10	須恵高台埴			6.9	AGK	良好	灰	50	S K 97	
11	須恵皿	(12.8)	1.6	5.9	ACK	良好	灰	35	S K 97	
12	須恵皿	13.0	2.5	5.4	ACK	良好	灰	80	S K 97	
13	須恵皿	(13.0)	2.5	6.0	ACK	良好	灰	60	S K 97	
14	須恵皿	14.0	2.2	5.8	ACK	良好	にぶい黄橙	70	S K 97	
15	須恵皿	(13.8)	2.6	(5.8)	ABJ	不良	暗灰	30	S K 97	
16	須恵皿	(14.0)	2.9	6.5	AK	良好	灰	45	S K 97	
17	緑釉埴				AG	良好	オリーブ黄	10	S K 97	全面施釉 讃投産
18	土師台付埴			8.0	ABF	普通	にぶい赤褐	95	S K 97	
19	土師罐			(8.8)	ABFK	普通	灰黄褐	25	S K 97	
20	土師環	(13.6)			ABCF	普通	にぶい橙	20	S K 110	



第135図 土坑出土遺物(10)

第107号土坑(第136図)

J-10グリッドに位置する。平面形は、やや歪んだ方形を呈する。規模は、78 cm×48 cm、深さ22 cmを測る。主軸方位は、N-56°-Wを指す。

第108号土坑(第136図)

J-10グリッドに位置する。平面形は、やや歪んだ方形を呈する。規模は、78 cm×48 cm、深さ22

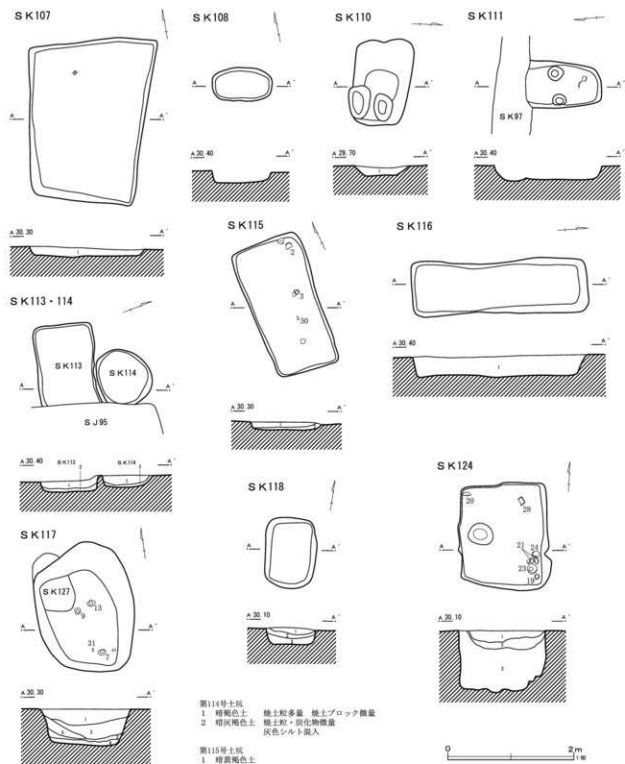
cmを測る。主軸方位は、N-56°-Wを指す。

第110号土坑(第136・135図)

J-14グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、136 cm×90 cm、深さ12 cmを測る。

主軸方位は、N-86°-Wを指す。

遺物は、土師器坏が出土した。



第107号土坑

1 暗褐色砂質土 焼土粒・炭化物ランダムに含む

第110号土坑

1 灰褐色土 炭化物少量

第113号土坑

1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量
2 灰褐色土 灰色シルト混入 焼土粒・炭化物微量

第114号土坑

1 暗褐色土 焼土粒多量 焼土ブロック微量
2 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物微量
灰色シルト混入

第115号土坑

1 暗黄褐色土
2 暗褐色土

第116号土坑

1 暗褐色土 白色粒含む

第117号土坑

1 灰褐色土 白色粒含む 炭化物少量
2 灰褐色土 白色粒含む
3 暗褐色土 粘質土 炭化物少量
4 暗褐色土 粘質土 炭化物微量
5 暗褐色土 白色粒含む 灰褐色土混入

第118号土坑

1 暗褐色土 黄褐色土ブロック含む
2 暗黒褐色土 炭化物・砂粒混入
3 灰褐色土 焼土粒・炭化物多量 黄褐色土ブロック含む

第124号土坑

1 暗褐色土 白色粒含む
2 暗褐色土 白色粒少量 炭化物・灰褐色土少量
3 黒褐色土 灰多量

第136図 土坑 (5)

第111号土坑 (第136・137図)

K-11グリッドに位置する。第97号溝と重複し、溝が新しい。平面形は、楕円形を呈すると推定される。確認できた規模は、120cm×74cm、深さ21cmを測る。主軸方位は、N-5°-Eを指す。

遺物は、須恵器皿が出土した。

第113号土坑 (第136図)

K-11グリッドに位置する。第97号溝と重複し、溝が新しい。平面形は、楕円形を呈すると推定される。確認できた規模は、120cm×74cm、深さ21cmを測る。主軸方位は、N-75°-Wを指す。

第114号土坑 (第136図)

J・K-11グリッドに位置する。第95号住居跡と重複し、住居跡が新しい。平面形は、円形を呈すると推定される。確認できた規模は、径84～96cm、深さ19cmを測る。主軸方位は、N-80°-Eを指す。

第115号土坑 (第136・137・138図)

K-12グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、216cm×106cm、深さ12cmを測る。主軸方位は、N-4°-Eを指す。

遺物は、土師器杯、灰釉陶器高台付皿、土鍾が出土した。

第116号土坑 (第136・137図)

I-10・11グリッドに位置する。第106号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈

する。規模は、278cm×78cm、深さ32cmを測る。主軸方位は、N-3°-Eを指す。

遺物は、須恵器杯・壺が出土した。

第117号土坑 (第136・137・138図)

I-11グリッドに位置する。第127号土坑と重複し、第127号土坑が古い。平面形は、楕円形を呈する。規模は、206cm×154cm、深さ58cmを測る。主軸方位は、N-5°-Eを指す。

遺物は、土師器杯、須恵器杯・壺・高台付壺と土鍾、白玉が出土した。

第118号土坑 (第136・137図)

H・I-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、112cm×80cm、深さ26cmを測る。主軸方位は、N-13°-Wを指す。

遺物は、土師器杯、須恵器壺・蓋が出土した。

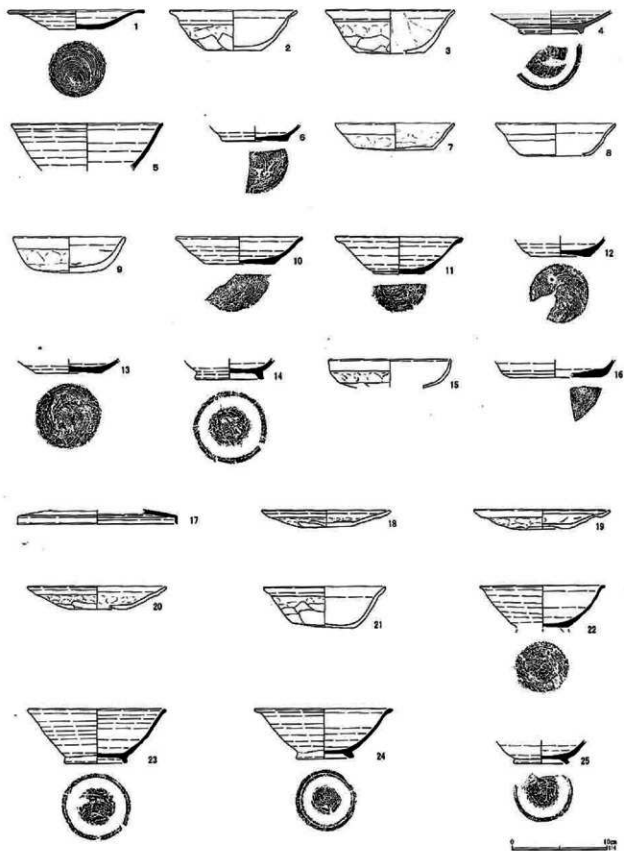
第124号土坑 (第136・137・138図)

M-12グリッドに位置する。第6号溝と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は、長方形を呈する。規模は、160cm×140cm、深さ97cmを測る。主軸方位は、N-3°-Wを指す。

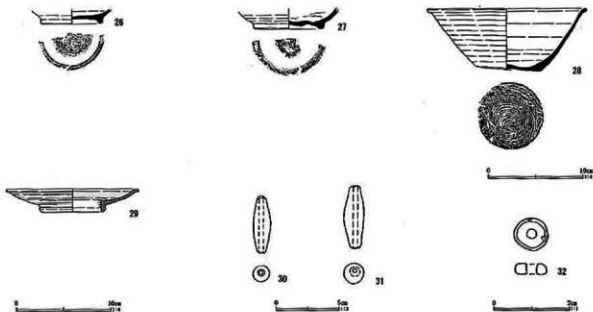
遺物は、土師器杯・皿、須恵器壺・高台付壺、灰釉陶器高台付皿が出土した。

土坑出土遺物観察表 (第137図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵皿	(14.4)	2.0	6.0	A K	良好	にぶい黄褐色	70	S K 111	高台内承切り 施軸ツケガケ 内面重ね焼き痕あり 浜北産
2	土師杯	(13.4)	4.2	6.0	J	普通	褐色	25	S K 115	
3	土師杯	(13.6)	4.6	(7.0)	A B F	普通	褐色	30	S K 115	
4	灰釉高台皿			(6.3)	A G	良好	灰白	40	S K 115	
5	須恵壺	(16.0)			A	普通	灰白	10	S K 116	
6	須恵杯			(7.0)	F J	普通	にぶい黄褐色	40	S K 116	
7	土師杯	12.6	2.9	8.4	A B C F	普通	にぶい褐色	100	S K 117	
8	土師杯	(12.6)	3.4	(7.6)	A F G	普通	褐色	10	S K 117	
9	土師杯	11.8	3.8	7.0	A B C	普通	褐色	100	S K 117	
10	須恵杯	(13.4)	2.9	(7.4)	A K	良好	灰	40	S K 117	
11	須恵杯	(13.4)	4.0	(5.6)	A K	良好	灰	30	S K 117	
12	須恵杯			6.4	A C K	良好	灰	80	S K 117	



第 137 图 土坑出土遺物 (11)



第138図 土坑出土遺物(12)

土坑出土遺物観察表 (第137・138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考	
13	須恵埴			7.0	AK	良好	褐	85	S K117		
14	須恵高台埴			(7.3)	ACK	良好	灰黄	85	S K117		
15	土脚坏	(13.0)			ABF	普通	にぶい橙	20	S K118		
16	須恵埴			(9.6)	A	良好	灰	5	S K118		
17	須恵蓋	(17.0)			AH	良好	灰	5	S K118		
18	土脚皿	13.6	1.9	4.6	ABF	普通	橙	50	S K124		
19	土脚皿	14.4	2.1	6.5	CF	普通	黒	50	S K124		
20	土脚皿	(14.6)	2.4	(8.2)	ABF	普通	にぶい橙	50	S K124		
21	土脚坏	12.8	4.4	5.5	ABC F	普通	橙	90	S K124		
22	須恵高台埴	(13.2)			ACK	良好	灰	60	S K124	内面重ね焼き痕?	
23	須恵高台埴	14.6	5.8	5.7	ABC I	普通	灰	100	S K124		
24	須恵高台埴	14.6	5.3	8.2	ACK	良好	灰	80	S K124	内面重ね焼き痕あり	
25	須恵高台埴			5.9	AK	良好	灰	70	S K124	内面重ね焼き痕あり	
26	須恵高台埴			6.6	A F K	良好	灰	50	S K124		
27	須恵高台埴			(7.4)	AC F K	良好	灰	50	S K124		
28	須恵埴	(16.9)	6.6	7.0	AC F K	良好	灰白褐	40	S K124		
29	灰動高台皿	(14.0)	2.5	(6.6)	AG	良好	灰白	10	S K124	体部外面口端へラズリ 施軸ハケヌリ 東濃産	
30	土師	長さ4.5	直径1.3	孔径0.35			重量6.2	にぶい橙	95	S K117	
31	土師	長さ4.9	直径1.6	孔径0.3			重量10.4	淡黄	100	S K115	
32	白土	厚さ0.3	直径0.9	孔径0.25			重量0.4			S K117	

第125号土坑 (第139図)

M-12グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、160 cm×116 cm、深さ158 cmを測る。主軸方位は、N-45°-Wを指す。

第127号土坑 (第139・140図)

I-11グリッドに位置する。第117号土坑と重複し、第117号土坑が新しい。平面形は、楕円形を呈する。規模は、92 cm×58 cm、確認できた深さ33

cmを測る。主軸方位は、N-11°-Wを指す。

遺物は、須恵器高盤が出土した。

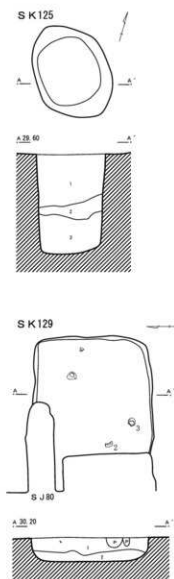
第128号土坑 (第139図)

J-11・12グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、320 cm×82 cm、深さ24 cmを測る。主軸方位は、N-10°-Eを指す。

第129号土坑 (第139・140図)

M-11グリッドに位置する。第80号住居跡・第130号土坑と重複し、住居跡は新しく、土坑は古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、確認できた東西240cm、南北188cm、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-89°-Eを指す。

遺物は、土師器環、灰釉陶器高台付壺が出土した。



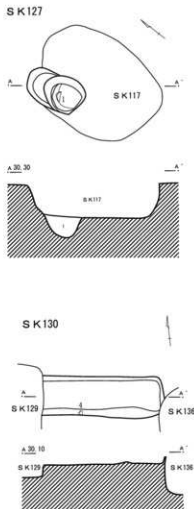
第129号土坑

- 1 灰褐色土 黄褐色土ブロック少量
- 2 灰褐色土 黄褐色土ブロック多量
- 3 灰褐色土 黄褐色土ブロック含む

第130号土坑 (第139・140図)

M-11グリッドに位置する。第129・136号土坑と重複し、この両土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、確認できた東西190cm、南北62cm、深さ12cmを測る。主軸方位は、N-75°-Wを指す。

遺物は、土師器環が出土した。

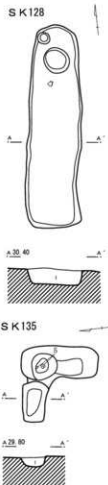


第130号土坑

- 1 灰褐色土 黄褐色土ブロック多量

第128号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物含む



第129号土坑

- 1 暗褐色土 層理面に炭化物集中
- 2 灰褐色土 炭化物少量

第135号土坑

- 1 暗褐色土 大粒の焼土粒・炭化物少量

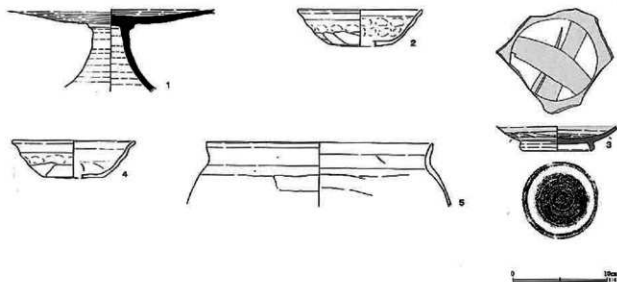
第139図 土坑(6)

第135号土坑 (第139・140図)

M-11グリッドに位置する。第180号住居跡の下から検出された。平面形は、L字形を呈する。規

模は、南北方向は120cm×48cm、東西方向は120cm×38cm、深さはそれぞれ29cm、14cmを測る。

遺物は、土師器壺が出土した。



第140図 土坑出土遺物 (13)

土坑出土遺物観察表 (第140図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵高盤				A C H J K	良好	灰	40	S K127	高台内ヘラケズリ 施釉内外面ハケヌリ 内面重ね焼き痕あり 浜北産
2	土師環	(13.2)	3.9	(6.8)	A B F	普通	橙	45	S K129	
3	灰胎高台壺			7.3	G K	良好	灰白	80	S K129	
4	土師環	(12.9)	4.0	(6.5)	A F J	普通	橙	10	S K130	
5	土師壺	(24.0)			A B F	普通	にぶい橙	5	S K135	

第136号土坑 (第141・142・143図)

M-11グリッドに位置する。第84号住居跡・第130号土坑と重複し、両方とも古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、184cm×144cm、深さ80cmを測る。主軸方位は、N-90°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器高台付壺、土師が出土した。

第137号土坑 (第141・142図)

H-13グリッドに位置する。第20号溝と重複するが、新旧関係は不明である。平面形は、楕円形を呈すると推定される。規模は、152cm×108cm、深

さ92cmを測る。主軸方位は、N-7°-Eを指す。

遺物は、緑釉陶器片が出土した。

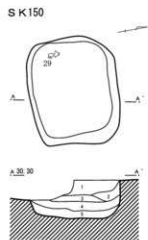
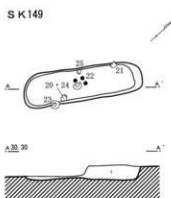
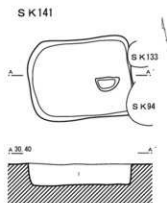
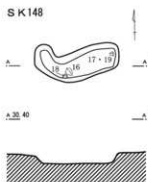
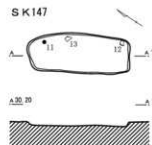
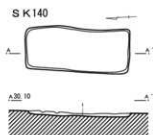
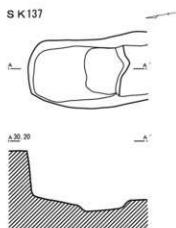
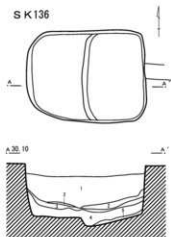
第138号土坑 (第141・142図)

D-14グリッドに位置する。第5号住居跡と重複するが新旧は不明である。平面形は、楕円形を呈する。規模は、49cm×37cm、深さ5cmを測る。主軸方位は、N-90°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器高台付壺が出土した。

第140号土坑 (第141・142図)

K-10グリッドに位置する。第103・104号住居跡の下から検出され、住居跡が新しい。平面形は、



第136号土坑

- 1 灰褐色土 炭化物少量
- 2 黒色土 灰層
- 3 黄褐色土 シルト質
- 4 灰褐色土 炭化物を層状に含む
- 5 黄褐色土 シルト質

第138号土坑

- 1 暗灰褐色土 砂質土 大型の土器片を散見
- 炭化物 横土をやや多く含む

第140号土坑

- 1 暗褐色土 灰褐色土ブロック・黒褐色土ブロック含む

第141号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量

第149号土坑

- 1 暗灰褐色土 炭化物微粒

第150号土坑

- 1 暗灰褐色土 砂質土 焼土微粒 炭化物微粒
- 2 黄褐色土 灰 焼土微粒
- 3 暗褐色土 焼土粒 炭化物粒
- 4 黒褐色土 灰 焼土粒 炭化物粒
- 5 灰褐色土 炭化物粒

0 2m
1m

第141図 土坑(7)

長方形を呈する。規模は、164 cm × 70 cm、深さ 5 cm を測る。主軸方位は、N-3°-E を指す。

遺物は、土師器環が出土した。

第 141 号土坑 (第 141・142 図)

K-11 グリッドに位置する。第 94・133 号土坑と重複し、両土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、162 cm × 124 cm、深さ 34 cm を測る。主軸方位は、N-85°-W を指す。

遺物は、土師器環、須恵器環が出土した。

第 147 号土坑 (第 141・142 図)

K-10 グリッドに位置する。第 103・104 号住居跡の下から検出され、住居跡が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、164 cm × 64 cm、深さ 6 cm を測る。主軸方位は、N-33°-W を指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器環が出土した。

第 148 号土坑 (第 141・142 図)

K-11 グリッドに位置する。第 103・104 号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、不整形円形を呈する。規模は、120 cm × 47 cm、深さ 17 cm を測る。主軸方位は、N-70°-E を指す。

遺物は、土師器環、須恵器環・高台付塊、灰釉陶器高台付塊が出土した。

第 149 号土坑 (第 141・142・143 図)

K-10・11 グリッドに位置する。第 128 号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、188 cm × 51 cm、深さ 24 cm を測る。主軸方位は、N-31°-E を指す。

遺物は、土師器環、須恵器環・高台付塊が出土した。

第 150 号土坑 (第 141・143 図)

J-11 グリッドに位置する。第 134 号住居跡・第 21 号溝と重複し、住居跡・溝が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、169 cm × 140 cm、深さ 62 cm を測る。主軸方位は、N-85°-W を指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器環・高台付塊、灰釉陶器高台付塊が出土した。

第 158 号土坑 (第 144・145 図)

J・K-12 グリッドに位置する。第 128 号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、不整形を呈する。規模は、184 cm × 114 cm、深さ 76 cm を測る。主軸方位は、N-80°-W を指す。

遺物は、灰釉陶器高台付塊が出土した。

第 166 号土坑 (第 144・145 図)

D-11 グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径 84 ~ 88 cm、深さ 12 cm を測る。主軸方位は、N-20°-W を指す。

遺物は、土師器環・甕・台付甕が出土した。

第 169 号土坑 (第 144 図)

E-12 グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径 78 ~ 84 cm、深さ 12 cm を測る。主軸方位は、N-88°-W を指す。

第 171 号土坑 (第 144・145 図)

D-12 グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径 67 ~ 71 cm、深さ 11 cm を測る。主軸方位は、N-71°-W を指す。

遺物は、土師器環が出土した。

第 176 号土坑 (第 144・145 図)

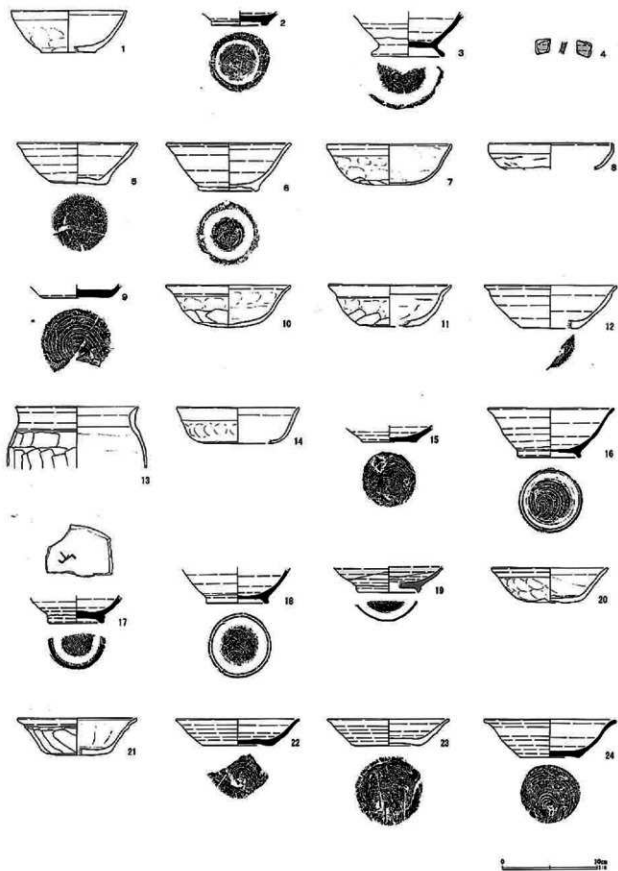
J-13 グリッドに位置する。第 3 号溝と重複し、溝が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、180 cm × 46 cm、深さ 21 cm を測る。主軸方位は、N-90°-E を指す。

遺物は、須恵器塊・高台付塊、緑釉陶器片が出土した。

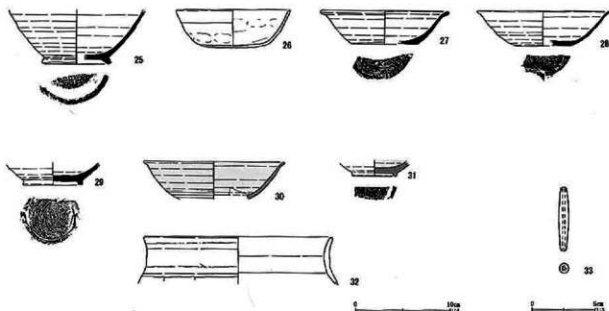
第 180 号土坑 (第 144・146 図)

J-13 グリッドに位置する。第 193 号土坑と重複し、第 193 号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈すると推定される。規模は、東西 180 cm、確認できた南北は 78 cm、深さ 28 cm を測る。主軸方位は、N-84°-W を指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器高台付塊、灰釉陶器高台付塊・高台付皿・瓶、緑釉陶器片と鉄釘片が出土した。



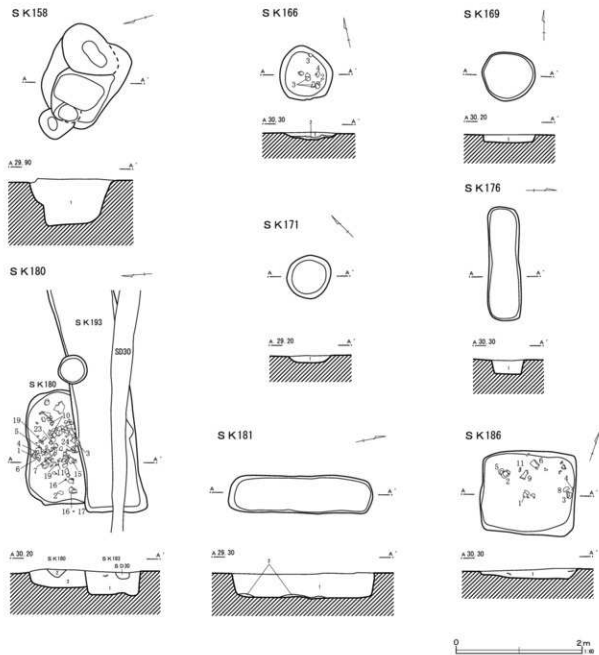
第142图 土坑出土遗物 (14)



第143図 土坑出土遺物(15)

土坑出土遺物観察表(第142・143図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.2)	4.5	5.8	ABF	普通	にぶい橙	40	S K136	
2	須恵高台碗			6.1	ACK	良好	にぶい橙	90	S K136	
3	須恵高台碗			(7.8)	AFK	普通	灰	40	S K136	
4	緑釉				A	普通	オリーブ灰	破片	S K137	装投産
5	土師環	12.8	4.5	6.3	ABF	普通	橙	95	S K138	
6	須恵高台碗	(13.2)	5.1	6.4	ACK	普通	にぶい黄	25	S K138	酸化焰焼成
7	土師環	(13.2)	4.4		ABF	普通	にぶい赤褐	30	S K140	
8	土師環	(13.0)			AB	普通	橙	10	S K141	
9	須恵環			7.0	ACK	良好	灰	80	S K141	
10	土師環	(13.2)	4.5	(7.0)	ABF	普通	にぶい橙	20	S K147	
11	土師環	(13.0)	4.5	(6.6)	ABCF	普通	にぶい橙	15	S K147	
12	須恵環	(14.0)	4.5	6.2	ABF	普通	橙	30	S K147	酸化焰焼成
13	土師環	(13.0)			ABF	普通	橙	20	S K147	
14	土師環	(13.0)	3.8	(8.4)	ABF	普通	橙	20	S K148	
15	須恵環			5.7	ACK	良好	黄灰	90	S K148	重ね焼き痕あり
16	須恵高台碗	13.4	5.3	6.8	ACK	良好	灰	60	S K148	
17	須恵高台碗			6.0	AK	良好	灰	40	S K148	内面にへら溝あり
18	須恵高台碗			6.6	AC	良好	オリーブ灰	60	S K148	
19	灰釉高台碗			(6.4)	AGK	良好	灰白	25	S K148	内面に重ね焼き痕あり 高台内糸切り 胎釉ツケガケ 東濃産
20	土師環	12.3	3.7	7.0	ABFJK	普通	橙	65	S K149	
21	土師環	(12.6)	3.9	(6.8)	ABFJK	普通	橙	25	S K149	
22	須恵環	(13.0)	2.8	(7.4)	ACFK	良好	褐灰	10	S K149	
23	須恵環	(13.0)	2.9	7.3	AFG	良好	にぶい赤褐	90	S K149	酸化焰焼成
24	須恵環	(14.0)	5.0	6.2	AFK	良好	褐灰	40	S K149	
25	須恵高台碗			(7.4)	AFK	良好	灰	40	S K149	
26	土師環	(12.0)	4.1		ABK	普通	にぶい褐	30	S K150	
27	須恵環	(13.6)	3.6	(7.0)	AK	良好	褐灰	20	S K150	
28	須恵環	(14.0)	3.7	(5.8)	ACK	良好	灰黄	40	S K150	
29	須恵高台碗			(6.2)	ACK	普通	灰	80	S K150	
30	灰釉高台碗	(15.0)			AG	良好	灰白	10	S K150	体部外面下端へラケズリ 胎釉内外面ハケズリ(一筆) 東濃産
31	灰釉高台碗			(4.7)	AG	良好	灰白	10	S K150	高台内糸切り 底部外面にへら溝きあり 東濃産
32	土師環	(20.0)			ABF	不良	橙	5	S K150	
33	土師	長さ5.1	直径0.7	孔径0.2	重畳2.2	普通	にぶい黄橙	95	S K136	



第158号土坑
1 黒褐色土 黄褐色土ブロックを均等に多く含む

第166号土坑
1 暗灰褐色土 砂質土
2 暗黒灰褐色土 砂質土

第169号土坑
1 暗灰褐色土 砂質土 砂粒をやや多く含む

第171号土坑
1 暗灰褐色土 砂質土 砂粒を多量に含む

第176号土坑
1 暗黄褐色土 砂質 白色粒少量
徳土・炭化物微量 黄褐色土
ブロックをランダムに含む

第180・190号土坑
1 黒褐色土 炭化物全面混入 徳土粒・黄色ブロック
しまり弱
白色ベニス全面 (I-1, 3, P1+2)
2 暗褐色土 暗黄褐色土をベースに全面に混炭
3 黒褐色土 徳土粒・炭化物多量混入
しまり弱 黄褐色土ブロック

第181号土坑
1 暗褐色土 砂質土
黄褐色土ブロック多く混入
炭化物・徳土わずかに混入
砂質土よくしまる

第186号土坑
1 暗褐色土 徳土ブロック・炭多量

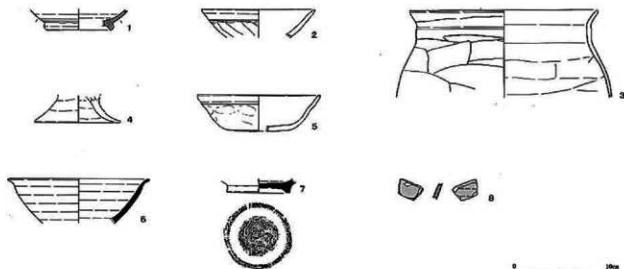
第144図 土坑(8)

第181号土坑(第144図)

J-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、126cm×78cm、深さ36cmを測

る。主軸方位は、N-10°-Eを指す。

遺物は、須恵器塊・高台付塊、緑釉陶器片が出土した。



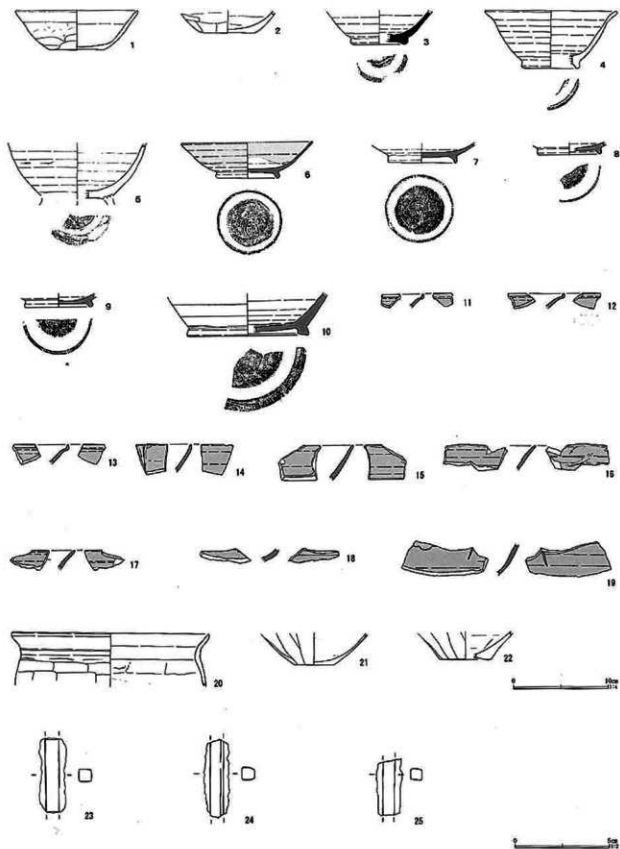
第145号 土坑出土遺物 (16)

土坑出土遺物観察表 (第145号)

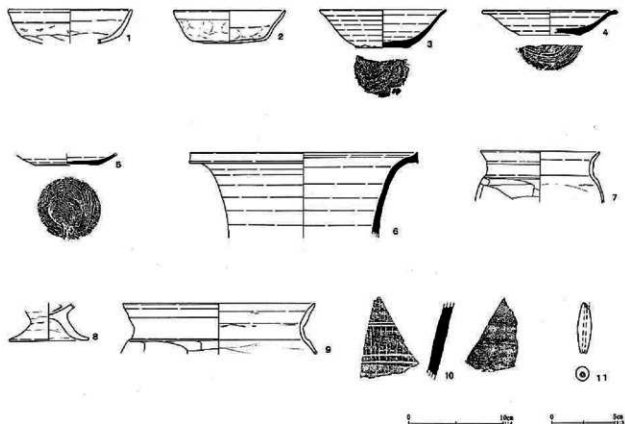
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	灰釉高台埴			(7.0)	A G	良好	灰白	10	S K158	内面重ね焼き痕あり 体部外面下端ヘラクスリ 施釉無し 東濃産
2	土師環	(12.0)			A F J	普通	灰黄褐	25	S K166	
3	土師壺	(20.0)			A B F J	普通	橙	30	S K166	
4	土師台付埴			(9.2)	A B F J	普通	にぶい橙	60	S K166	
5	土師環	(13.0)	3.8	(7.0)	A F	普通	橙	30	S K171	
6	須恵埴	(15.0)			J	普通	灰白	20	S K176	
7	須恵高台埴			6.8	A K	良好	灰白	95	S K176	
8	緑釉				A	良好	赤褐	破片	S K176	二次被熱で変色 獣投産

第180号土坑出土遺物観察表 (第146号)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)	4.2	5.9	A B F	普通	にぶい橙	30		
2	土師環			5.9	A B F	普通	橙	40		
3	須恵高台埴			(6.0)	A	普通	灰黄	20		
4	須恵高台埴	(14.0)	6.1	(6.2)	A B	良好	灰褐	25		酸化焙焼成
5	須恵高台埴				A B C D K	普通	にぶい黄橙	20		高台内側面 酸化焙焼成
6	灰釉高台埴	(13.9)	3.8	6.6	A G	良好	灰黄	60		内面に重ね焼き痕あり 高台内糸切り 施釉ツケガケ 東濃産
7	灰釉高台皿			7.1	A G	良好	灰白	80		内面に重ね焼き痕あり 高台内ヘラクスリ 施釉無し 東濃産
8	灰釉高台皿			(6.6)	A G	普通	灰黄	20		内面に重ね焼き痕あり 高台内糸切り 東濃産
9	灰釉高台皿			(7.2)	A G	良好	灰白	40		高台内糸切り 東濃産
10	灰釉長頸瓶			(13.0)	A G	良好	灰白	20		高台内ヘラクスリ (一筆) 東濃産
11	緑釉				A	良好	灰オリーブ	破片		全面施釉 獣投産
12	緑釉埴				A	良好	灰オリーブ	破片		全面施釉 獣投産
13	緑釉埴				A	良好	オリーブ黄	破片		全面施釉 獣投産
14	緑釉埴				A	良好	灰オリーブ	破片		二次被熱 輪花埴 獣投産
15	緑釉埴				A	良好	オリーブ黄	破片		二次被熱 陰刻花文 全面施釉 獣投産
16	緑釉埴				A	良好	灰赤	破片		二次被熱 輪花埴 獣投産
17	緑釉埴				A	良好	灰赤	破片		二次被熱 輪花埴 獣投産
18	緑釉埴				A	良好	オリーブ黄	破片		全面施釉 獣投産
19	緑釉埴				A	良好	赤褐	破片		二次被熱 輪花埴 陰刻花文 全面施釉 獣投産
20	土師埴	(21.0)			A B C F J	普通	にぶい橙	10		
21	土師壺			4.4	A B J	普通	にぶい黄橙	30		
22	土師埴			5.4	A J	普通	にぶい橙	30		
23	鉄製棒状品	長さ [3.9] cm		幅0.6×0.6cm						
24	鉄製棒状品	長さ [4.1] cm		幅0.7×0.7cm						
25	鉄製棒状品	長さ [3.0] cm		幅0.6×0.6cm						



第146图 第180号土坑出土遗物



第147図 第186号土坑出土遺物

第186号土坑出土遺物類聚表 (第147図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師杯	(13.0)			AJK	普通	褐	10		
2	土師杯	11.9	3.6	8.0	AB	普通	にぶい橙	95		
3	須恵杯	(13.2)	4.0	5.9	ACIK	良好	灰	45		
4	須恵皿	(14.4)	2.7	(6.4)	ACFK	良好	灰	45		
5	須恵皿			6.6	ACK	良好	灰	80		
6	須恵壺	(24.0)			ACK	良好	褐灰	10		
7	土師壺	(12.6)			ABCF	普通	にぶい赤褐	25		
8	土師台付壺			8.4	ABFJ	普通	にぶい赤褐	90		
9	土師壺	(20.4)			F	普通	橙	20		
10	須恵壺				A	良好	灰白	破片		
11	土錘	長さ3.9	直径1.0	孔径0.2	重さ3.9	普通	橙	90		

第186号土坑 (第144・147図)

K-13グリッドに位置する。平面形は、方形を呈する。規模は、150cm×133cm、深さ14cmを測る。主軸方位は、N-70°-Eを指す。

遺物は、土師器杯・壺・台付壺、須恵器杯・皿・壺、土錘が出土した。

第187号土坑 (第148・149図)

K-12グリッドに位置する。第192号住居跡と

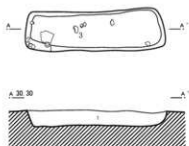
重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、218cm×62cm、深さ24cmを測る。主軸方位は、N-13°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付碗、土師器台付壺が出土した。

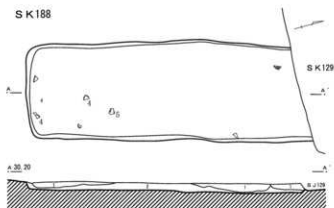
第188号土坑 (第148・149図)

J・K-12グリッドに位置する。第129・144号住居跡と重複し、第144号住居跡が古く、第129号

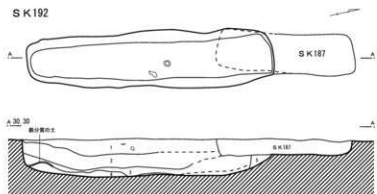
S K 187



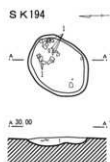
S K 188



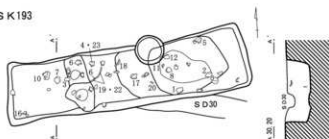
S K 192



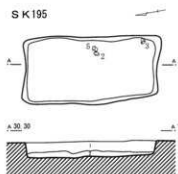
S K 194



S K 193



S K 195



S K 198



第187号土坑
1 暗褐色土 焼土粒・炭化物粒・ローム粒を少量

第188号土坑
1 黒灰褐色土 焼土粒少量 灰との混土层
2 暗灰褐色土 黄褐色土ブロック全体にランダムに含む

第192号土坑
1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量
2 暗灰褐色土 シルト質 焼土粒・炭化物多量
3 増灰褐色土 シルト質 燐化膜含む
4 黄褐色土 黄褐色土ブロック含む
5 黒褐色土 灰主体 焼土粒少量

第193号土坑
1 黒褐色土 炭化物全面混入 焼土粒
黄褐色土ブロック面に全面 しまり層

第194号土坑
1 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物含む

第195号土坑
1 暗褐色土 焼土粒・炭化物混入
2 暗褐色土 焼土粒・炭化物含む

第198号土坑
1 暗褐色土 炭化物・焼土粒線に混入
砂・白色パミス全面

0 2m

第148図 土坑(9)

住居跡が新しい。平面形は、長方形を呈すると推定される。規模は、確認できた南北455cm、東西158cm、深さ12cmを測る。主軸方位は、N-13°-Eを指す。

遺物は、須恵器高台付塊・甕、土錘が出土した。

第192号土坑 (第148・150図)

K・L-12グリッドに位置する。第187号土坑と重複し、第187号土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、390cm×88cm、深さ60cmを測る。主軸方位は、N-7°-Eを指す。

遺物は、土師器環・塊・台付甕、須恵器皿・高台付塊、灰釉陶器高台付塊・皿、緑釉陶器片が出土した。

第193号土坑 (第148・151・152図)

J-13グリッドに位置する。第180号土坑・第30号溝と重複し、土坑が古く、溝は新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、386cm×96cm、深さ36cmを測る。主軸方位は、N-83°-Eを指す。

遺物は、須恵器環・高台付塊・羽釜、灰釉高台付

塊・高台付皿、緑釉稜塊、土師器甕と鉄製品・鉄釘・鉄製棒状品・鉄製板状品が出土した。

第194号土坑 (第148・153図)

J-12グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、110cm×85cm、深さ12cmを測る。主軸方位は、N-53°-Eを指す。

遺物は、土師器甕、土錘が出土した。

第195号土坑 (第148・153図)

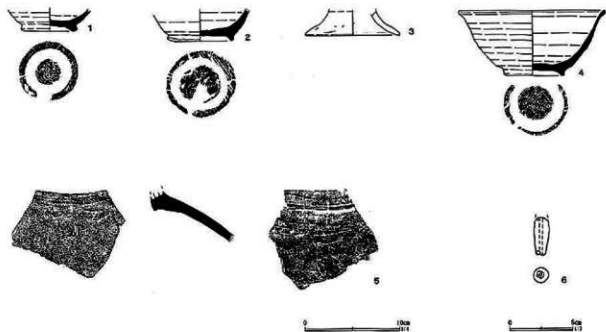
I-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、210cm×106cm、深さ24cmを測る。主軸方位は、N-11°-Eを指す。

遺物は、土師器環・台付甕、須恵器高台付塊・瓶と鉄製鑄造の容器片が出土した。

第198号土坑 (第148・153図)

L-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、167cm×124cm、深さ13cmを測る。主軸方位は、N-2°-Wを指す。

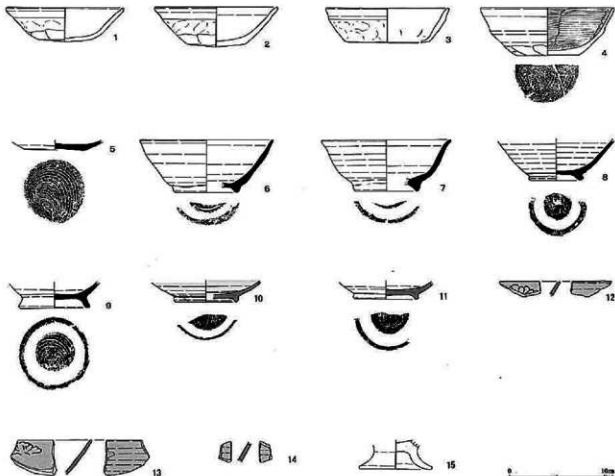
遺物は、須恵器皿・高台付塊、土師器台付甕が出土した。



第149図 土坑出土遺物 (17)

第187・188号土坑出土遺物観察表 (第149図)

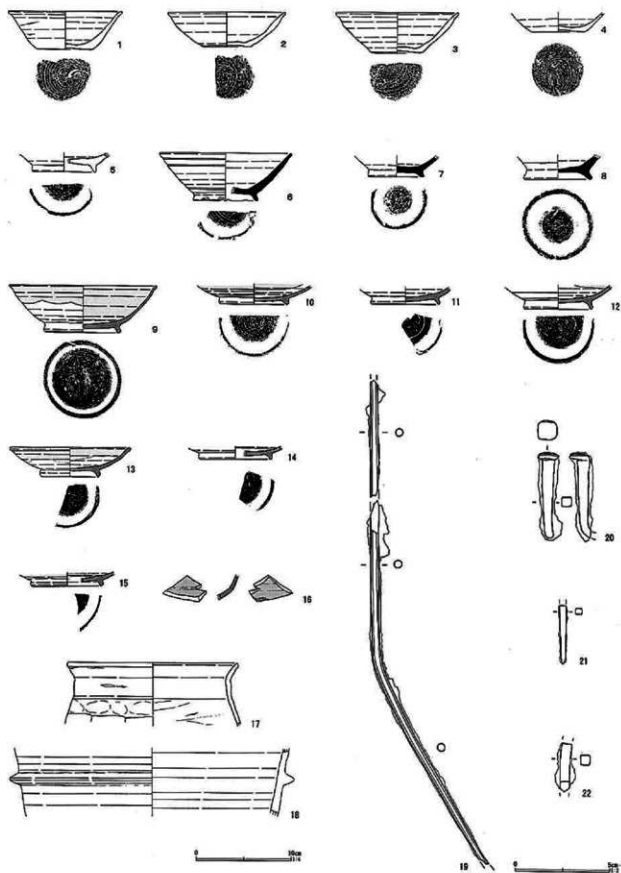
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵高台埴			6.0	ACK	普通	灰	30	S K 187	
2	須恵高台埴			7.0	ACK	良好	灰褐	80	S K 187	
3	土師台付埴			(10.0)	ABF	普通	にぶい橙	20	S K 187	
4	須恵高台埴	(15.6)	6.9	6.4	AFK	良好	灰	60	S K 188	
5	須恵埴				ACGK	良好	灰	腹片	S K 188	
6	土唾	長さ3.0	直径1.2	孔径0.2	重量3.6	普通	にぶい橙	70	S K 188	



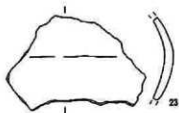
第150図 第192号土坑出土遺物

第192号土坑出土遺物観察表 (第150図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師坏	(12.4)	3.6	(5.8)	ABF	普通	浅黄褐色	15		
2	土師坏	(13.0)	4.2	(6.0)	ABF	不良	橙	40		
3	土師坏	(13.0)	3.7	(8.8)	ABF	普通	にぶい橙	10		
4	土師坏	(14.0)	5.1	6.6	AJK	良好	にぶい黄橙	40		内面磨き
5	須恵皿		6.7		AK	良好	にぶい褐	90		
6	須恵高台埴	(14.0)	5.6	(7.0)	BK	不良	灰	25		
7	須恵高台埴	(13.6)	5.4	(6.6)	A	不良	褐灰	40		
8	須恵高台埴			6.0	ACK	普通	灰	45		
9	須恵高台埴			7.5	A	普通	灰	45		
10	灰胎高台皿			(6.6)	AG	良好	灰白	20		内面重ね焼き痕あり 高台内糸切り 施胎ツケガケ 束濃産
11	灰胎高台埴			(6.9)	AG	普通	灰白	25		高台内ヘラケズリ 東濃江産
12	緑胎碗				A	普通	にぶい黄	破片		二次被熱? 全面施胎 除刺花文 叢枝産
13	緑胎碗				A	普通	灰オリーブ	破片		二次被熱? 全面施胎
14	緑胎				A	普通	灰白	破片		二次被熱? 全面施胎
15	土師台付壺			(7.0)	ABFJ	普通	にぶい褐	60		



第 151 图 第 193 号土坑出土遗物 (1)



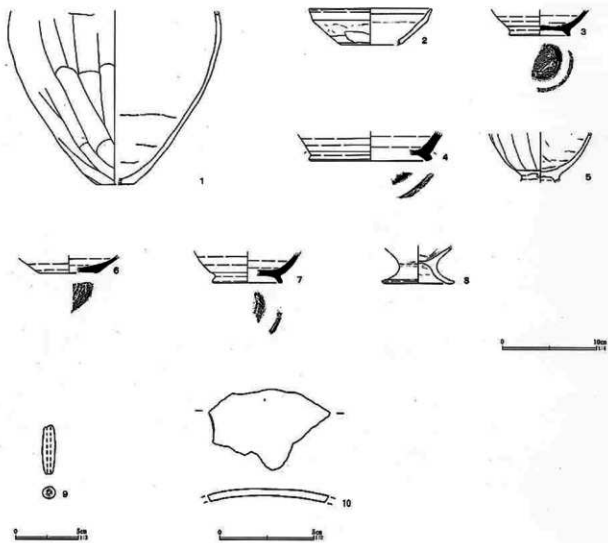
第152図 第193号土坑出土遺物(2)

第193号土坑出土遺物観察表(第151・152図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵環	(12.0)	4.0	5.8	A B F	普通	にぶい橙	30		酸化焙焼成
2	須恵環	(12.4)	3.7	5.4	A B F	普通	にぶい橙	30		酸化焙焼成
3	須恵環	(13.0)	4.3	5.6	A B F	普通	浅黄橙	30		酸化焙焼成
4	須恵環		5.6	A B F	良好	浅黄橙	60			酸化焙焼成
5	須恵高台埴	(6.8)	A B F	普通	橙	45				酸化焙焼成
6	須恵高台埴	(14.0)	5.1	(6.8)	A B	普通	灰黄	35		
7	須恵高台埴		5.9	A K	良好	灰	70			
8	須恵高台埴		7.3	A	普通	黒褐	60			
9	灰胎高台埴	(15.6)	5.0	8.1	A G K	良好	灰白	80		内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ
10	灰胎高台皿			(7.4)	A G	良好	灰白	30		施釉ツケガケ 既北産
11	灰胎高台皿			7.2	A G	良好	灰白	20		内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ
12	灰胎高台埴			7.3	A G K	良好	灰白	50		施釉内外面ハケヌリ 東濃産
13	灰胎高台皿	(12.8)	3.1	(6.1)	A G K	良好	灰	25		高台内ヘラケズリ 内面ハケヌリ 東濃江産
14	灰胎高台皿			(7.6)	A G	良好	灰白	10		飯田産 高台内赤切り 施釉ツケガケ 東濃江産
15	灰胎高台皿			(7.2)	A G	良好	灰白	10		内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ
16	緑彩破塊				A G	良好	浅黄	破片		施釉内外面ハケヌリ 東濃産
17	土師壺	(18.0)			B F	普通	灰黄褐	10		窯穴産
18	須恵羽輪				A B F	良好	にぶい橙	10		還元焙焼成
19	鉄製品	長さ[26.4]cm 幅0.4cm								棒状品 紡錘車の軸か?
20	鉄釘	長さ[4.4]cm 頭幅1.0×1.0cm 脚幅0.5×0.5cm								
21	鉄釘	長さ[3.1]cm 幅0.3×0.3cm								
22	棒状鉄製品	長さ[2.5]cm 幅0.5×0.5cm								
23	板状鉄製品	長さ[7.3]cm 幅[5.0]cm 厚さ0.5cm								容器か?

土坑出土遺物観察表(第153図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師壺		(4.0)		B F J	普通	にぶい橙	40	S K 194	
2	土師環	(13.0)	3.8	(7.0)	A B C	普通	褐	40	S K 195	
3	須恵高台埴		(6.4)		A C K	良好	灰	10	S K 195	重ね焼き痕あり ヘラ焼きあり
4	須恵長頸瓶		(13.0)		A K	普通	灰白	10	S K 195	
5	土師台付壺				A B	普通	褐	60	S K 195	
6	須恵皿		(6.0)		A K	良好	灰	10	S K 198	
7	須恵高台埴		(7.4)		A F	良好	黄灰	10	S K 198	
8	土師台付壺		(7.6)		A B F	普通	にぶい褐	60	S K 198	
9	土罐	長さ3.8	直径0.9	口径0.3	重量2.7	普通	灰白	95	S K 194	
10	鉄製品	長さ[6.4]cm 幅[4.3]cm 厚さ0.4cm							S K 195	容器片? 鋳造品



第 153 图 土坑出土遺物 (18)

第200号土坑 (第154・155図)

K-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、292cm×160cm、深さ40cmを測る。主軸方位は、N-84°-Wを指す。

遺物は、土師器環・台付甕、須恵器環・高台付埴・高台付皿、灰軸高台付皿と鉄製品は刀子・棒状品・釘が出土した。

第201号土坑 (第154・156図)

K-13グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、184cm×128cm、深さ22cmを測る。主軸方位は、N-50°-Eを指す。

遺物は、土師器甕・台付甕と長頸長三角形の鉄鏝が出土した。

第202号土坑 (第154・156図)

L-13グリッドに位置する。平面形は、円形を呈する。規模は、径53～63cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-80°-Wを指す。

遺物は、土師器環・甕が出土した。

第207号土坑 (第154・156図)

M-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、260cm×86cm、深さ34cmを測る。主軸方位は、N-90°-Eを指す。

遺物は、灰軸陶器高台付埴が出土した。

第208号土坑 (第154・157図)

L-13グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、147cm×88cm、深さ40cmを測

る。主軸方位は、N-80°-Wを指す。

遺物は、土師器環・甕・小型甕・台付甕、須恵器環・埴・高台付埴・高台付皿が出土した。

第211号土坑 (第154図)

M・N-12グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、72×53cm、深さ18cmを測る。主軸方位は、N-10°-Wを指す。

第213号土坑 (第154・158図)

M-12グリッドに位置する。第200号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、71cm×58cm、深さ36cmを測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

遺物は、須恵器高台付埴・壺が出土した。

第215号土坑 (第154・158図)

I-14グリッドに位置する。平面形は、不整形を呈する。規模は、104cm×94cm、深さ16cmを測る。主軸方位は、N-87°-Wを指す。

遺物は、土師器環、須恵器環・埴・鉢・甕が出土した。

第218号土坑 (第154・158図)

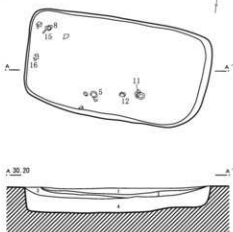
L-13グリッドに位置する。第178号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、186cm×88cm、深さ19cmを測る。主軸方位は、N-1°-Wを指す。

遺物は、土師器環・甕、須恵器高台付埴が出土した。

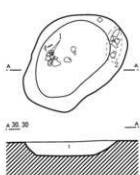
第200号土坑出土遺物観察表 (第155図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.6)	3.8	6.8	ABF	普通	にぶい赤褐	40	酸化焙焼成 内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ 施軸内外面ヘケズリ 浜北産	
2	土師環	12.7	3.8	7.3	ABF	普通	橙	60		
3	須恵環	12.3	4.2	6.0	AB	普通	にぶい黄	75		
4	須恵環	(13.0)	4.5	(5.8)	A	普通	灰白	20		
5	須恵環	(14.0)	4.2	6.0	ACK	良好	褐灰	50		
6	須恵高台埴	(14.0)			AG	良好	灰白	20		
7	須恵高台埴				ABFI	普通	にぶい黄橙	90		
8	須恵高台埴			6.5	ACK	良好	褐灰	60		
9	須恵高台埴			(6.7)	AK	良好	灰	60		
10	須恵高台埴			(7.0)	ACK	良好	灰	20		
11	須恵高台皿	13.6	3.7	5.5	AG	普通	灰	70		
12	灰軸高台皿	(15.0)	2.8	(7.3)	AGK	良好	灰白	30		

S K 200



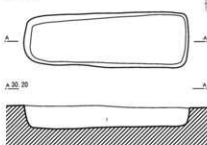
S K 201



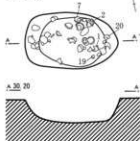
S K 202



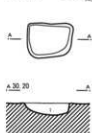
S K 207



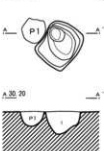
S K 208



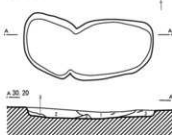
S K 211



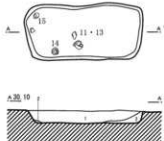
S K 213



S K 215



S K 218



第200号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量
- 2 炭化物 炭化物主体 焼土粒・焼土ブロック含む
- 3 明褐色土 灰白色細砂粒含む
- 4 灰褐色土 灰白色砂粒多量

第201号土坑

- 1 暗褐色土 白色粒混入 焼土粒多量 炭化物ランダムに含む

第202号土坑

- 1 黒褐色土 焼土粒多量 炭化物微量 灰褐色土 ブロックランダムに混入 灰を含む

第207号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物微量

第211号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒・炭化物少量 灰混入

第213号土坑

- 1 暗灰褐色土 焼土粒微量 炭化物少量
- 暗褐色土ランダムに含む
- P1 暗灰褐色土 焼土粒微量

第215号土坑

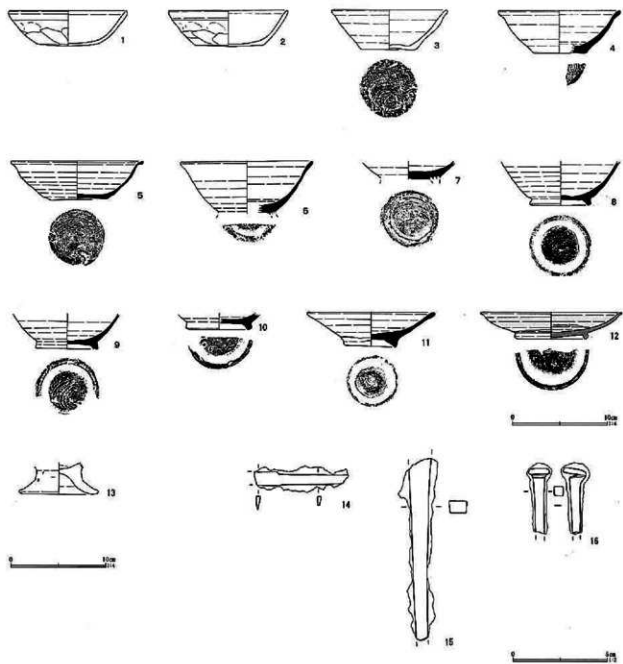
- 1 黒褐色土 粘性泥 炭化物粒子 炭化材多量 焼土粒微量 しまり欠
- 2 暗灰褐色土 粘性中 炭化物粒子微量 濃物含む しまりやや欠
- 3 暗褐色土 粘性弱 炭化物粒子微量 褐色土小ブロック少量 照り方

第218号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒 炭化物多量 包含物なし 煤黒色に近く しまり強
- 2 黒褐色土



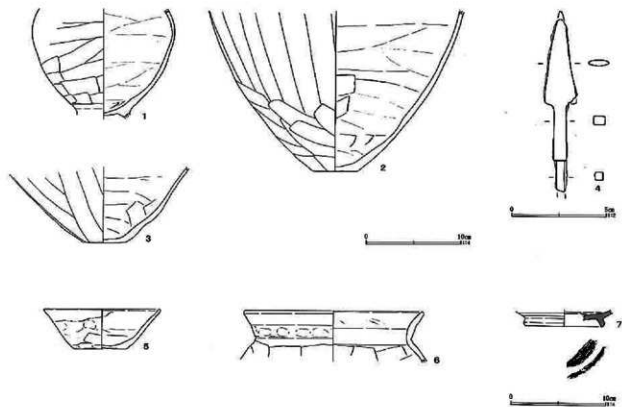
第154図 土坑 (10)



第155图 第200号土坑出土遺物

第200号土坑出土遺物觀察表 (第155图)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	施成	色調	残存	出土位置	備考
13	土師台付壺		(8.4)		ABF	普通	橙	60		
14	鉄製品	長さ[5.0]cm		刃幅0.7cm	背幅0.2cm					刀子か？
15	鉄製棒状品	長さ[9.6]cm		幅0.6×0.9cm						
16	鉄釘	長さ[3.4]cm		頭幅(1.1×1.2)cm	幅(0.5×0.5)cm					



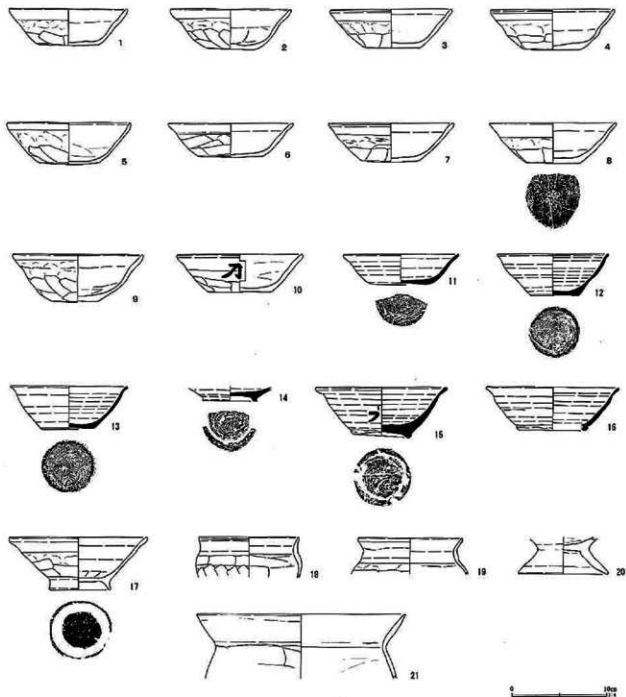
第156図 土坑出土遺物 (19)

土坑出土遺物観察表 (第156図)

番号	器種	口径	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師台付甕					ABJ	普通	にぶい褐	40	S K201	
2	土師甕			4.7		ABF	普通	にぶい黄褐	60	S K201	
3	土師甕			4.7		ABFJ	普通	にぶい褐	60	S K201	
4	鉄	長さ(9.1)cm		鉄身長(4.5)cm		鉄幅(1.7)cm				S K201	長頸長三角形鍔
5	土師環	(12.2)	4.2	5.7		AB	普通	にぶい橙	60	S K202	
6	土師環	(19.0)				ABF	普通	黒褐	20	S K202	
7	灰胎高台				(8.3)	AGK	良好	灰白	10	S K207	内面重ね焼き痕あり 高台内へラケズリ 東濃産

第208号土坑出土遺物観察表 (第157図)

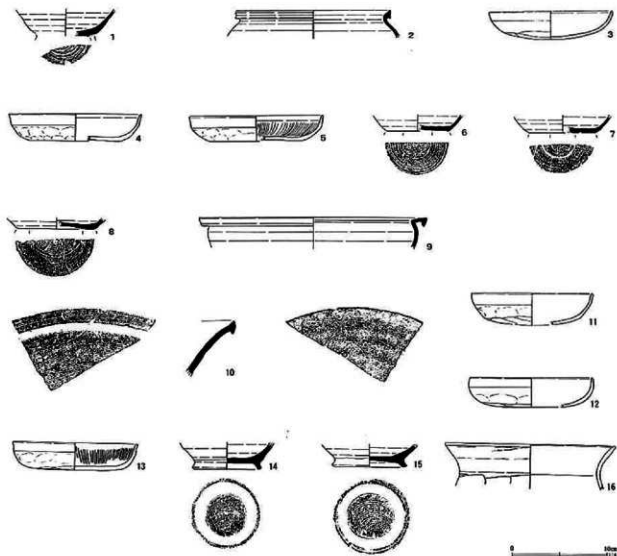
番号	器種	口径	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.4)	4.0	(6.0)		ABF	普通	橙	20		
2	土師環	12.7	4.3	5.0		ABF	普通	橙	90		
3	土師環	12.7	4.1	5.9		ABF	普通	橙	60		
4	土師環	(13.0)	4.3	(6.2)		ABF	普通	橙	20		
5	土師環	(13.0)	4.5	6.4		ABF	普通	橙	30		
6	土師環	(13.2)	3.7	7.0		ABF	普通	にぶい黄褐	40		
7	土師環	13.2	4.2	6.2		ABF	普通	橙	60		
8	土師環	(13.4)	4.3	6.0		ABF	普通	にぶい褐	20		底部外面にヘラ描き
9	土師環	13.8	5.1	5.0		ABC F	普通	橙	60		
10	土師環	(13.0)	4.0	6.6		BCF	普通	橙	60		体部外面に黒書「木」?
11	須恵環	(12.2)	3.2	5.6		ACK	普通	オリーブ黒	35		
12	須恵環	(11.8)	4.5	5.5		ACK	良好	灰	30		
13	須恵環	12.5	4.6	5.8		ACK	良好	灰	80		
14	須恵高台皿				(5.8)	AK	良好	灰	80		
15	須恵高台皿	14.0	5.3	6.0		AGJ	不良	灰白	75		体部外面に黒書



第 157 图 第 208 号土坑出土遺物

第 208 号土坑出土遺物觀察表 (第 157 图)

番号	器種	口徑	器高	底徑	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
16	須惠高台埴	(14.0)	4.6	(7.2)	A C K	良好	灰白	45		鹽化縮焼成
17	須惠高台埴	(14.6)	5.6	6.6	A B F	普通	橙	40		
18	土師小型甕	(10.6)			A B F	普通	褐	20		
19	土師小型甕	(11.0)			A B F	普通	褐	10		
20	土師台付埴			(9.4)	A B F J	普通	橙	60		
21	土師甕	(22.0)			A B F	普通	橙	20		



第 158 図 土坑出土遺物 (20)

土坑出土遺物観察表 (第 158 図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵高台城				ACK	良好	灰	40	S K213	高台部欠損
2	須恵壺	(16.0)			AG	良好	灰	5	S K213	
3	土師環	(13.0)	3.0		ABK	普通	にぶい橙	60	S K215	
4	土師環	(14.0)	2.9	(9.4)	ABF	普通	橙	40	S K215	
5	土師環	(14.0)	2.7	(10.0)	ABF	普通	橙	40	S K215	放射状暗文
6	須恵鉢			6.6	AHK	良好	灰	40	S K215	
7	須恵環			(7.0)	AH	良好	灰	40	S K215	
8	須恵壺			8.3	AH	良好	灰	45	S K215	底部外周にへら拵き
9	須恵鉢	(24.0)			AHK	良好	黒褐	20	S K215	
10	須恵壺				AB	良好	灰褐	10	S K215	
11	土師環	(12.8)			AB	普通	にぶい褐	40	S K218	
12	土師環	(13.0)	3.1		AB	普通	にぶい橙	15	S K218	
13	土師環	13.2	2.9	9.9	ABC	普通	橙	80	S K218	放射状暗文
14	須恵高台城			7.2	AF	良好	褐灰	85	S K218	
15	須恵高台城			7.9	AF	良好	にぶい橙	80	S K218	
16	土師壺	(18.0)			ABJ	普通	橙	15	S K218	

第219号土坑 (第159・160図)

L・M-13グリッドに位置する。第178・194号住居跡・第220号土坑と重複し、土坑より古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、270 cm×97 cm、深さ21 cmを測る。主軸方位は、N-8°-Eを指す。

遺物は、土師器環・小型甕・台付甕、須恵器環・高台付壺・甕、灰釉陶器高台付壺、緑釉陶器片が出土した。

第220号土坑 (第159・161・162図)

L-13グリッドに位置する。第178・194・220号住居跡・第219号土坑と重複し、住居跡は古く、土坑が新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、314 cm×162 cm、深さ20 cmを測る。主軸方位は、N-7°-Eを指す。

遺物は、土師器環・壺・皿・甕・小型甕・台付甕、須恵器環・皿・高台付壺・甕と鉄製棒状品が出土した。

第224号土坑 (第159・163図)

I-15グリッドに位置する。第213号住居跡・第225号土坑と重複し、住居跡は古く、第225号土坑は新しい。平面形は、長楕円形を呈すると推定される。規模は、確認できた長軸145 cm、短軸67 cm、深さ41 cmを測る。主軸方位は、N-10°-Eを指す。

遺物は、土師器環、須恵器甕・蓋と鉄製品は基部・刀子刃部が出土した。

第225号土坑 (第159図)

I-15グリッドに位置する。第224号土坑と重複し、第224号土坑が古い。平面形は、楕円形を呈する。規模は、215 cm×186 cm、深さ60 cmを測る。

主軸方位は、N-78°-Wを指す。

第226号土坑 (第159・163図)

G-15グリッドに位置する。第161号住居跡・第230・231号土坑・第51号土坑と重複し、いずれもが新しい。平面形は、長方形を呈する。規模は、400 cm×106 cm、深さ16 cmを測る。主軸方位は、N-25°-Eを指す。

遺物は、灰釉陶器高台付壺が出土した。

第231号土坑 (第159・163図)

G-15グリッドに位置する。第161号住居跡・第230号土坑・第51号溝と重複し、第226号土坑が古く、住居跡は新しいが他は不明である。平面形は、長方形を呈する。規模は、88 cm×63 cm、深さ15 cmを測る。主軸方位は、N-15°-Eを指す。

遺物は、灰釉陶器高台付壺が出土した。

第227号土坑 (第159・163図)

M-14・15グリッドに位置する。第540号土坑と重複し、第540号が古い。平面形は、楕円形を呈する。規模は、202 cm×150 cm、深さ16 cmを測る。主軸方位は、N-78°-Eを指す。

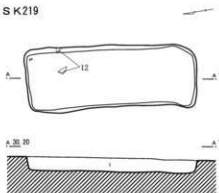
遺物は、土師器環、須恵器環と鉄製刀子が出土した。

第229号土坑 (第159・163図)

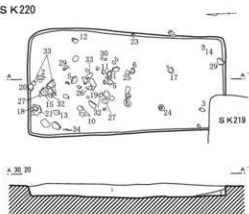
I-13グリッドに位置する。第154号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、233 cm×106 cm、深さ50 cmを測る。主軸方位は、N-82°-Wを指す。

遺物は、土師器環、須恵器高台付壺が出土した。

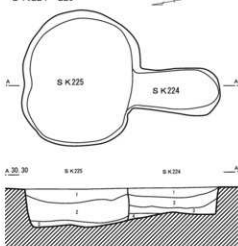
S K 219



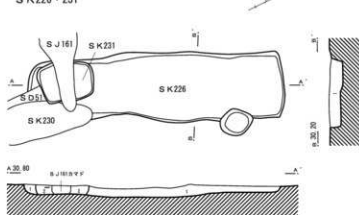
S K 220



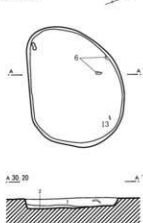
S K 224・225



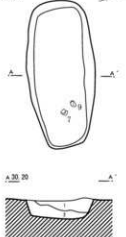
S K 226・231



S K 227



S K 229



第219号土坑

1 暗褐色土 焼土粒やや多量 炭化物少量灰混じる

第220号土坑

1 暗褐色土 焼土粒・炭化物やや多量 灰混入

2 暗黄褐色土 焼土粒・炭化物少量

第224号土坑

1 暗褐色土 焼土粒・炭化物微量

2 暗褐色土 焼土粒・灰色砂粒微量

3 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物微量 灰少量

4 暗灰褐色土 暗黄褐色土ランダムを含む

第225号土坑

1 暗灰褐色土 灰色砂粒多量 焼土粒・炭化物微量

2 暗褐色土 焼土粒微量 暗黄褐色土 ランダムを含む

3 暗褐色土 暗黄褐色土多量 砂粒混入

第226・231号土坑

1 暗褐色土 焼土粒微量

2 暗褐色土 焼土ブロック多量

第227号土坑

1 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物微量

2 暗褐色土

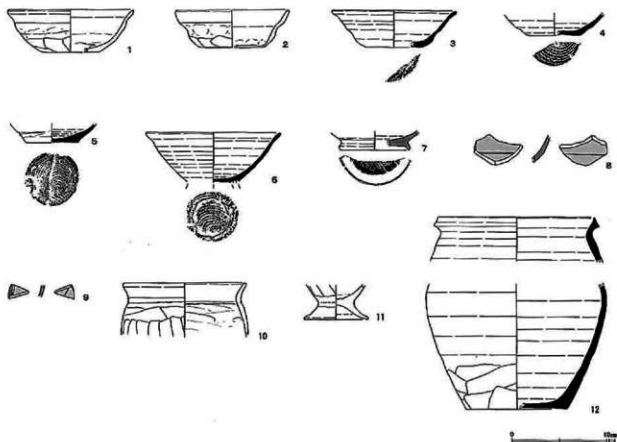
第229号土坑

1 灰褐色土 灰色粘土に炭化物、遺物を含む しまりやや欠

2 黒褐色土 炭化物と灰の形状増殖 締まり欠



第159図 土坑 (11)



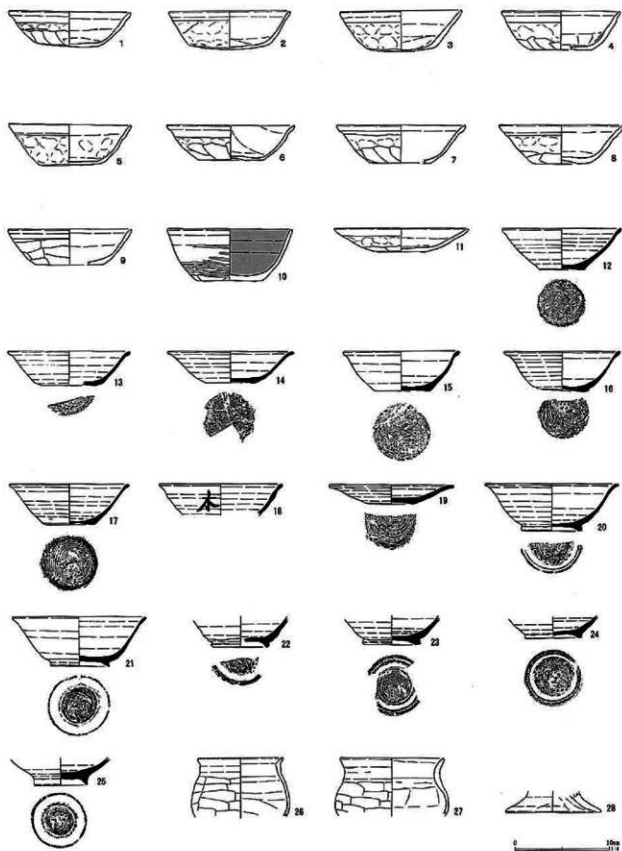
第160図 第219号土坑出土遺物

第219号土坑出土遺物観察表 (第160図)

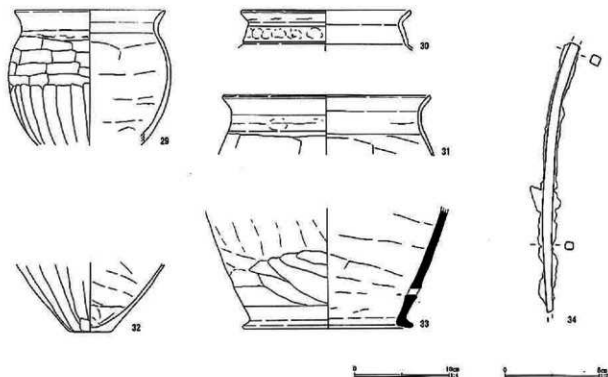
番号	器名	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(12.0)	4.0	(7.0)	ABF	普通	橙	20		
2	土師環	(13.2)	4.5	(6.0)	ABF	普通	にぶい赤褐	15		
3	須惠環	(13.2)	3.9	(6.0)	AB	普通	灰白	15		
4	須惠環			5.6	A	良好	灰白	15		
5	須惠環			5.6	AC	普通	灰白	15		
6	須惠高台埴	(14.2)			ACK	良好	灰白	35		
7	灰粘高台埴			(7.4)	AGK	良好	灰白	25		内面重ね焼き痕あり 底部にヘラ描き 高台内素切り 胎軸なし 東隠座 狭投座
8	緑釉埴				A	良好	灰オリーブ	破片		
9	緑釉埴				A	良好	オリーブ灰	破片		
10	土師小型環	(13.0)			ABF	不良	にぶい黄褐	25		
11	土師台付埴			(6.8)	ABF	普通	にぶい橙	40		
12	須惠埴	(16.5)		(11.0)	AJK	良好	灰	60		輪花埴 狭投座

第220号土坑出土遺物観察表 (第161図)

番号	器名	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	12.9	3.7	6.6	BF	普通	にぶい橙	70		
2	土師環	12.9	4.1	8.4	BF	良好	淡橙	75		
3	土師環	13.0	4.3	7.2	ABFJ	不良	にぶい褐	70		
4	土師環	(12.6)	4.1	(6.4)	ABF	普通	橙	20		
5	土師環	13.1	4.4	6.5	ABF	普通	橙	100		
6	土師環	(13.6)	3.7	(7.0)	ABFJ	普通	橙	35		
7	土師環	(13.6)	4.0	6.6	ABF	普通	橙	30		



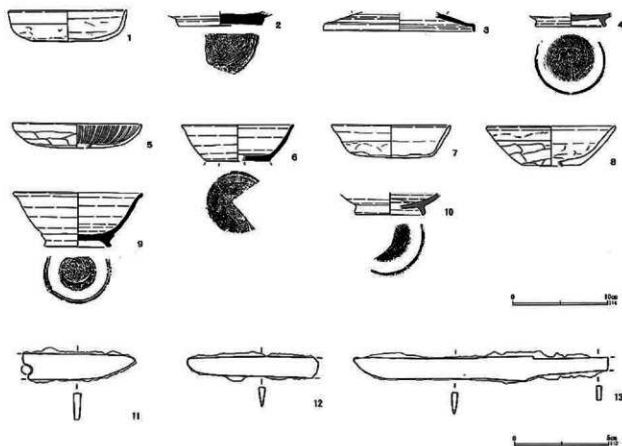
第 161 图 第 220 号土坑出土遗物 (1)



第162図 第220号土坑出土遺物(2)

第220号土坑出土遺物観察表 (第161・162図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
8	土師坏	(13.2)	4.1	6.1	B F	普通	にぶい橙	25		
9	土師坏	(13.0)	3.8	(7.2)	A B F	普通	橙	20		
10	土師碗	(13.2)	5.5	7.1	A B J	良好	橙	60		黒色土器
11	土師皿	(14.2)	2.5	5.4	B F	普通	灰黄褐	25		
12	須惠坏	(12.5)	4.3	5.0	A K	良好	灰	30		
13	須惠坏	(13.0)	3.6	(5.8)	A C K	普通	灰	25		
14	須惠坏	(13.4)	3.3	5.4	A C K	良好	灰	45		
15	須惠坏	12.3	4.2	5.9	A C K	良好	灰	100		
16	須惠坏	12.4	4.3	5.4	A C K	良好	黒褐	55		
17	須惠坏	(12.6)	4.3	5.7	A C K	普通	灰	45		
18	須惠坏	(13.0)			A J K	良好	灰	30		両寄「木」
19	須惠皿	(13.2)	2.1	5.4	A C K	良好	灰	30		やや歪みあり
20	須惠高台碗	(14.2)	5.0	(6.5)	A C K	良好	褐灰	45		
21	須惠高台碗	14.2	5.3	6.2	A B C K	不良	にぶい黄橙	60		
22	須惠高台碗			(6.0)	A C K	良好	灰白	55		
23	須惠高台碗			6.1	A C K	良好	灰	70		
24	須惠高台碗			6.0	A C K	良好	灰	60		
25	須惠高台碗			5.6	A G	普通	灰白	30		
26	土師小型罐	9.0			A B F	普通	灰褐	60		
27	土師小型罐	(11.0)			A B F	普通	褐	20		
29	土師台付罐			10.0	A B F	普通	橙	75		やや磨耗する
28	土師甕	16.0			A B F	普通	にぶい褐	40		
30	土師甕	(18.0)			A B F	良好	橙	10		
31	土師甕	(22.0)			A B F	普通	にぶい黄褐	20		
32	土師甕			4.6	A B F	普通	褐	30		
33	須惠甕			(18.0)	A B	良好	灰	30		胴部下に焼成前穿孔一ヶ所
34	鉄製棒状品	長さ [14.3] cm								幅 0.5×0.5cm



第163図 土坑出土遺物(21)

土坑出土遺物観察表(第163図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師杯	(12.4)			ABF	普通	橙	40	S K224	やや歪みあり
2	須恵甕	(16.0)		(9.0)	AG	良好	灰	20	S K224	
3	須恵蓋				AH	良好	灰	5	S K224	
4	灰釉高台埴			7.3	AGK	良好	灰白	80	S K226	内面重ね焼き痕あり 高台内へラケズリ 東濃産
5	土師杯	(13.6)	2.6		ABF	普通	橙	25	S K227	内面に放射状贈文
6	須恵杯	11.8	3.9	6.7	AHK	良好	灰	45	S K227	
7	土師杯	12.5	3.5	8.8	ABF	普通	褐	70	S K229	
8	土師杯	(13.6)	4.3	(6.0)	ABF	普通	橙	30	S K229	
9	須恵高台埴	(13.6)	5.8	7.0	AGK	良好	灰	50	S K229	
10	灰釉高台埴			(7.0)	AGK	良好	灰白	40	S K231	内面重ね焼き痕あり 高台内へラケズ 施釉内面ハケズリ 浜北産
11	鉄製釜	長さ[5.9]cm 幅1.4cm 背幅0.4cm							S K224	
12	鉄製刀子	長さ[6.9]cm 刃幅1.1cm 背幅0.3cm							S K224	
13	鉄製刀子	長さ[13.4]cm 刃長9.5cm 刃幅1.1cm 背幅0.3cm							S K227	S K363と接合

第232号土坑 (第164・165・166図)

N-12・13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、106cm×88cm、深さ64cmを測る。主軸方位は、N-75°-Wを指す。

遺物は、須恵器高台付塊・皿と土錘が出土した。

第234号土坑 (第164・165図)

J-12グリッドに位置する。第12号掘立柱建物P8と重複し、掘立柱建物跡が新しい。平面形は、凸字形を呈する。確認できた規模は、122cm×80cm突出部が45cm×120cm、深さ19cmを測る。主軸方位は、N-3°-Wを指す。

遺物は、土師器環・甕・小型甕、須恵器環・塊・高台付塊が出土した。

第235号土坑 (第164・165図)

J-12グリッドに位置する。第12号掘立柱建物跡P10と重複し、掘立柱建物跡が新しい。平面形は不明で、確認できた規模は、126cm×74cm、深さ10cmを測る。主軸方位は、N-42°-Wを指す。

遺物は、須恵器塊が出土した。

第236号土坑 (第164・165図)

J-12グリッドに位置する。第12号掘立柱建物跡P2と重複し、掘立柱建物跡が新しい。平面形は、楕円形を呈する。規模は、152cm×130cm、深さ45cmを測る。主軸方位は、N-3°-Eを指す。

遺物は、土師器環が出土した。

第240号土坑 (第164・165図)

F・G-15グリッドに位置する。第161・174号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、221cm×108cm、深さ18cmを測る。主軸方位は、N-8°-Eを指す。

遺物は、土師器高台付塊、灰釉陶器高台付塊と鉄製品の釘とみられるものが出土した。

第244号土坑 (第164・165・166図)

G-16グリッドに位置する。平面形は、方形を呈する。規模は、115cm×102cm、深さ12cmを測る。主軸方位は、N-20°-Eを指す。

遺物は、土師器甕、土錘が出土した。

第247号土坑 (第164・165図)

K-14・15グリッドに位置する。第182号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、方形を呈する。規模は、91cm×78cm、深さ24cmを測る。主軸方位は、N-0°を指す。

遺物は、土師器環、須恵器環が出土した。

第248号土坑 (第164・165・166図)

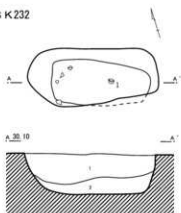
K-14グリッドに位置する。平面形は、楕円形を呈する。規模は、142cm×92cm、深さ73cmを測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

遺物は、土師器皿、須恵器環・高台付塊・高台付皿が出土した。

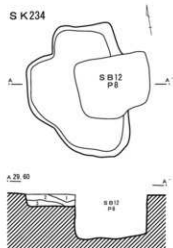
土坑出土遺物観察表 (第165図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	須恵高台塊			(8.0)	A K	良好	灰黄褐	50	S K 232	
2	須恵皿	(13.2)	2.3	6.3	A F K	普通	にぶい黄橙	25	S K 232	
3	土師環	(13.0)	4.5	(6.8)	A F J	普通	橙	35	S K 234	
4	須恵環	12.5	4.1	5.4	A B	普通	黒	100	S K 234	やや歪みあり
5	須恵塊	12.5	4.6	(5.3)	A B C	普通	灰白	40	S K 234	
6	須恵高台塊	(14.2)	4.8	(6.8)	A B	不良	褐灰	40	S K 234	
7	土師小型甕	(10.6)			A B F	普通	褐	30	S K 234	
8	土師甕	(15.0)			A B F	普通	にぶい褐	15	S K 234	
9	土師甕	(20.0)			A B	良好	橙	10	S K 234	
10	土師甕			(4.6)	A B F	普通	褐	15	S K 234	
11	須恵塊	(14.0)			A B F	普通	にぶい黄橙	30	S K 235	酸化焙焼成
12	土師環	(12.0)			A B	普通	橙	30	S K 236	
13	土師環	(13.0)			B F	普通	橙	10	S K 236	
14	土師環	(14.2)	3.1		B F	普通	橙	40	S K 236	内面に放射状暗文
15	灰釉高台塊			7.5	A G	良好	灰白	90	S K 240	内面重ね焼き痕あり 高台内糸切り 浜北産

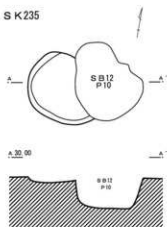
S K 232



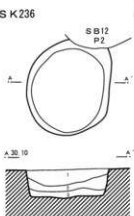
S K 234



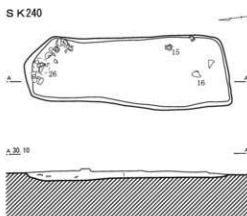
S K 235



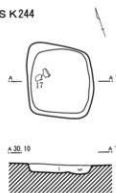
S K 236



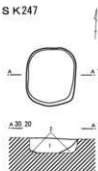
S K 240



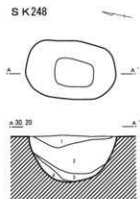
S K 244



S K 247



S K 248



第232号土坑

- 1 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物微量 灰多量
- 2 暗黄褐色土 焼土粒少量 炭化物・炭微量

第234号土坑

- 1 灰褐色土 白色粒・焼土粒・炭化物少量 遺物定形品多量
- 2 暗灰褐色土 焼土粒含む 炭化物多量 灰を帯状に含む
- 3 暗黄褐色土 焼土粒・炭化物微量 暗黄褐色土粒多量(凝聚力)

第236号土坑

- 1 暗褐色土 白色粒・焼土粒少量 炭化物微量
- 2 暗褐色土 焼土粒微量 炭化物少量
- 3 暗灰褐色土 炭化物・暗褐色土・黄褐色土ブロック少量

第240号土坑

- 1 暗褐色土 焼土粒多量

第244号土坑

- 1 暗灰褐色土 シルト質土 焼土ブロック・灰多量

第247号土坑

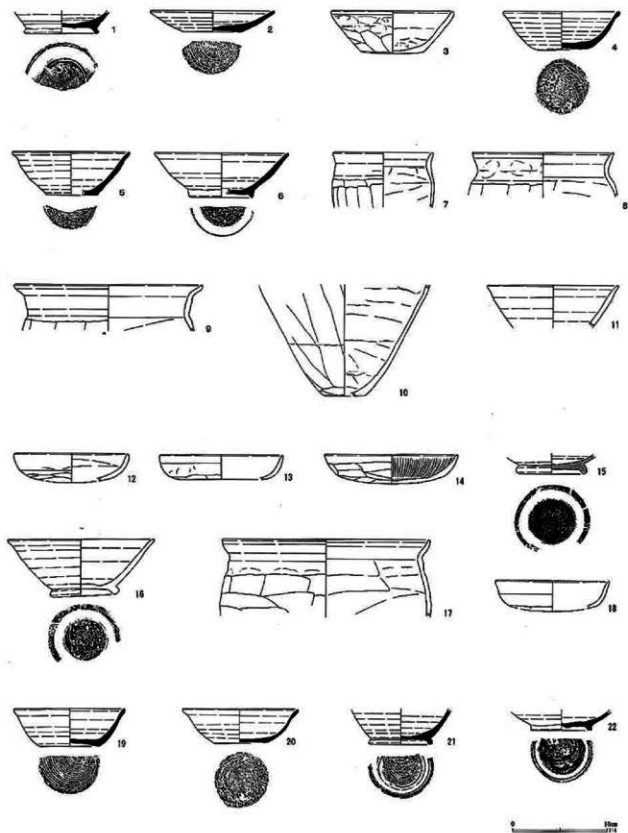
- 1 暗褐色土 白色粒・淡白色土ブロック混入
- 2 暗褐色土 焼土粒微量 炭化物少量

第248号土坑

- 1 暗灰褐色土 焼土粒・炭化物少量
- 2 黑色土 灰土混
- 3 暗灰褐色土 灰混入
- 4 暗黄褐色土

0 2m

第164図 土坑(12)



第 165 图 土坑出土遗物 (22)



第166図 土坑出土遺物 (23)

土坑出土遺物観察表 (第165・166図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
16	土師高台埴	15.5	6.1	7.4	A B J	普通	にぶい橙	80	S K240	ロクロ土師器 歪大きい 磨耗著しい
17	土師甕 (22.0)				A B F J	普通	橙	20	S K244	
18	土師坏 (12.0)				A B F	普通	にぶい橙	10	S K247	磨耗著しい
19	須恵坏 (11.8)	4.0	6.4		A C K	良好	灰オリーブ	25	S K247	
20	須恵坏 (12.3)	3.7	5.7		A C K	良好	灰	60	S K248	
21	須恵高台埴			(6.8)	A B K	普通	灰白	30	S K248	
22	須恵高台皿			6.5	A G K	良好	灰黄	25	S K248	
23	土師皿	14.3	2.3	5.4	A B F	普通	にぶい橙	60	S K248	
24	土鍾	長さ(2.5)	直径0.9	孔径0.2			にぶい褐	40	S K232	
25	土鍾	長さ4.0	直径1.0	孔径0.3			黒	90	S K244	
26	鉄製品	長さ3.5cm	幅0.4×0.8cm						S K240	鉄釘か?

第255号土坑 (第167・169図)

J・K-15グリッドに位置する。第203・216号住居跡と重複し、住居跡が古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、200cm×136cm、深さ37cmを測る。主軸方位は、N-73°-Wを指す。

遺物は、土師器坏、須恵器坏・壺、灰釉陶器高台付皿が出土した。

第259号土坑 (第167・168・169図)

K-15グリッドに位置する。第260・261号土坑と重複し、両者とも古い。平面形は、長方形を呈する。規模は、196cm×84cm、深さ36cmを測る。主軸方位は、N-3°-Eを指す。

遺物は、土師器甕、須恵器高台付埴、土鍾が出土した。

第261号土坑 (第167図)

K-15グリッドに位置する。第259号土坑と重複し、第259号土坑が新しい。平面形は不明で、規模は、確認できた東西70cm、南北80cm、深さ20cmを測る。主軸方位は、N-84°-Wを指す。

第262号土坑 (第167図)

K-15グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は、97cm×60cm、深さ11cmを測る。主軸方位は、N-15°-Eを指す。

第266号土坑 (第167・168図)

H-15・16グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、208cm×80cm、深さ30cmを測る。主軸方位は、N-85°-Wを指す。

遺物は、灰釉陶器高台付埴、砥石が出土した。

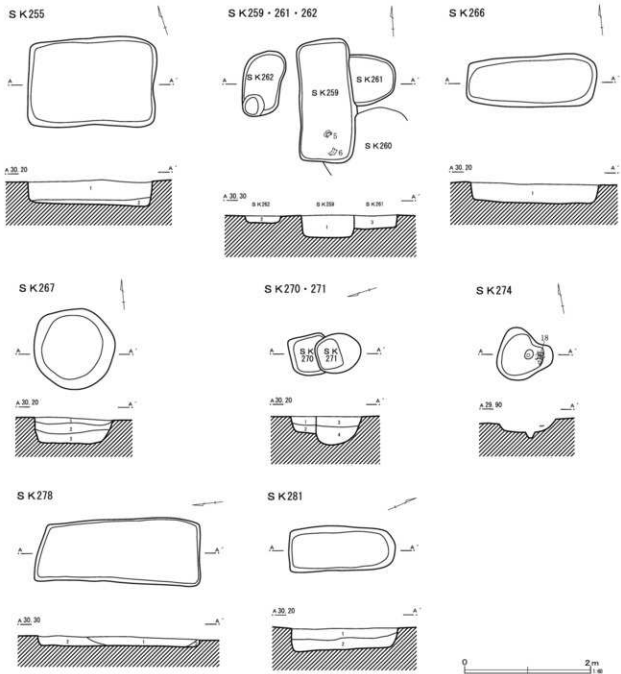
第267号土坑 (第167・168図)

L-15グリッドに位置する。第214号住居跡・第15号掘立柱建物跡P10と重複し、住居跡は古い。平面形は、円形を呈する。規模は、径128~133cm、深さ50cmを測る。主軸方位は、N-87°-Wを指す。

遺物は、須恵器高台付皿が出土した。

第270号土坑 (第167図)

H-16グリッドに位置する。第271号土坑と重複し、第271号土坑が新しい。平面形は、方形を呈する。規模は、65cm×63cm、深さ26cmを測る。主



第255号土坑

- 1 埴褐色土 砂質 焼土粒全面少量 炭化物少量
- 2 埴黄褐色土 掘りすぎ部分である

第259・261・262号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒含む 焼土粒・炭化物多量 黄褐色土ブロックランダムに混入
- 2 黒褐色土 焼土粒・炭化物少量
- 3 埴褐色土 白色粒・黄褐色土ブロック含む 焼土粒・炭化物少量

第266号土坑

- 1 埴褐色土 砂質土 白色粒・焼土粒・炭化物少量

第267号土坑

- 1 白色粒多量 焼土粒少量 炭化物微量
- 2 埴褐色土 焼土粒多量 炭化物微量 黄褐色土ブロックランダムに含む
- 3 埴灰褐色土 焼土粒少量 炭化物微量

第270・271号土坑

- 1 埴褐色土 砂質土 白色粒・黄褐色土ブロック多量
- 2 埴褐色土 白色粒少量
- 3 埴褐色土 1層と近似 明度落ちる
- 4 埴褐色土 黄褐色土粒微量

第278号土坑

- 1 埴褐色土 焼土粒やや多 炭化物微量
- 2 埴灰褐色土 焼土粒・炭化物微量 灰多量

第281号土坑

- 1 埴褐色土 白色粒少量 焼土粒・炭化物少量
- 2 埴灰褐色土 埴褐色土ブロック・灰色粘土少量

第167図 土坑 (13)

軸方位は、N-83°-Wを指す。

第271号土坑 (第167・168図)

H-16グリッドに位置する。第270号土坑と重複し、第270号土坑が古い。平面形は、楕円形を呈する。規模は、72cm×62cm、深さ44cmを測る。主軸方位は、N-4°-Eを指す。

遺物は、灰釉陶器高台付皿が出土した。

第274号土坑 (第167・168図)

F-15グリッドに位置する。平面形は、不整形を呈する。規模は、90cm×60cm、深さ28cmを測る。

遺物は、須恵器環、土師器甕が出土した。

第278号土坑 (第167・168・169図)

L-13グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、254cm×100cm、深さ14cmを測る。主軸方位は、N-6°-Eを指す。

遺物は、土師器環・甕・台付甕、須恵器環・壺・高台付壺が出土した。

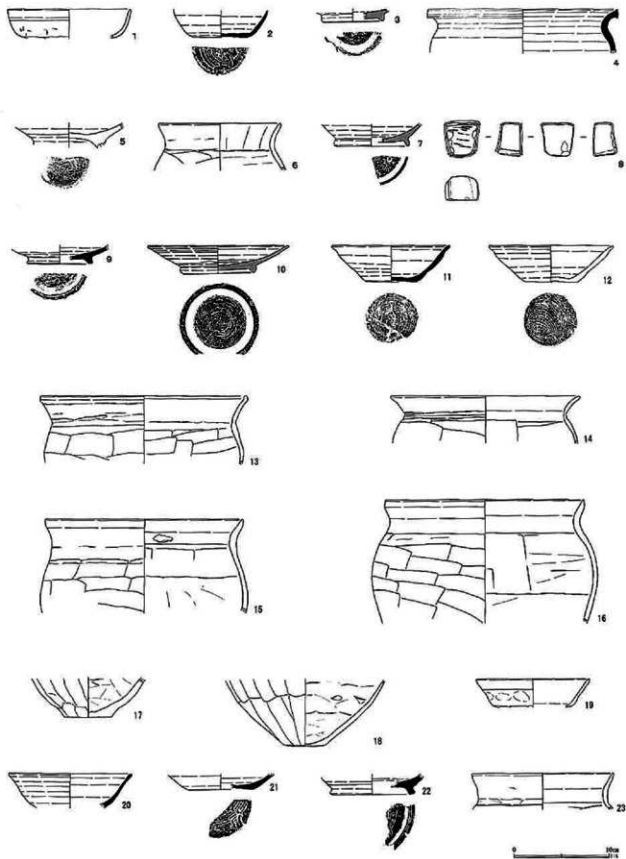
第281号土坑 (第167・169図)

I-15・16グリッドに位置する。平面形は、長方形を呈する。規模は、168cm×70cm、深さ34cmを測る。主軸方位は、N-16°-Eを指す。

遺物は、須恵器環が出土した。

土坑出土遺物観察表 (第168・169図)

番号	器種	口径	器高	口径	胎土	焼成	色調	残存	出土位置	備考
1	土師環	(13.0)			A B	普通	にぶい橙	15	S K255	
2	須恵環		5.8		A H K	良好	灰	40	S K255	
3	灰釉高台皿		(6.4)		A G	良好	灰白	30	S K255	内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ 東濃産
4	須恵壺	(20.0)			A C G	良好	灰白	10	S K255	
5	須恵高台壺				A F	普通	橙	30	S K259	酸化焰焼成 高台欠損
6	土師甕	(13.0)			A B F	普通	にぶい橙	30	S K259	
7	灰釉高台壺		(8.0)		A G K	良好	灰白	20	S K266	高台内糸切り 胎土なし 東濃産
8	砥石	長さ3.5cm	幅3.6cm	厚さ2.5cm					S K266	砂岩製 6面使用
9	須恵高台皿		(7.0)		A C K	良好	暗灰	30	S K267	
10	灰釉高台皿	(15.0)	3.0	7.6	A G K	良好	灰白	60	S K271	内面重ね焼き痕あり 高台内ヘラケズリ 胎土内外面ハケヌリ(一筆) 浜北産
11	須恵環	12.6	3.9	5.5	A B F	普通	灰褐	85	S K274	一部酸化焰焼成 器形の歪み大きい
12	須恵環	13.2	3.9	5.6	A F G	普通	灰褐	95	S K274	酸化焰焼成 口縁の歪み大きい
13	土師甕	(22.0)				普通	橙	30	S K274	
14	土師甕	(20.0)			B F	普通	浅黄橙	10	S K274	
15	土師甕	(21.0)			A B F	不良	橙	30	S K274	磨耗著しい
16	土師甕	(21.0)			A B F	普通	橙	15	S K274	
17	土師甕		5.0		A B F J	普通	にぶい褐	60	S K274	
18	土師甕		4.5		A B F	普通	にぶい橙	60	S K274	底部は不整形
19	土師環	(12.0)			A B J	普通	褐	20	S K278	
20	須恵環	(13.0)			A D G	普通	灰白	20	S K278	
21	須恵壺		(7.0)		A D G K	普通	灰白	20	S K278	
22	須恵高台壺		(9.0)		A G	良好	灰白	10	S K278	
23	土師甕	(15.0)			A B F	普通	にぶい褐	20	S K278	
24	土師甕	(20.0)			A F J	普通	褐	15	S K278	
25	土師甕	(19.0)			A B J	普通	褐灰	15	S K278	
26	土師台付甕		(8.6)		A B F	普通	にぶい橙	25	S K278	
27	土師甕	(22.0)			A B F	普通	橙	20	S K278	
28	土師甕		4.0		A B F J	普通	にぶい橙	60	S K278	
29	土師甕		(3.6)		A J	普通	にぶい赤褐	40	S K278	
30	須恵環	(6.0)			A B	普通	灰	30	S K281	
31	土師	長さ3.4	直径0.8	孔径0.2		普通	褐灰	90	S K259	



第 168 图 土坑出土遗物 (24)